

JAPAN GAMES MASTERS



JAPAN
GAMES
MASTERS

2025 EHIME

日本スポーツマスターズ2025

PROGRAM

軟式野球

期日：令和7年9月20日～9月22日

会場：松山市 今治市 新居浜市 西条市 上島町 内子町

主催：公益財団法人日本スポーツ協会 愛媛県 公益財団法人愛媛県スポーツ協会 公益財団法人全日本軟式野球連盟
松山市 今治市 新居浜市 西条市 上島町 内子町

主管：一般社団法人愛媛県軟式野球連盟

後援：スポーツ庁、公益財団法人日本オリンピック委員会、**NHK**、一般社団法人共同通信社

オフィシャルスポンサー：



東武トップツアーズ



この大会は競輪の補助を受けて開催しています。
<https://www.jka-cycle.jp/>

JAPAN GAMES MASTERS ブランドロゴ

「日本スポーツマスターズ（JAPAN GAMES MASTERS）」は、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会です。JSPO が実現を目指す「だれでも、だれとでも。いつでも、いつまでも。自分らしくスポーツを楽しめる社会」（幅広い世代でスポーツが身近にある生涯を送ることができる社会）を体現し、スポーツと共に生きるという想いが込められています。

JAPAN GAMES MASTERS ブランドロゴは、シンボルとロゴタイプで構成されています。



〈シンボル制作意図〉

JとGのアルファベットモチーフで構成したシンボルは、地球を示す球体をあしらっており、一人ひとりの意志が旋を描いて混じり合い、地域住民と「JAPAN GAMES」が共にスポーツ文化を築いていくという想いが込められています。

また、スポーツに触れることにより生まれる楽しさ、喜び、情熱、悔しさなどの様々な感情を、彩り豊かな配色とすることにより、実現する価値の一つである「多様性と調和」を表現しています。さらに、立体表現とすることにより、「する」「みる」「ささえる」の多面的で、かつ幅広い年代のステークホルダーの多層的な取組であることを表しています。

人がこれからの新しい時代をスポーツと共に生きるためにスポーツを文化とし、日本に活力を与える、という志を持った「JAPAN GAMES」を表現しています。

参加者アンケートへのご協力をお願い

日本スポーツマスターズの大会の魅力を高め、大会の運営をよりよいものにするために皆様の声をお聞かせください。

御協力をよろしくお願いいたします。

（回答期限：10月14日(火)まで）

「参加者アンケート」



<https://enquete.cc/q/sportsmasters2025>

↑ QRコードが読み取れない場合は上記のURLからアクセスしてください



REACH BEYOND

OUR SUSTAINABILITY

誰もが、いつでも、どこでも、
自由にスポーツを楽しむことができる未来のために

私たちには、できることがある
走り続けよう、持続可能な未来へ

“MIZUNO CREW 21”は、持続可能な社会を
次世代につなぐ、私たちの“誓い”です



MIZUNO CREW 21



SCAN & DISCOVER

jpn.mizuno.com 0120-320-799



その瞬間のために。

わたしたちは、そばで見てきた。
その瞬間のために、続けた努力を、
流した汗も涙も。
その瞬間のために、かけた思いを、
送った言葉も。
わたしたちは、実らせたい。
その努力のために、
その思いのために、
その瞬間のために。

 東武トップツアーズ

東武トップツアーズは、
日本スポーツマスターズのオフィシャルスポンサーです。



いつも、ボールは先へ行く。
勝負を決めようと、劣勢をはね返そうと、
夢中で追いかけるプレイヤーの先を。
固唾を吞んで、ポイントの行方を見守る
観衆の視線の先を。

そして、ボールがその動きを止めるとき、
沸き起こる歓声や感動の嵐。
闘志や熱狂、感動の常に先を走り、
筋書きのないドラマを紡いでいく。

私たち MIKASA は感じる。
そんなプレイヤーの感情を駆り立て、
観客を熱狂させるボールに
魂を吹き込む仕事に携われる幸せを。

今日も、ボールから目が離せない。




MIKASA
Faster than Emotion



超えて

挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまででも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

OFFICIAL PARTNERS



OFFICIAL SUPPLIERS



ごあいさつ 公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤利明	2
祝辞 スポーツ庁長官 室伏広治	3
ごあいさつ 公益財団法人全日本軟式野球連盟 会長 山口 宏	4
歓迎のことは 愛媛県知事 中村時広	5
愛媛県スポーツ協会 会長 大塚岩男	6
松山市長 野志克仁	7
今治市長 徳永繁樹	8
新居浜市長 古川拓哉	9
西条市長 高橋敏明	10
上島町長 上村俊之	11
内子町長 小野植正久	12
一般社団法人愛媛県軟式野球連盟 会長 渡邊一志	13
愛媛県議会議長 福羅浩一	14
ごあいさつ 大韓野球ソフトボール協会 会長 梁 海榮	15
大会役員	16
競技会役員	17
競技役員	19
総則	23
実施要項	26
大会式典	30
競技日程	31
坊っちゃんスタジアム&マドンナスタジアム松山中央公園（会場周辺図）平面図	32
坊っちゃんスタジアム全体平面図	33
坊っちゃんスタジアム1階平面図	34
マドンナスタジアム平面図	35
今治市営球場全体平面図	36
今治市営球場平面図	37
新居浜市営野球場（会場周辺図）平面図	38
新居浜市営野球場全体平面図	39
新居浜市営野球場平面図	40
西条市ひうち球場全体平面図	41
西条市ひうち球場平面図	42
上島町いきなスポレク公園蛙石野球場（会場周辺図）平面図	43
上島町いきなスポレク公園蛙石野球場平面図	44
上島町いきなスポレク公園体育館平面図	45
内子運動公園野球場平面図	46
参加チーム紹介	47
軟式野球競技の沿革	63
軟式野球競技過去大会成績	65
医療救護について	66
大会日程と会場一覧	68
会場地一覧	69
韓国選手団の参加について	70
松山市の概要	71
今治市の概要	72
新居浜市の概要	73
西条市の概要	74
上島町の概要	75
内子町の概要	76
日本スポーツマスターズ2025 大会実施本部等連絡先	82
日本スポーツマスターズ2026石川大会 開催概要	84

ごあいさつ



公益財団法人日本スポーツ協会 会長

遠藤利明

温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、2017年開催の「愛顔つなぐえひめ国体」のレガシーを活かす愛媛県において、「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」を開催できますことは誠に喜ばしいことです。

25回目となる本大会は、「生涯現役アスリート」が一堂に会し、松山市をはじめ県内11市4町の33会場において開会式及び13競技を開催します。

日本スポーツマスターズは、本年から大会ロゴや英語名称を一新し、国民スポーツ大会、JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH (旧 全国スポーツ少年大会) とともに「JAPAN GAMES」にブランド統合されました。これにより、性別、年齢、障がいの有無、地域を問わず、「スポーツの楽しさや喜び」がより一層広がる社会を目指しています。

日本一を競う我が国唯一のシニア世代の総合スポーツ大会である日本スポーツマスターズは、まさに当協会が目指す「だれでも、だれとでも。いつでも、いつまでも。自分らしくスポーツを楽しめる社会」を体現するものです。

全国から参加される皆さまには、大会への参加や観戦はもとより、愛媛県の素晴らしい景観や地元の方々の「おもてなし」を感じていただき、フェアプレー精神のもと、スポーツを楽しむことを願っています。

本大会では、日韓スポーツ交流・成人交歓交流として韓国選手団約160名の皆さんに参加いただきます。本年は、日韓国交正常化60周年でもあり、スポーツを通じた末永い友好と親善が深められることを併せて期待しています。

結びに、開催にあたり、諸準備にご尽力いただきました愛媛県をはじめ、公益財団法人愛媛県スポーツ協会、愛媛県内の各競技団体、会場の関係者・ボランティアのすべての皆さま方に厚く御礼を申し上げます、ごあいさつといたします。

祝 辞



スポーツ庁長官
室伏広治

「日本スポーツマスターズ2025」が、初めてここ愛媛県で開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

本大会は競技志向の高いシニアアスリートが一堂に会し、お互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯を通じたスポーツの普及・振興を図るとともに、生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上を目的に開催されております。選手の皆様が、更なる人生の目標を定めて日々邁進することは非常に素晴らしいことでもあります。

スポーツ庁は、本年、創設10周年を迎えます。この記念すべき節目にあたり、スポーツ立国の実現に向け、スポーツを通じた健康増進や地域活性化を支え、スポーツの価値を社会に広げてこられた関係者の皆様に心から敬意を表します。次の10年に向けてスポーツの価値を更に高め、誰もがスポーツに親しめる社会を目指してまいります。

本大会は、競技を通じて新たな目標を持ち、全国の仲間との絆を育む場でもあります。勝敗以上に、スポーツの持つ感動、喜び、挑戦する楽しさを存分に味わい、充実した時間をお過ごしいただければ幸いです。また、今後もスポーツを生活の中に取り入れ、皆様の経験を次世代へとつなげていただくことを期待しております。

結びに、本大会の開催に尽力された公益財団法人日本スポーツ協会をはじめ、関係の皆様に深く感謝申し上げます。大会の成功と、更なる発展を心より祈念し、祝辞とさせていただきます。皆様の御健闘をお祈り申し上げます。

ごあいさつ



公益財団法人全日本軟式野球連盟 会長

山口 宏

日本スポーツマスターズ2025愛媛大会が、三千年の歴史を持つ「道後温泉」や瀬戸内海の風向明媚な美しい海岸線と温暖な気候に恵まれた、ここ愛媛県において盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。全国9ブロックの厳しい予選を勝ち抜いた32チームの精鋭の皆様、ご出場おめでとうございます。

本大会は、スポーツ愛好者の中の競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツの祭典であります。参加者がフェアプレー精神に基づきお互いに競い合いながら、生涯を通じて自己の能力・志向等に応じてスポーツを生活の中に受け入れ楽しむ環境を整えることを目的としております。

また、本大会は日韓スポーツ交流事業の一環として、日本にとって最も大切な隣国である大韓民国の皆様にもご出場いただいております。日韓両国の皆様が競技を通じて大熱戦を繰り広げていただきますとともに、大いに親睦を深め、思い出深い大会になることを念願しております。

当連盟はアスリートセンタードの考えを念頭に置き、時代の変化に沿った野球活動環境の改善に努めてまいります。また、広く愛され信頼される組織構築のため、関係団体との連携体制を強固にして事業を推進し、競技力・大会認知度の向上、生涯スポーツの推進に対応しているところであります。

結びに、本大会開催にあたり、長い準備期間を通じて格別のご尽力を賜りました一般社団法人愛媛県軟式野球連盟をはじめ、会場地の松山市、今治市、新居浜市、西条市、上島町、内子町の皆様に対し、心から御礼を申し上げごあいさついたします。

歓迎のことば



愛媛県知事

中村時広

全国から多数の選手・監督並びに役員の皆様に御参加いただき、「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」を盛大に開催できますことは、この上ない喜びであり、皆様方の御来県を心から歓迎いたします。

本県では、平成29年に「愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体」、令和5年には「ねんりんピック愛顔のえひめ2023」を開催するなど、大規模スポーツ大会の積極的な誘致に力を注いでいるところです。更に、大会参加者はもちろん、「する」「みる」「応援する」「支援する」といったさまざまな形で県民がスポーツに参画することにより、楽しさや感動を分かち合い、支え合える「スポーツ立県えひめ」の実現に取り組んでおり、原則35歳以上のトップアスリートの皆様が真剣勝負を繰り広げる本大会が開催されますことを、大変意義深く感じています。

また、本県は、瀬戸内海と宇和海、そして西日本最高峰の石鎚山をはじめとする四国山地の山々に囲まれ、サイクリングやゴルフ、ウィンタースポーツなど、美しい自然の中で多彩なスポーツを堪能することができます。松山城や道後温泉といった名所旧跡や、全国的にも有名なかんきつ類、今治タオルなどの県産品にも恵まれておりますので、こうした魅力にふれて身も心も癒され、愛媛ファンになっていただき、ぜひ再度、本県にお越しいただけますと幸いです。

終わりに、本大会の開催に当たり、ご協力を賜りました関係者の皆様方に心から感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と大会のご成功を心からお祈り申し上げます。

歓迎のことば



愛媛県スポーツ協会 会長

大塚岩男

競技志向の高いシニア世代のアスリートが参加するスポーツの祭典「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」では、県内15市町、13競技で、熱戦が繰り広げられます。全国各地から来県される選手・監督・役員の皆様、そして、1997年に始まった日韓スポーツ交流として、本大会の8競技に参加される韓国全羅南道の選手・監督・役員の皆様のご活躍を祈念するとともに、皆様に心から歓迎いたします。

愛媛県スポーツ協会は、2024年に創立100周年を迎え、「人生100年、スポーツ一生」というスローガンを掲げました。生涯現役アスリートとして、本大会に参加される皆様に通じるものがあると思います。高いレベルで競い合うと同時に全国の仲間と交流を深めていただきたいと思います。

また、2025年は、日韓国交正常化60周年にあたります。愛媛の地で、これまで日韓のスポーツ愛好者が深めてきた友好関係が一段と進展することを期待しております。

ここ四国・愛媛には、お遍路で象徴される「お接待」の文化が根付いております。精いっぱいおもてなしをさせていただきますので、スポーツ交流のみならず、伝統文化、風景、海の幸、山の幸に触れていただき、愛媛を堪能いただければ幸いです。

結びに、「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」の開催に向けてご尽力いただきました公益財団法人日本スポーツ協会、中央及び愛媛県の競技団体の皆様に敬意と感謝の意を表するとともに、本大会の成功を心からお祈り申し上げ、歓迎の言葉とさせていただきます。

歓迎のことば



松山市長

野志克仁

「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」が盛大に開催されますこと、お喜び申し上げます。また、本大会に出場される選手や監督をはじめ、関係者の皆様、ようこそ松山にお越しくださいました。心から歓迎します。

松山市は、「全ての市民がスポーツに親しみ、心身の健康を実感できるまちづくり」を推し進めています。こうした中、本大会が松山市で開催されるのは、競技の普及はもちろん、地域の活性につながると期待しています。

選手の皆様は、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分に発揮されるとともに、この機会に全国の方々と交流の輪を広げられ、思い出に残る大会になるよう願っています。

さて、松山市には約3千年の歴史があり、日本最古といわれる「道後温泉」があります。国の重要文化財の道後温泉本館は、昨年、保存修理工事を経て、約5年半ぶりに全館での営業を再開しました。そのほか、現存12天守の一つ「松山城」など、世界に誇れる歴史的価値の高い観光施設があります。

この機会に是非立ち寄りいただき、競技の疲れを癒していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功と出場される選手の皆様のご健闘をお祈りし、歓迎の言葉とします。

歓迎のことば



今治市長

徳永繁樹

「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」が、全国各地から多くの選手や監督をはじめとする大会関係者の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを謹んでお慶び申し上げます。また、バスケットボール、ソフトテニス、軟式野球の各競技が今治市で開催できますことは大きな喜びであり、今治市民を代表いたしまして心から歓迎申し上げます。

本年3月に発生しました林野火災に際しましては、全国から多くの心温まるご支援を賜りました。このご恩に報いるべく、選手団の皆様や関係者の方々には、これまで培われた技術や力を惜しみなく発揮いただけるよう、心を込めたおもてなしと万全のサポートをさせていただきます。

今治市は瀬戸内海のほぼ中央部に位置し、平野部から瀬戸内しまなみ海道が位置する芸予諸島まで、変化に富んだ地勢を有しています。

「サイクリストの聖地」しまなみ海道でのサイクリングやタオル製造日本一を誇る「今治タオル」を体感いただき、また、今治焼鳥や来島海峡の潮流にもまれた魚介類を満喫した後は、美人の湯で名高い「鈍川温泉」で疲れを癒すなど、お時間の許す限り、今治の魅力を堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝とお労いを申し上げますとともに、本大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念いたしまして、お祝いと歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



新居浜市長

古川拓哉

「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。全国各地から多くの選手・監督並びに大会関係者の皆様をお迎えし、ここ新居浜市でゴルフ、軟式野球、バドミントンの各競技を開催できますことは、誠に光栄であります。また、バドミントン競技においては、日韓スポーツ交流・成人交歓交流として、韓国からもご参加いただいておりますこと、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

参加される選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮していただきますとともに、大会を通して交流を深め、いつまでも思い出に残る素晴らしい大会になりますことを期待いたしております。

さて、本市は四国のほぼ中央部に位置し、北には瀬戸内海を臨み、南に四国山地を仰ぐ、温暖な気候に恵まれた、自然豊かな工業都市でございます。市内には「東洋のマチュピチュ」とも呼ばれる貯鉱庫跡など、本市発展の礎である『別子銅山』の産業遺産が数多く遺されております。また、10月中旬には四国三大祭りの一つに数えられる勇壮華麗な『新居浜太鼓祭り』が開催されており、JR新居浜駅前の「あかがねミュージアム」には、この『新居浜太鼓祭り』の太鼓台の実物も展示されております。お時間が許されましたら、ぜひ本市の歴史や文化に触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功と参加されるすべての皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



西条市長

高橋敏明

「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」が全国各地から多くの選手・監督をはじめ大会関係者の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことに心からお祝い申し上げます。

競技に参加される選手団の皆様には、これまで積み重ねてこられた練習の成果を最大限に発揮されますとともに、お互いの交流を深められ、思い出に残る大会となりますよう期待いたしております。

西条市ではバレーボール、軟式野球の各競技が開催できますことは大きな喜びであり、西条市民を代表して心から歓迎いたします。

西条市は北は多島美の瀬戸内海、南は西日本最高峰（標高1,982m）「石鎚山」を主峰とする石鎚山系を背景に、市内各所で名水百選にも選ばれた良質の地下水「うちぬき」が湧き出す、豊かな自然環境に恵まれたまちです。このような、豊かな自然の恵みを受け、農業、畜産業、漁業が盛んに営まれており、それらの新鮮な食材を扱った美味しい食事処が沢山ありますのでこの機会に是非、ご堪能いただければ幸いです。

また、本市にはビバ・スポルティア SAIJO（日本最大級の屋内運動場）をはじめ、ひうち陸上競技場（第2種）、体育館、野球場、天然芝の球技場、石鎚クライミングパーク SAIJO など数多くのスポーツ施設を有しており、スポーツ合宿の誘致などに力を注いでおります。

結びに、本大会の開催に当たりご尽力いただきました関係者の皆様方に心から敬意を表しますとともに、本大会のご成功とご参加の皆様のご健闘を祈念し、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



上島町長

上村俊之

全国各地から多くの選手・監督をはじめ、大会関係者のみなさまをお迎えし、「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」が盛大に開催されますことに心からお祝い申し上げます。また軟式野球競技の開催地として、ここ上島町にお越しただけることは大変大きな喜びであり、上島町民を代表いたしまして歓迎申し上げます。

選手のみなさまには、これまで磨き上げてこられた技術や力を存分に発揮されとともに、スポーツを通じて多くの感動と交流が生まれることを心より願っております。みなさまの熱いプレーが大会を一層盛り上げ、地域全体を活気づけ、心に残る大会となりますことを祈念いたしております。

上島町は愛媛県の北東部に位置し、瀬戸内海国立公園に指定された美しい町です。「日本で最も美しい村」連合に加盟し、「しまの宝百景」や「快水浴場百選」にも選ばれています。また豊かな海産物・農産物にも恵まれ、ノリ養殖や国産レモンの産地としても有名です。どうかお時間が許されましたら、上島町の魅力をご堪能いただけたら幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者のみなさまに深く感謝申し上げますとともに、本大会の成功と選手のみなさまのご健闘を祈念いたしまして、お祝いと歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



内子町長

小野植正久

「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」が全国各地から多くの選手・監督をはじめ、大会関係者の皆様をお迎えして開催されますことをお祝い申し上げます。また、軟式野球の競技を内子町で盛大に行えることを大変光栄に感じており、内子町民を代表して心から歓迎申し上げます。

内子町は、愛媛県のほぼ中央に位置し、町の中央部を一級河川・肱川の支流である小田川が流れる風光明媚なまちです。年間を通じて温暖な気候であることから、柿をはじめ、栗、ぶどう、梨、桃などの落葉果樹の産地となっています。市街地には、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「八日市・護国地区」や、大正5年に創建された「内子座」など4件の建造物が重要文化財に指定されており、県内有数の観光地となっています。また、道の駅「内子フレッシュパークからり」には、内子町産の果物やドイツ仕込みのハム・ソーセージなどの加工品を販売しています。お時間が許されましたら、これら内子町の魅力をぜひ満喫していただければ幸いです。

参加される選手団の皆様には、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮していただくとともに、全国の選手や地元住民との交流の輪を広げていただき、いつまでも記憶に残る、素晴らしい大会になりますことを願っております。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、本大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念いたしまして、お祝いと歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



一般社団法人愛媛県軟式野球連盟 会長

渡邊一志

「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」軟式野球競技会が、全国各地から多くの選手や関係者の皆様をお迎えし、松山市をはじめ、今治市、新居浜市、西条市、上島町、内子町の4市2町の7会場で盛大に開催されますことに心より感謝申し上げます。

本大会は、次世代を担う40歳以上のシニア世代の皆様方が生涯スポーツの推進につなげる貴重な機会であり、本県スポーツの活性化や若い世代へのスポーツ振興にも大きな影響を与えるものと確信しています。

また、本大会は、第29回日韓スポーツ交流・成人交歓交流事業の一環として、韓国代表チームを迎えた総数32チームによって頂点を目指して熱い戦いが繰り広げられます。選手の皆様におかれましては、これまでの野球人としての経験や技術を生かした元気一杯のプレーで大いに大会を盛り上げていただくとともに、多くの仲間たちとの親睦、交流を深められいつまでも心に残る素晴らしい大会になるよう願っています。

結びに本大会の開催にご尽力いただきました関係機関の方々、また大会の準備・運営にご協力いただいた役員の皆様に心より感謝申し上げます。

歓迎のことば



愛媛県議会議長

福羅浩一

全国から幅広い年齢層の選手や役員の皆様をお迎えし、「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」が盛大に開催されますことは、誠に光栄であり、愛媛県議会を代表し、心から歓迎申し上げます。

「する」「見る」「応援する」「支援する」など、多くの人々がさまざまな形で楽しむことができるスポーツは、健康寿命の延伸、生活の質の向上、社会参加の促進等に寄与するとともに、高齢化が進む日本において、生きがいを生み出し、心の健康にも良い影響をもたらすなど、活力ある社会の実現に向け、重要な役割を担うものとなっております。

選手の皆様におかれましては、日頃の練習によって鍛えられた体力、精神力、技術のすべてを遺憾なく発揮され、熱戦が繰り上げられるものと期待しております。また、地域を超えて交流を深めていただき、本大会がいつまでも皆様の記憶に深く残るものとなることを祈念しております。

本県には日本最古の道後温泉のほか、恵まれた自然の中で育まれた新鮮な海の幸や山の幸が溢れており、さらには遍路文化によって培われた「お接待の心」で皆様を温かくお迎えいたしますので、愛媛県の魅力を十分に感じていただけると幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力を賜りました関係者の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御活躍を心よりお祈り申し上げまして、歓迎のことばといたします。

ごあいさつ



大韓野球ソフトボール協会 会長

대한야구소프트볼협회 회장

梁 海榮

양해영

日・韓の軟式野球愛好者の皆様！

「2025第29回日韓スポーツ交流・成人交歓交流」派遣事業の一環として「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」に参加する韓国軟式野球選手団を代表してご挨拶申し上げます。

歴史と文化が調和した美しい愛媛県で、このような意義深い大会が開催され、韓国の軟式野球チームが参加できることを大変嬉しく思います。特に、今大会には、今年4月に韓国全羅南道を訪問してくださった愛媛県代表チームへの返礼として、全羅南道代表チームが韓国を代表して参加することになり、選手団一同はレベルの高い日本の軟式野球チームとの試合を心待ちにしております。

「日韓スポーツ交流・成人交歓交流」は、単なるスポーツ大会にとどまらず、両国の生涯スポーツ愛好者が野球を通じて友情を深め、お互いの文化や芸術、歴史を共に理解する大切な交流の場となっております。この事業が両国のスポーツに関わるコミュニケーションの窓口としてスポーツ文化協力の架け橋としての役割を果たし、今後さらに発展していくことを願っております。

野球は、日韓両国で最も愛されているスポーツの一つであります。グローブをはめ、ボールを投げ、走っている間には国籍の境界はその意味を失います。異なる言語や文化の中でも、野球への情熱と愛情は私たちを一つに結びつけてくれるからです。今大会を通じて、両国の選手団皆様が競争を越えてお互いを尊重し、配慮し合い、野球を通じた交流の真の価値を実現されることを期待しております。

日韓両国の野球愛好者の皆様の情熱こそが、野球の発展を導く礎だと思えます。私自身も、両国の生涯スポーツとしての野球が和合のもと、持続的な発展を成し遂げられるよう変わらぬ愛情と関心をもって支援してまいります。

最後に、今大会にご招待いただきました日本愛媛県関係者の皆様、そして「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」の組織委員会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、ここ愛媛県で、選手団全員が有意義な時間と幸せな思い出をたくさん作って帰国できるようにいたします。皆様方のご健康とご多幸を心より祈念いたしましてご挨拶いたします。ありがとうございます。

안녕하세요, '2025 제29회 한일생활체육교류 파견 행사'의 일환으로 일본 에히메현을 방문한 연식야구 선수단을 대표하여 인사드립니다. 대한야구소프트볼협회장 양해영입니다.

역사와 문화가 어우러진 아름다운 에히메현에서 이런 뜻깊은 행사가 열려 우리 연식야구팀이 참가하게 된 것을 매우 기쁘게 생각합니다. 특히 이번 대회에는 지난 4월 전라남도를 방문했던 에히메현 대표팀에 대한 답례로 전라남도 대표팀이 한국을 대표하여 참가하게 되었으며, 선수단 모두가 수준 높은 일본 연식야구팀들과의 경기를 기대하고 있습니다.

한일생활체육교류 사업은 단순한 스포츠 대회를 넘어 한일 양국의 생활체육 동호인들이 야구를 통해 우정을 나누고 서로의 문화와 예술, 역사를 함께 이해하는 소중한 교류의 장입니다. 양국 체육관련 소통의 창구로서, 문화체육 협력의 가교 역할로서 발전해나가기 바랍니다.

야구는 한일 양국에서 가장 사랑받는 스포츠 중 하나입니다. 글러브를 끼고, 공을 던지며, 달리는 동안 국적의 경계는 의미를 잃습니다. 서로 다른 언어와 문화 속에서도 야구를 향한 열정과 사랑은 우리를 하나로 묶어주기 때문입니다. 이번 대회를 통해 양국 선수단 모두 경쟁을 넘어 서로를 존중하고 배려하며, 야구를 통한 교류의 진정한 가치를 실현하기를 기대합니다.

한일 양국 야구 동호인 여러분의 열정이 야구 발전을 이끄는 초석입니다. 저 역시 양국 생활체육 야구가 화합 속에 지속적인 발전을 이룰 수 있도록 변함없는 애정과 관심으로 지원을 아끼지 않겠습니다.

끝으로, 이번 대회와 행사에 초청해주신 일본 에히메현 관계자 여러분과 일본 스포츠마스터즈대회 조직위원회에 깊이 감사드리며, 이 곳 에히메현에서 선수단 모두가 뜻깊고 행복한 추억을 많이 가지고 갈 수 있도록 하겠습니다. 여러분 모두의 가정에 건강과 행복이 가득하기를 기원합니다. 감사합니다.

大会役員

(順不同・敬称略)

名誉総裁	高田宮妃久子殿下					
会 長	遠藤 利明					
副 会 長	益子 直美	田中不二夫	三宮恵利子	中村 時広	大塚 岩男	
名誉顧問	室伏 広治					
顧 問	森岡 裕策 石井 砂織 木平 芳定 櫻井 由香 湯川 和之 大西 誠 岡原 文彰 武智 邦典 古谷 崇洋 白石 洋一 原田大二郎 深澤 祐二 山口 宏 池谷 正成 稲葉 延雄	山本 浩 植田 実 桐木 陽子 中嶋 実 吉岡 成子 福羅 浩一 大城 一郎 大西 賢治 小野植正久 長谷川淳二 戒能潤之介 川合 俊一 牧島かれん 寺門 成真 沢井 俊光	勝田 隆 浦 美奈子 工藤 保子 旗生 康之 久保 直生 久保田 晶 古川 拓哉 管家 一夫 中村 維伯 村上誠一郎 土居 英雄 三屋 裕子 村井 満 中村 宇一 中梶 秀則	飯塚 悟 笠師久美子 久保 正美 村松さやか 藤田 裕司 野志 克仁 高橋 敏明 加藤 章 塩崎 彰久 永江 孝子 鈴木 大地 橋本 聖子 笹川 善弘 渡辺 守成 水野 明人	池田めぐみ 鹿島 丈博 小寺 洋 室伏 由佳 藤原 誠 徳永 繁樹 二宮 隆久 上村 俊之 石井 智恵 山本 順三 宮本 恒靖 安道 光二 丹羽 秀樹 太田 雄貴 百木田康二	
参 与	田中 良憲	石原 秀知	林 光一	七條 毅	足立 雅彦	
委 員 長	齋藤良太郎					
副委員長	岩田 史昭	西村 光生	馬越 祐希			
委 員	櫻井 由香 東原 篤 中里 壮也 佐野 文範 明比 昭治 佐伯(福井)美香 土佐 礼子 仙波 純子 佐藤 健司	仲澤 眞 村上 成司 岡本 友章 森山 喜博 伊藤繁次郎 鈴木 理香 山口 奈美 山邊 彰三 小山 吉男	吉田 崇 門川 浩人 大野 淳 野口 友里 岡田 温仁 瀬良 耕二 横本 勝己 金子日出澄 朝倉 康善	岩崎 恭子 安藤 正美 浅見 卓 古川 満弘 尾崎 幸朗 田口 浩之 土岐 知 土橋登志久 南澤 徹	吉村 政弘 鎌田 英暢 高橋 昇 豊島 吉博 木藤 公子 辻岡 英幸 上田 憲二 渡邊 信治 山中 博史	

競技会役員

(順不同・敬称略)

名誉会長	野志 克仁 小野植正久	徳永 繁樹	古川 拓哉	高橋 敏明	上村 俊之
------	----------------	-------	-------	-------	-------

会 長	山口 宏
-----	------

副 会 長	堺 充廣 永井 克征	藤原 庸介 上村 建太	渡邊 一志 菊地 幸雄	本田 元広	真鍋 和人
-------	---------------	----------------	----------------	-------	-------

顧 問	木下 宗昭 長野 昭彦 平田 信行 沖田 正 大久保正樹 樋口 半司 山本 智章 大森 輝英 佐藤 進 山村 貞夫 島 一満 池田 徹 小澤 和樹 吉井 靖仁 田淵雄一郎 渡部 守 安藤 進一 西坂 信 成見 幸広	遠山 昌夫 小林 三郎 佐伯 政則 本間 俊三 土田 良雄 古川 俊治 赤尾 正雄 千田喜久治 下川 俊樹 橋本 尚理 八江 利春 又吉 民人 富田 義勝 前田 省二 横本 勝己 柏木 博道 高砂 純一 芝田 義雄 宮瀬 信治	石原 廣士 富永 茂巳 矢野 治 井戸端隆雄 遠藤喜志雄 白井 正一 砂塚 隆広 猫田 孝 本田 雅一 宮本 欣貞 馬場 成志 原 俊司 田窪 秀道 柏原 利昭 浅海 友弘 吉野 俊昭 乗山 弘誓 松浦 孝志	武内 繁和 安岡 豊実 日野 善久 菊池 徳男 葉梨 衛 長島 昭久 川田 達男 奥村 展三 湯浅 啓史 十川 佳久 後藤 一彦 佐伯 文男 守谷 典隆 泉 浩壽 井本 雅之 藤山 徹朗 加藤 学 田頭 錬	中村 敏治 加藤 廣美 日野 克己 北澤 松一 中島 宏 向山 敏宏 戸野谷 宏 河村 正雄 蓮岡 靖之 三石 文隆 井料田 豊 越智 忍 川又由美恵 林 純司 仁志川高雄 竹内鬼三郎 山田 亨 武井 浩
-----	---	---	---	--	---

委 員 長	小山 吉男
-------	-------

副委員長	宮内 將
------	------

委	員	宮川 良輔	鎌田 英暢	前西原 裕	長岡 信広	小倉 守
		宮本 忠彦	荊尾 芳之	谷 隆博	山本 貴己	石川 智雄
		古島 弘三	頓所 理加	石井 美子	岡田 真理	岸田 輝美
		元木三十志	田中 裕	畑中 淳子	石川 允雄	梶本 教仁
		松浦 文雄	武知 浩二	増田 智彦	青木 茂	木花 勇作
		今川 弥生	荒川 友理	玉井 直美	上田 耕平	盛重 泰輔
		仙波 憲一	佐伯 教義			

競技役員

(順不同・敬称略)

会場別競技役員

A会場 坊っちゃんスタジアム

会場長	佐伯 政則				
副会場長	宮内 將				
総務委員長	武知 浩二				
総務委員	高山 史朗	篠原 昌也	高須賀慎二	平本 公明	富岡 隼人
記録委員長	盛重 泰輔				
記録委員	梅原 貞雄				
記録送受信委員長	山本 和範				
記録送受信委員	岡田 英博				
練習会場委員	森本 哲也				
駐車場委員	西岡 恭蔵				
放送委員	高橋愛樹子	壺内由紀子	玉井 直美		
接待委員	平本 由香				
救護委員	武内 康平	久保 好枝	石山 琢也		
会場審判長	松浦 文雄				
会場副審判長	稲葉 輝宏				
全軟連派遣審判委員	井上 辰巳	田上 徹	佐久間佳弘	隈部 祐介	
審判委員	出野 義樹	芳我 勝彦	岡田 順	室 貴之	大山 賢吾
	平野 悦史	清家 康太	富岡 誠司	河淵 翔太	林 哲也
	山下 英章				
補助員	湯山中学校	勝山中学校	拓南中学校		

B会場 マドンナスタジアム

会場長	平田 信行				
副会場長	沖田 正				
総務委員長	高橋 邦彦				
記録委員長	中野 剛				
記録委員	恵川 貴司				
記録送受信委員長	高須賀慎二				
記録送受信委員	平本 公明				
練習会場委員	篠原 昌也				
放送委員	小川 恭子	壺内由紀子			
救護委員	田ノ内彩夏				
会場審判長	渡部 正和				
会場副審判長	城戸 雅英				

全軟連派遣審判委員	井上 辰巳	田上 徹	佐久間佳弘	隈部 祐介
審判委員	小椋 直一	小椋 拓真	芳我 勝彦	室 貴之
補助員				

C会場 今治市営球場

会場長	村上 邦廣				
副会場長	越智 志郎				
総務委員長	阿部 一博				
総務委員	青陽 真樹	繁信 聖児	酒井 弘	阿部 紀明	
記録委員長	丹下 広一				
記録委員	別宮 利彦	日浅沙弥香			
記録送受信委員長	八津川道明				
記録送受信委員	村上 雄基				
練習会場委員	近本 裕昭	井上 敦			
駐車場委員	門田 圭司				
放送委員	長野 由己	井門 早苗			
接待委員	大谷 美佐	河野加奈恵			
救護委員	多田 雄治	小幡 舞			
会場審判長	横井 政樹				
会場副審判長	月原 一孝				
全軟連派遣審判委員	井上 辰巳	田上 徹	佐久間佳弘	隈部 祐介	
審判委員	眞部 哲郎	長岡 久雄	菅 達弘	阿部 文哉	児島 有佑
	八木 公德	村上 翔	村瀬 弥彦		
補助員	立花中学校				

D会場 新居浜市営野球場

会場長	矢野 治				
副会場長	日野 克己				
総務委員長	岡 秀聡				
総務委員	佐々木亮輔	押田 浩輝	白石 太一	梅崎 凌	
記録委員長	榎原光一郎				
記録委員	河野 雅治				
記録送受信委員長	越智 泰				
記録送受信委員	山下 只茂				
練習会場委員	大野 哲也				
駐車場委員	田中 良徳				
放送委員	岩崎 友香	近藤 直子			
接待委員	菊池 将徳				

救護委員	崎山 利枝					
会場審判長	真鍋 恭二					
会場副審判長	矢野 昌彦					
全軟連派遣審判委員	井上 辰巳	田上 徹	佐久間佳弘	隈部 祐介		
審判委員	佐々木末広	丸川 伸宏	上田 慎也	宮崎 貴志	藤田 久也	
	牧 幸弘	田村 修	鈴木 陽三			

E会場 西条市ひうち球場

会場長	日野 善久					
副会場長	田中 稲造					
総務委員長	青木 茂					
総務委員	近藤 良定	渡辺 修司	御堂 弘志	兵頭 充祥		
記録委員長	岡 康壽					
記録委員	池田 純二					
記録送受信委員長	丹 博文					
記録送受信委員	倉田 早苗					
練習会場委員	岩本 元一					
駐車場委員	守 武司					
放送委員	真鍋 裕香	畑中 麻裕				
救護委員	千場美保子	西坂由香子				
会場審判長	横井 峰男					
会場副審判長	玉井 浩治					
全軟連派遣審判委員	井上 辰巳	田上 徹	佐久間佳弘	隈部 祐介		
審判委員	高木 康	小寺 悟	合田 敏和	日野 貴史	吉岡 信二	
	八木 聡	矢葺 秀和				
補助員						

F会場 上島町いきなスポレク公園蛙石野球場

会場長	平田 信行			
副会場長	沖田 正			
総務委員長	高橋 邦彦			
総務委員	沖田 正			
記録委員長	中野 剛			
記録委員	恵川 貴司			
記録送受信委員長	有馬 啓介			
記録送受信委員	角谷 有一			
練習会場委員	曾根 大地	天野 裕介		
駐車場委員	山本 将司			

放送委員	小川 恭子	伊地知玲子				
接待委員	増岡 浪江	武井 恵				
救護委員	濱田 和代					
会場審判長	岡本 治利					
副会場審判長	城戸 雅英					
全軟連派遣審判委員	井上 辰巳	田上 徹	佐久間佳弘	隈部 祐介		
審判委員	渡部 正和	小椋 直一	小椋 拓真	林 哲也	山下 英章	
	赤瀬 慎吾					
補助員	柏原 利昭	山本 勝幸	井出 和宏	曾我郡芳昭	河本 嶺也	
	西本 桂将	原山 美咲	濱本 柚希	古本 健隼	松浦 裕矢	
	村上 生樹	大谷 岳	亀井 翔生	澤田倫太郎		

G会場 内子運動公園野球場

会場長	宮瀬 盛治					
副会場長	福見 光生					
総務委員長	児玉 芳樹					
総務委員	窪田 智貴	古野 哲治	山田 定	沼井 高志		
記録委員長	水本 時丸					
記録委員	森岡 雅司					
記録送受信委員長	越智 治徳					
記録送受信委員	山岡 陽一					
練習会場委員	宮内 隆幸					
駐車場委員	寺岡 和一					
放送委員	岡田美紀江	渡部 久恵				
接待委員	大藤 留美					
救護委員	伊賀瀬牧子	二宮千詠美				
会場審判長	宮瀬 信治					
会場副審判長	北岡 聡					
全軟連派遣審判委員	井上 辰巳	田上 徹	佐久間佳弘	隈部 祐介		
審判委員	大野 伸一	佐伯 雄介	宮岡 亨	渡辺 昭義	泉 壮一	
	池田 修	山崎 貴晃	武田 保幸			
補助員	内子高校野球部					

総 則

1. 趣旨

21世紀の国民スポーツの推進を図るにあたっては、国民の一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受することを通して、スポーツが主体的に望ましい社会の実現に貢献するという「スポーツ立国の実現」を目指していくことが重要である。

本大会は、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典であり、参加者がフェアプレー精神に基づきお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、スポーツのより一層の推進を図り、併せて生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 愛媛県 公益財団法人愛媛県スポーツ協会
※各競技会については実施中央競技団体及び会場地市町が主催として加わる。

3. 主管

愛媛県実施競技団体

4. 実施競技

水泳 サッカー テニス バレーボール バasketボール 自転車競技 ソフトテニス 軟式野球
ソフトボール バドミントン 空手道 ボウリング ゴルフ (13競技)

5. 期日

令和7(2025)年9月20日(土)～9月23日(火・祝) 4日間

※水泳競技は9月6日(土)～7日(日)、自転車競技〔ロード〕は9月7日(日)、ゴルフ競技は9月8日(月)～12日(金)

6. 会場地

松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、砥部町、内子町、愛南町 (11市4町、33会場)

7. 参加者

(1)大会の参加者は、監督及び選手、並びに大会役員、競技会役員、競技役員、運営係員とする。

(2)参加者は、日本在住者とし、参加資格、所属都道府県及び年齢制限は次のとおりとする。

①参加資格

ア 各競技の監督及び選手は、所属都道府県の当該競技団体会長が、代表と認め選抜した者であること。

イ 監督、選手の兼任は、同一競技内に限る。

ウ 前記の他、選手については次の通りとする。

I. 参加選手は1人1競技とする。

II. 予選を行う必要のある競技は、都道府県予選、ブロック予選に参加し、これを通過した者。

III. 当該年の国民スポーツ大会（実施中央競技団体が定める場合を除き都道府県予選会・ブロッ

ク大会を除くとともに、冬季大会は除く)に選手として参加しない者、または参加しなかった者
エ 監督は、日本スポーツ協会が別に定める「公認スポーツ指導者制度」に基づく、当該競技団体が定める公認資格を有する者とする。

②所属都道府県

所属都道府県は、実施中央競技団体が限定する場合を除き、次の2ヶ所のいずれかを選択することができる。

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

なお、いずれの場合も本人が参加申込書又は手続きに必要な情報を当該都道府県競技団体へ提出した時点を基準とし、提出後に他の都道府県に転居等で移動した場合であっても当該年においては移動前の都道府県に所属するものとする。

③選手の年齢制限

ア 原則として、35歳以上とし、競技ごとに別に定める。

イ 年齢の計算は、原則として令和7(2025)年4月1日を基準とし、競技ごとに別に定める。年齢を区分する種目への参加選手の基準も同様とする。

(3)参加者は、以下の参加上の注意を遵守すること。

①参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。

②参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

③参加者は、健康保険証(又はマイナ保険証)を持参すること。

④緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。

⑤薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

(4)その他

①大会には、日韓スポーツ交流の韓国選手団が参加する。

②参加資格等に疑義が生じたときは、日本スポーツ協会及び当該中央競技団体が調査の上処分の必要性が認められる場合は別途定める「参加資格違反に関する処分基準」に基づき日本スポーツ協会において審議・処遇を決定する。

③参加申込や大会運営を通じて取得する個人情報および肖像権の取扱いについては、別途「個人情報・肖像権の取扱いについて」に基づくものとし、大会参加申込が完了した時点で、取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

8. 参加申込方法

(1)各都道府県又はブロックにおいて選抜された者を、都道府県競技団体会長が中央競技団体を通じて、日本スポーツ協会会長宛てに申込みものとする。

(2)参加申込書は、定められた期限までに所定の様式・方法により、日本スポーツ協会宛てに行う。

(3)参加申込後に、選手を交代する場合は、速やかに各大会の競技別実施要項所定の様式・方法にて届け出なければならない。

(4)エントリーリスト・組合せは競技ごとの抽選会后、8月中旬頃から日本スポーツ協会もしくは実施中

央競技団体のホームページにて掲載する。

9. 参加料

- (1)参加料は、各都道府県競技団体が取りまとめの上、実施中央競技団体を通じて定められた期限までに日本スポーツ協会に納入する。
- (2)参加料の額は、選手、監督等スタッフ専任者1人8,000円とする。
なお、商業施設使用競技については、別途、施設負担金を徴収する（額は競技ごとに日本スポーツ協会が別に定める）。
- (3)納入後の参加料は返金しない。
- (4)地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

10. 表彰

- (1)各競技の各種別、種目などの第1位から第3位までの者に、それぞれ記念品を授与する。
- (2)原則として、各競技の各種別、種目などの第1位から第8位までの者に、それぞれ賞状を授与する。
- (3)前号については、各競技の各種別、種目などの特性に応じて、実施中央競技団体が日本スポーツ協会と調整の上、別に基準を定めることができるものとする。

11. 宿泊及び交通

- (1)参加者（監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員）の宿舎、交通の手配は、原則として日本スポーツ協会が指定する旅行会社に依頼することとする。
- (2)詳細については、別に定める「宿泊・輸送に関する基本要領」に基づき行う。

12. 大会参加章の交付

日本スポーツ協会は、参加者の大会参加意識の啓発及び国民のスポーツ活動を一層推進するため、大会参加章を作成し、参加者（監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員）及び日本スポーツ協会が特に認めた者に交付する。

13. その他

- (1)参加申込書及び参加料が定められた期限までに指定された場所に到着しない場合は、理由のいかんを問わず、本大会への参加を認めない。
- (2)日韓スポーツ交流で参加する韓国選手団の参加資格、申込方法等については、別途定める。
- (3)その他の事項については、日本スポーツマスターズ開催基準要項による。

実施要項

1. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 愛媛県 公益財団法人愛媛県スポーツ協会
公益財団法人全日本軟式野球連盟 松山市 今治市 新居浜市 西条市 上島町 内子町

2. 主管 一般社団法人愛媛県軟式野球連盟

3. 期 日 令和7（2025）年9月20日(土)から22日(月)まで（3日間）

種 別	9月20日(土)	9月21日(日)	9月22日(月)
男 子	1回戦	2回戦・準々決勝	準決勝・決勝

4. 会 場

- A 坊っちゃんスタジアム 〒790-0948 愛媛県松山市市坪西町625-1
B マドンナスタジアム 〒790-0948 愛媛県松山市市坪西町625-1
C 今治市営球場 〒794-0005 愛媛県今治市大新田町5丁目111-7
D 新居浜市営野球場 〒792-0802 愛媛県新居浜市新須賀町3丁目2-54
E 西条市ひうち球場 〒793-0003 愛媛県西条市ひうち1-2
F 上島町いきなスポレク公園蛙石野球場
〒794-2550 愛媛県越智郡上島町生名4528
G 内子運動公園野球場 〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子179

5. 参加人員

種別	監督	責任者・マネージャー・スコアラー	選 手	参加都道府県	合 計
男子	1名	各1名	15～20名	31チーム	744名
韓国男子	1名	各1名	15名	1チーム	19名
合計				32チーム	763名

*監督・マネージャー・スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。

6. 競技上の規程及び方法

(1)競技規程

2025年度公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。

なお、大会規程は全日本軟式野球連盟規程細則による。

(2)試合方法

①試合は7回戦とする。また指名打者制を採用する。(公認野球規則5.11)

②トーナメント方式による。ただし、3位決定戦は行わない。

(3)コールドゲーム

得点差によるコールドゲームは採用しない。

(4)タイブレイク方式（特別延長戦）

7回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、タイブレイク方式により勝敗を決する

(0アウト・二塁、継続打順)。

(5)大会使用球

全日本軟式野球連盟公認球 (M号) を使用する。

7. チームの選出方法

- (1)各都道府県 (軟式) 野球連盟 (協会) において、各都道府県ブロック代表チームを予選もしくは選考会で決定する。
- (2)ブロック予選会区分及び代表チーム数
北海道2、東北3、関東5、北信越3、東海2、近畿3、中国3、四国2、九州5、開催県3

8. 参加資格、所属都道府県及び年齢基準

- (1)選手は、日本在住者で、令和7 (2025) 年4月1日現在で満40歳以上の者。
- (2)参加者は同一都道府県に居住、または勤務する者で編成されたチームとする。
- (3)参加チームは、令和7年度各都道府県 (軟式) 野球連盟 (協会) の推薦したチームとする。
- (4)参加する選手は、本大会及び末端支部大会、都道府県大会、ブロック大会に出場するために、所属チーム以外のチームから出場することができる。
- (5)令和7 (2025) 年開催の第79回国民スポーツ大会軟式野球競技会 (予選会を除く) に監督及び選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2025軟式野球競技会に監督及び選手として参加することはできない。
- (6)本大会に参加する監督・コーチ等 (チーム内に最低1名) は、日本スポーツ協会公認軟式野球コーチ1・3の有資格者とする。なお、2025年愛媛大会参加時点で資格認定されていない状態であっても、令和7 (2025) 年10月1日付の登録手続きが完了している者は、資格保有者として扱う。

9. 表彰

- (1)第1位から第3位までのチーム構成員 (監督等含む) に、記念品を授与する。
- (2)第1位から第3位までのチームに、賞状を授与する。

10. 参加料

1人8,000円 (監督等スタッフ専任者からも参加料を徴収する)

*納入後の参加料は返金しない。

*地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

11. 参加申込方法

- (1)出場資格を得たチームは、全日本軟式野球連盟のHPより所定の参加申込書等をダウンロードして、「参加申込書」「参加登録DB」に必要事項を入力の上、所属都道府県 (軟式) 野球連盟 (協会) 宛に原則データ様式にて申込む。
- (2)各都道府県 (軟式) 野球連盟 (協会) は、提出された参加申込書等を確認後、令和7 (2025) 年8月6日(水)までに、全日本軟式野球連盟宛に提出すること。
・全日本軟式野球連盟宛：E-Mailでの提出とする。
- (3)「参加申込書」には責任者・監督・マネージャー・スコアラー・主将・以下その他の選手は、背番号

の若い方から入力すること。また「参加登録 DB」には、「参加申込書」に入力した全てのチーム構成員を入力すること。なお、参加料は都道府県（軟式）野球連盟（協会）が取りまとめて、参加申込と同時に全日本軟式野球連盟に納入すること。

(4)開催地競技団体の愛媛県軟式野球連盟へは、全日本軟式野球連盟から提出された全チームの参加申込書類を送付する。

12. 参加上の注意

(1)参加申込書提出後は、選手の追加・変更及び背番号の変更は一切認めない。

(2)背番号は0～99番までとする。ただし、主将は10番、監督は30番、コーチは28番、29番とする。

(3)競技に際しては、所属都道府県名を左上腕部に明記したユニフォームを着用しなければならない。

(4)木製バット以外は、全日本軟式野球連盟公認のバットであること。

(5)捕手は危険防止のため、全日本軟式野球連盟公認のヘルメット、マスク、プロテクター、レガーズを必ず着用すること。

(6)打者、走者、次打者及びベースコーチは、必ず競技者必携に記載のヘルメットを着用すること。

(7)試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手は、ファウルカップを着用すること。

(8)監督会議には、出場チームの監督又は主将が必ずユニフォームを着用し、「2025年度競技者必携」を持参の上出席すること。出席しない場合は原則として棄権したものとみなす。

(9)参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。

(10)事故発生の場合、主催者は臨時の応急手当（救急処置）を行い、必要に応じて医療機関に移送する。

(11)大会参加者の大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガを補償するため、日本スポーツ協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。

(12)参加者は、健康保険証を持参すること。

(13)緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。

(14)薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）を必ず携行すること。

13. 宿泊・交通申込について

全日本軟式野球連盟は、日本スポーツ協会より配布される宿泊・交通案内を都道府県（軟式）野球連盟（協会）に送付し、都道府県（軟式）野球連盟（協会）は参加申込者に配布する。参加申込者は宿泊・交通申込案内に従い申し込む。

14. その他

(1)組合せ抽選会

全日本軟式野球連盟役員並びに愛媛県軟式野球連盟役員立会いの上、代理抽選を行う。

日 時／令和7（2025）年8月8日（金） 15：00

会 場／公益財団法人全日本軟式野球連盟 会議室

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-27-7 軟式野球会館 TEL：03-3404-8831

(2)監督会議

日 時／令和7（2025）9月19日（金） 15：00

会 場／坊っちゃんスタジアム第5会議室

〒790-0948 松山市市坪西町625-1 TEL : 089-965-3000

(3)本部宿舎 ホテル No.1松山

〒790-0011 松山市千舟町 2 丁目7-3 TEL : 089-921-6666

大会式典

監督会議

日時 令和7年9月19日(金)15:00
会場 坊っちゃんスタジアム第5会議室
松山市市坪西町625-1

表彰式次第

日時 令和7年9月22日(月)決勝戦終了後
会場 坊っちゃんスタジアム
松山市市坪西町625-1

来賓・役員・関係者整列

選手団整列

1. 開式通告
2. 成績発表
3. 表彰
4. あいさつ
5. 国旗大会旗・県旗・市旗・全軟旗降納
6. 閉会宣言
7. 選手ダイヤモンド一周
8. 閉式通告

選手団退場

来賓・役員・関係者 退場

競技日程

会 期：令和7年9月20日(土)～22日(月)

監督会議：令和7年9月19日(金)15：00 坊っちゃんスタジアム第5会議室
 会 場：A 会場：坊っちゃんスタジアム
 B 会場：マドンナスタジアム
 C 会場：今治市営球場
 D 会場：新居浜市営野球場
 E 会場：西条市ひうち球場
 F 会場：上島町いきなスポレク公園蛙石野球場
 G 会場：内子運動公園野球場

競技第1日（9月20日(土)）一回戦

	第1試合	第2試合	第3試合
A会場	8：30	11：00	13：00
C会場	8：30	10：30	12：30
D会場	8：30	10：30	12：30
E会場	9：00	11：00	
F会場	8：30	10：30	12：30
G会場	9：00	11：00	

競技第2日（9月21日(日)）二回戦・準々決勝

	第1試合	第2試合	第3試合
A会場	9：00	11：00	13：30
C会場	9：00	11：00	13：30
E会場	9：00	11：00	13：30
G会場	9：00	11：00	13：30

競技第3日（9月22日(月)）準決勝・決勝

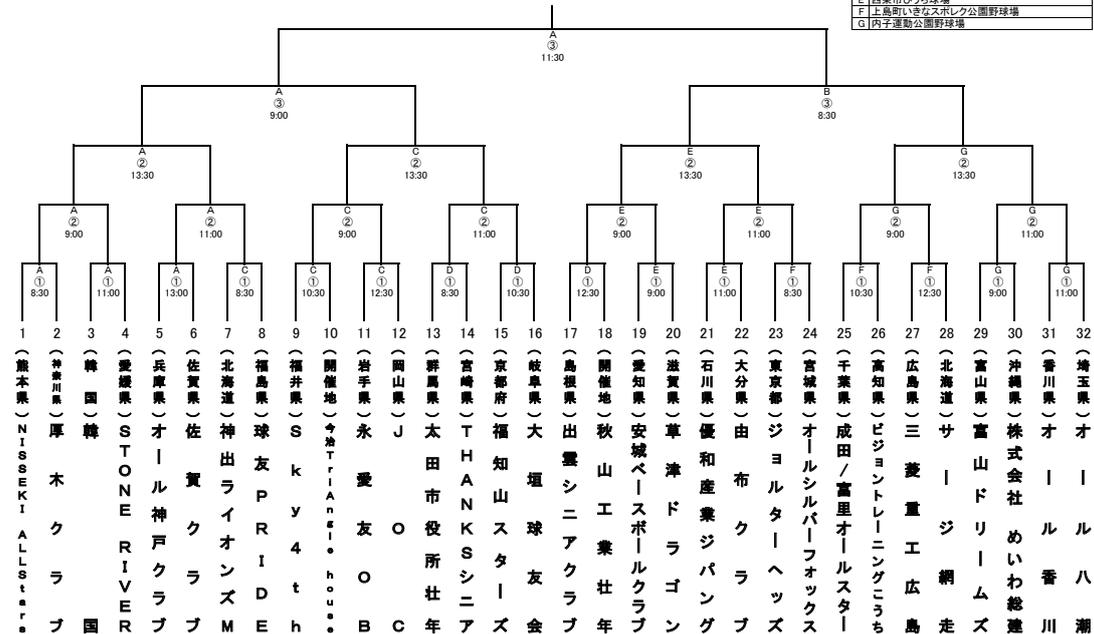
	第1試合（準決勝）	第2試合（準決勝）
A会場	9：00	11：30
B会場	8：30	

表彰式：9月22日(月)試合終了後

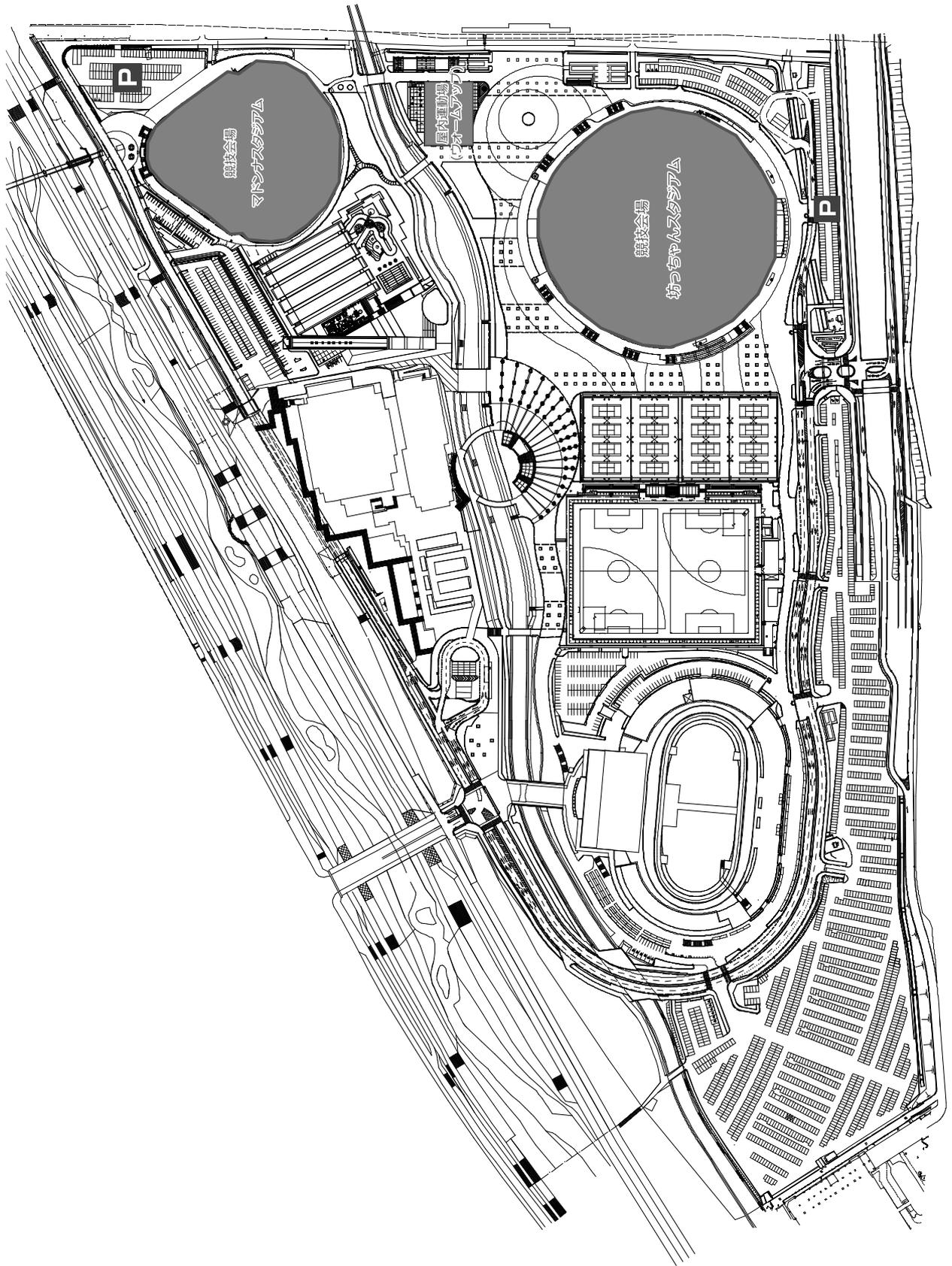
※準決勝各試合終了後、3位表彰、決勝戦終了後、表彰式を実施。

監督会議：9月19日(金) 15:00 坊っちゃんスタジアム第5会議室
 競技第1日：① 9月20日(土)
 競技第2日：② 9月21日(日)
 競技第3日：③ 9月22日(月)

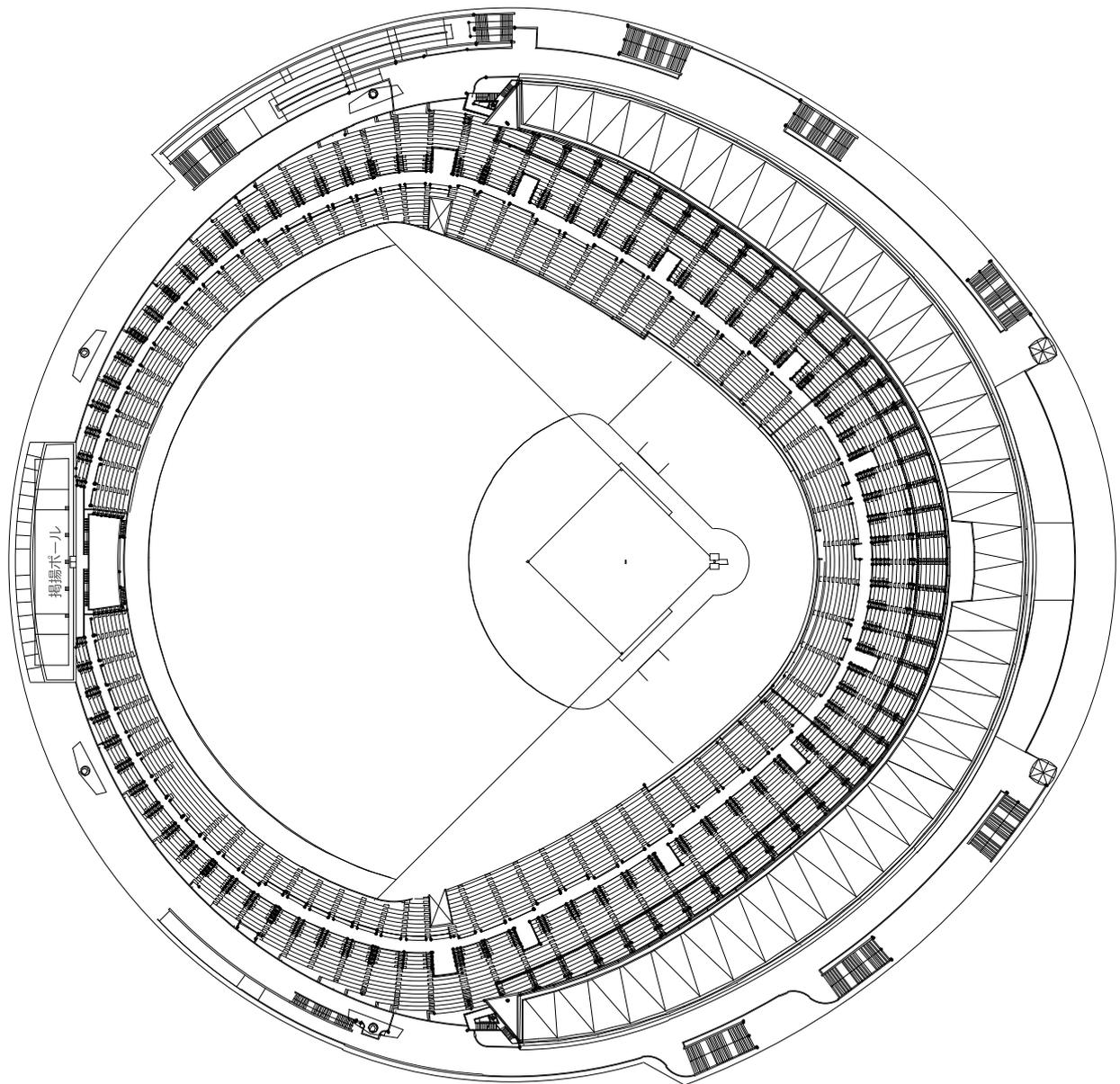
A	坊っちゃんスタジアム
B	マドンナスタジアム
C	今治市営球場
D	新居浜市営野球場
E	西条市ひうち球場
F	上島町いきなスポレク公園野球場
G	内子運動公園野球場



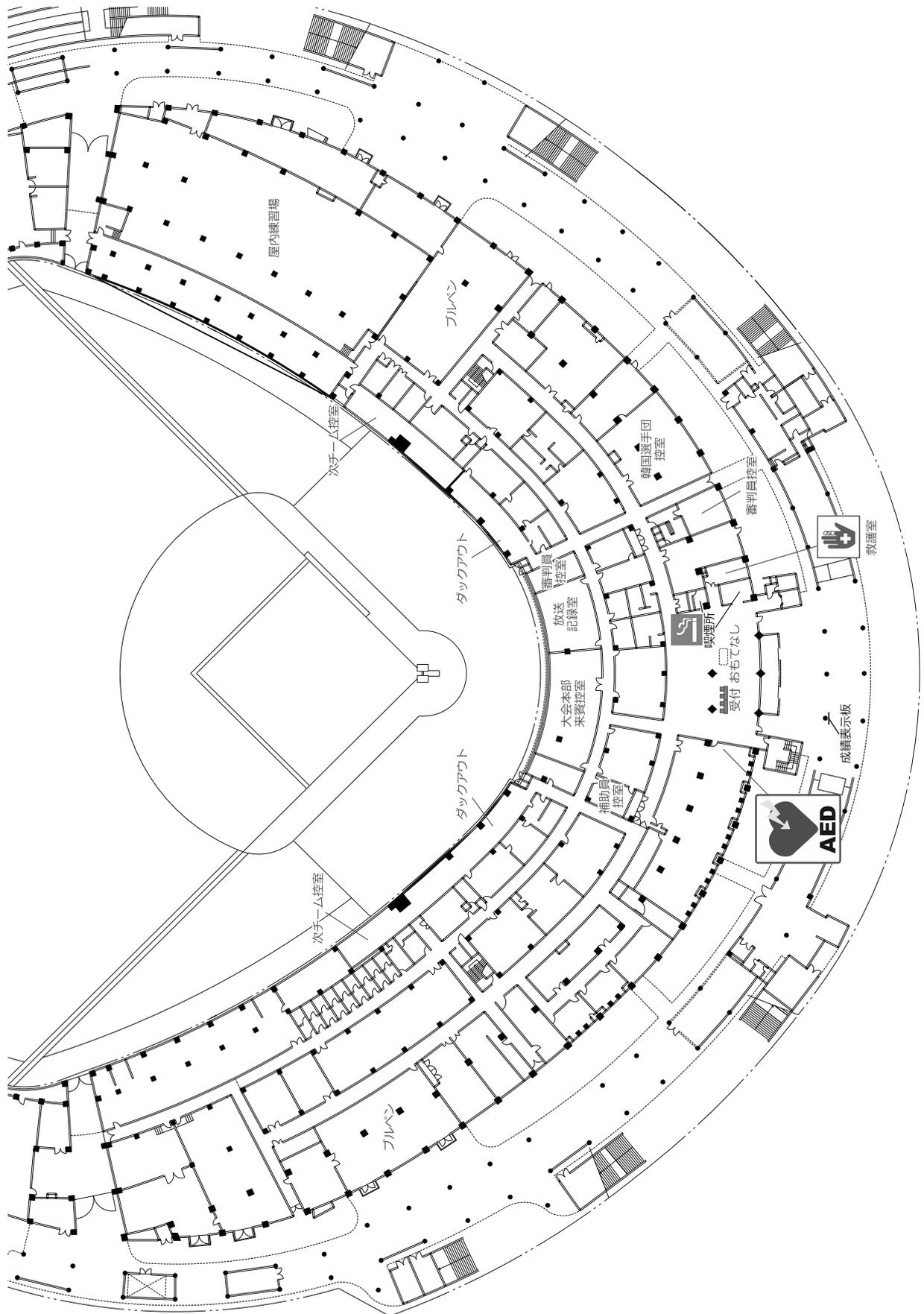
坊っちゃんスタジアム & マドンナスタジアム松山中央公園（会場周辺図）平面図



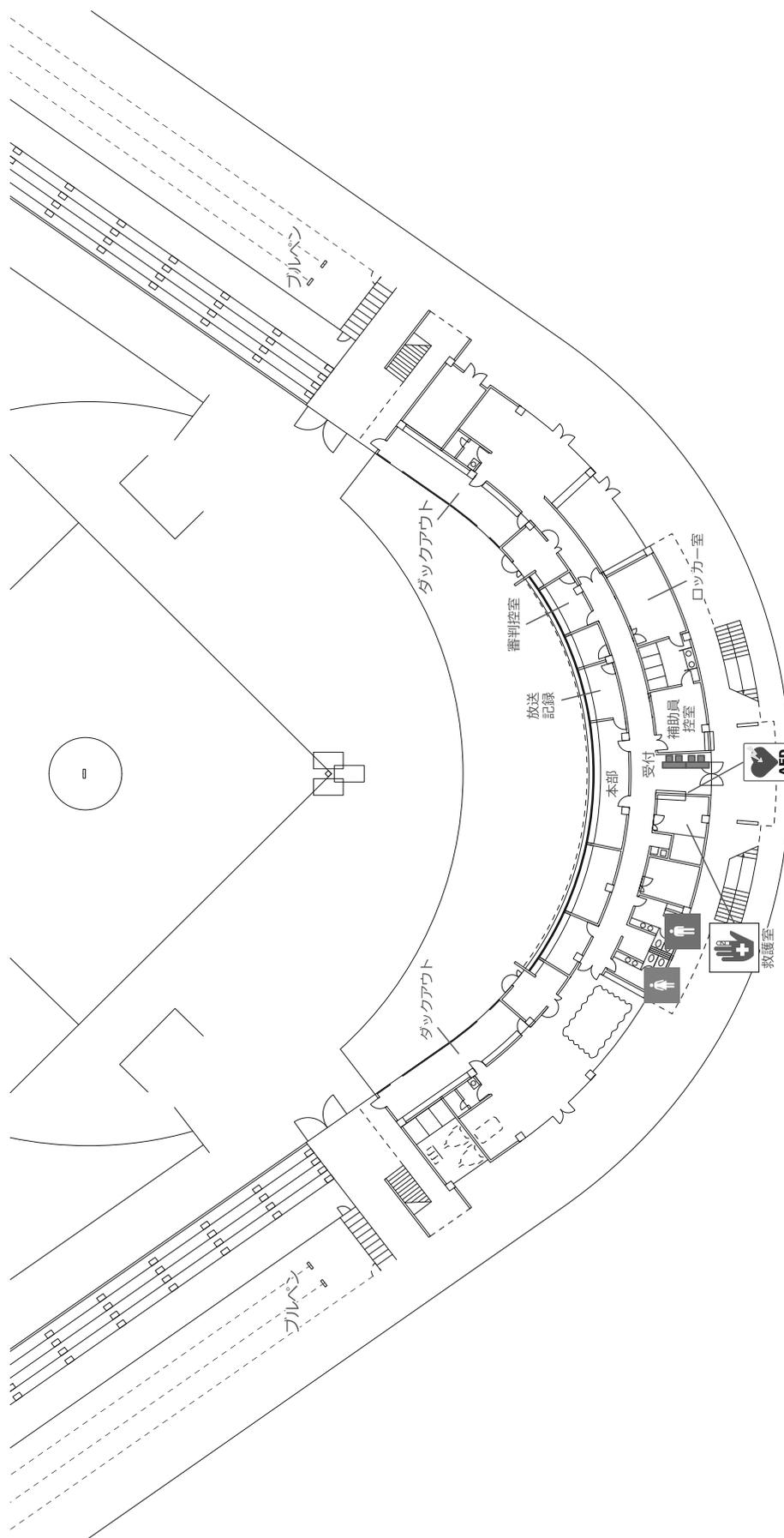
坊っちゃんスタジアム全体平面図



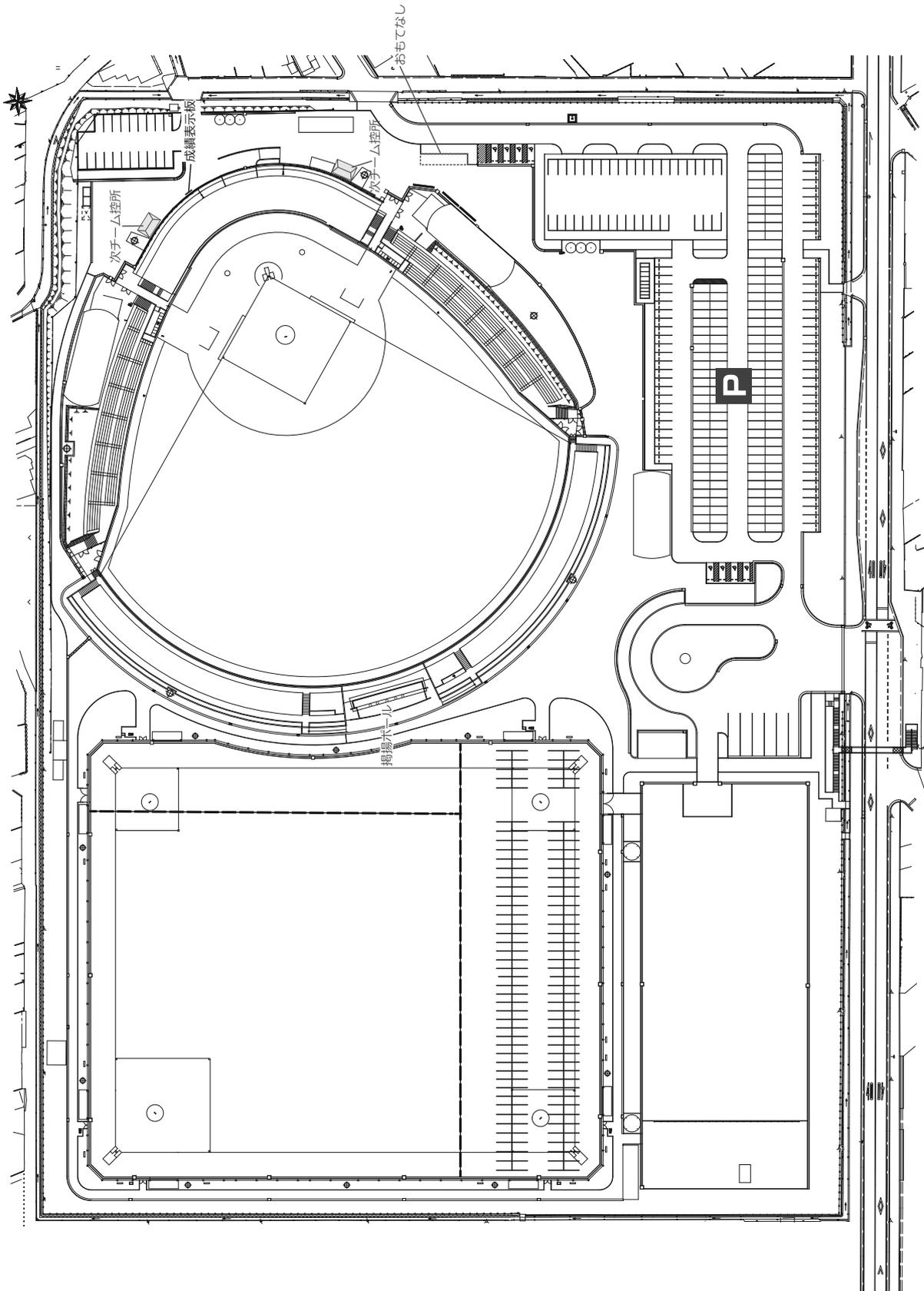
坊っちゃんスタジアム1階平面図



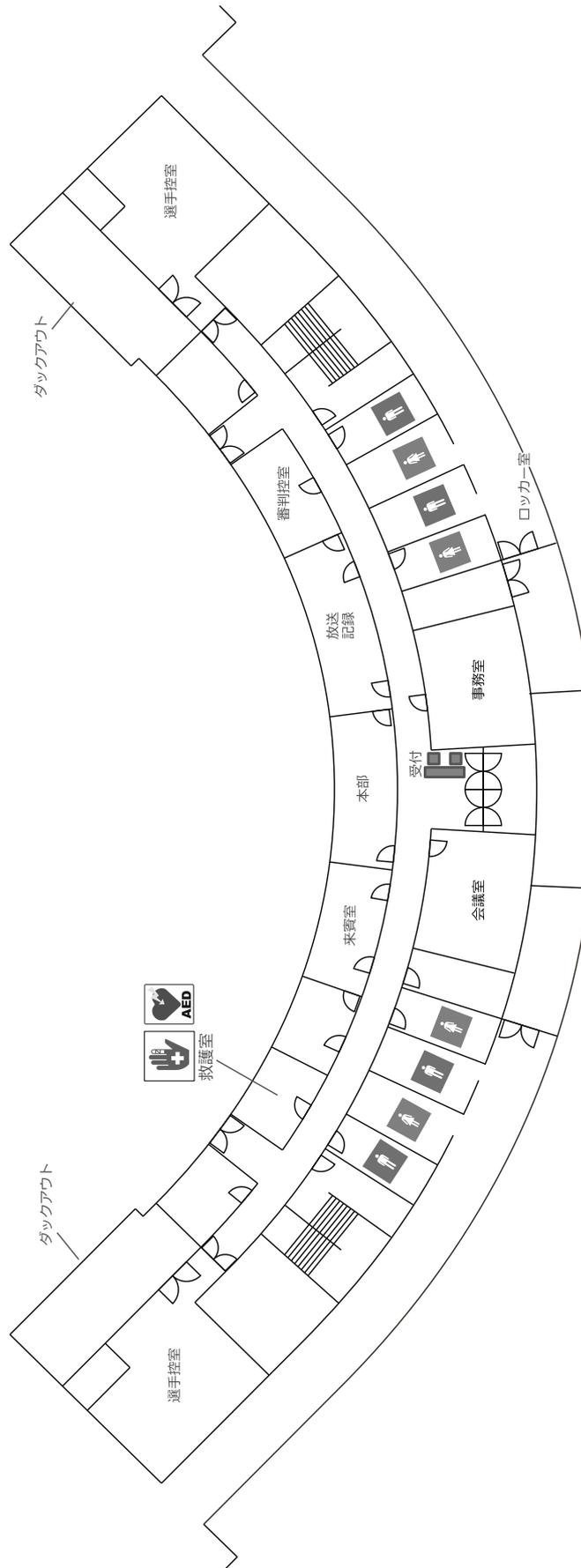
マドンナスタジアム平面図



今治市営球場全体平面図



今治市営球場平面図

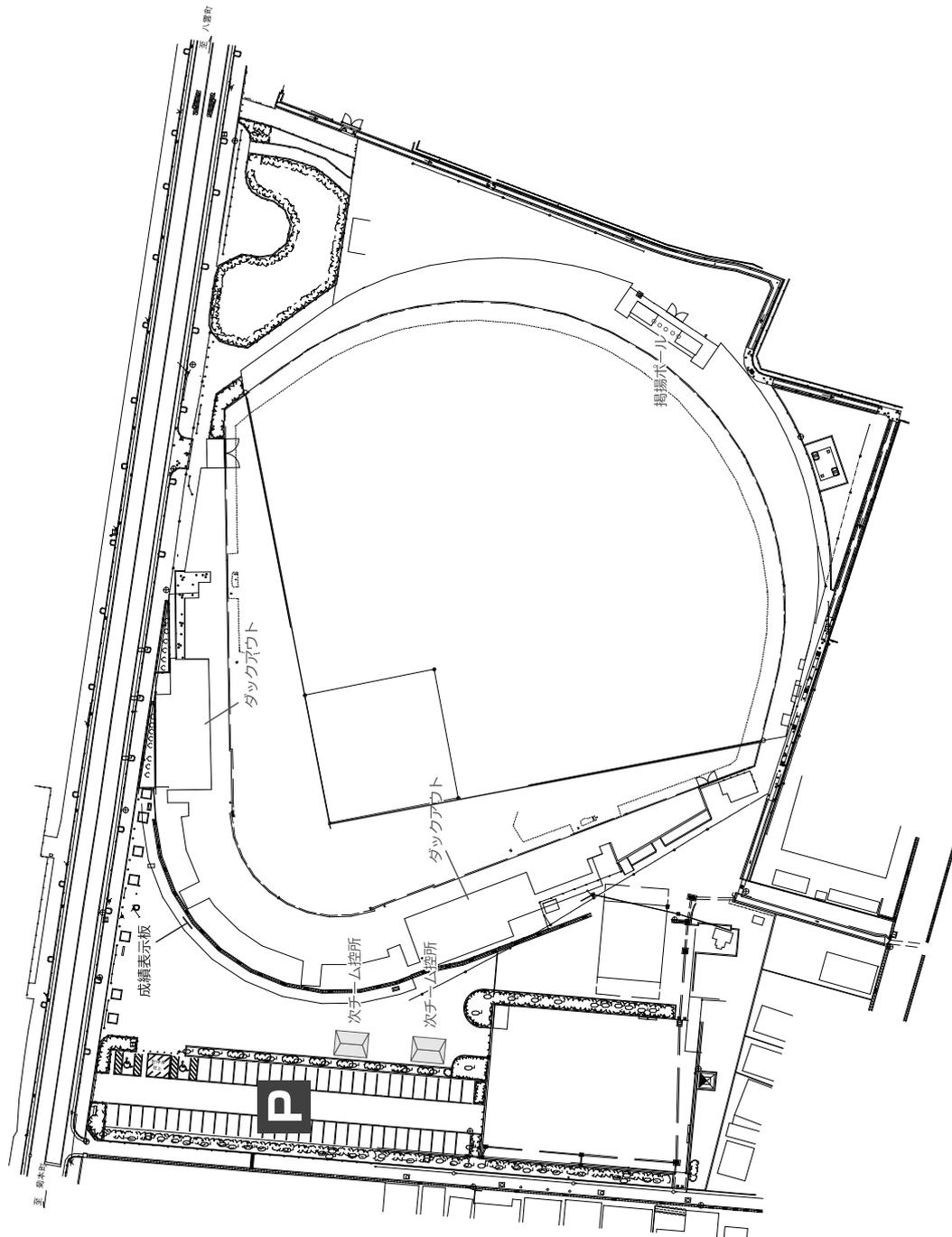


新居浜市営野球場(会場周辺図)平面图

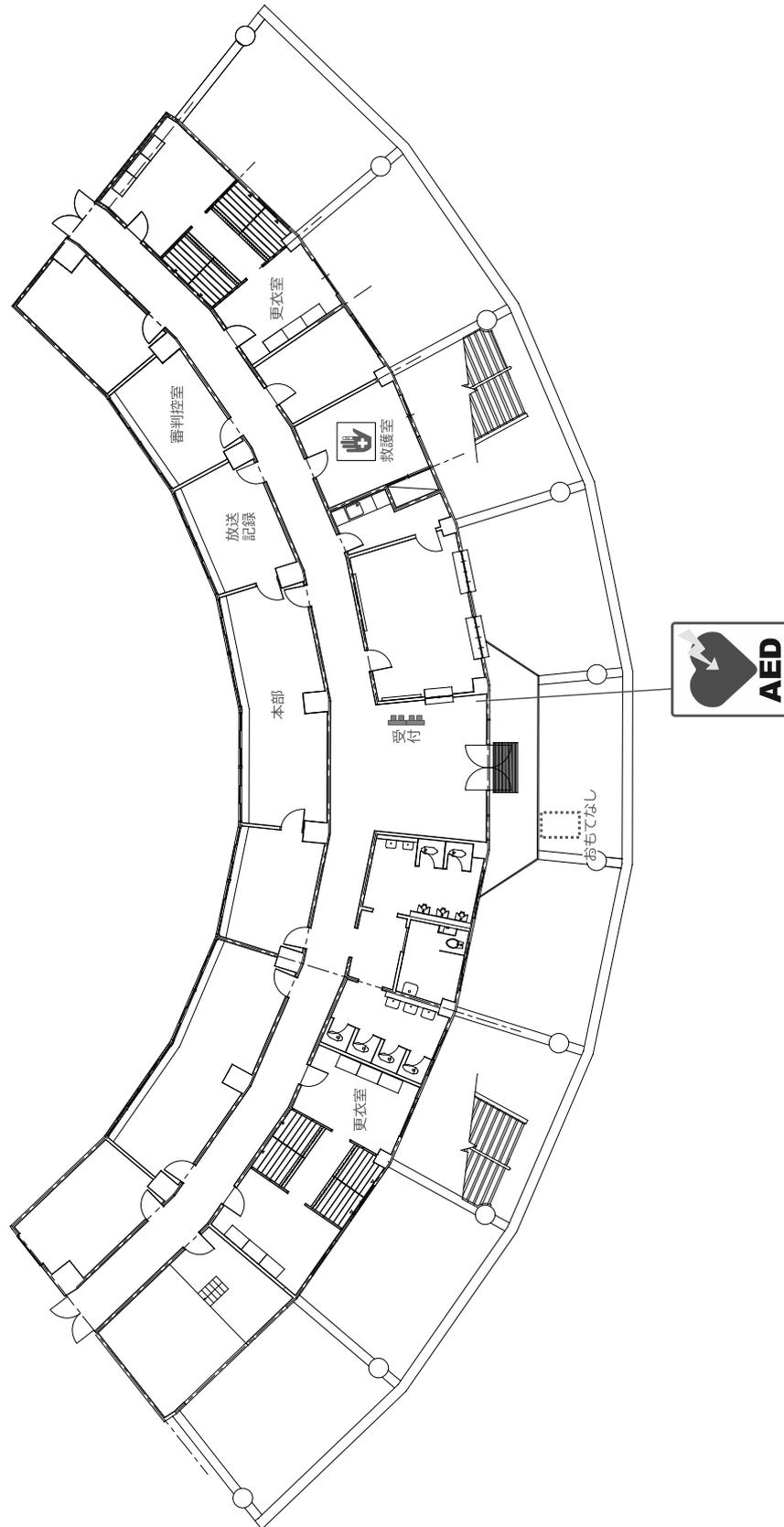


出典：地理院地図Vector(<https://maps.gsi.go.jp>)

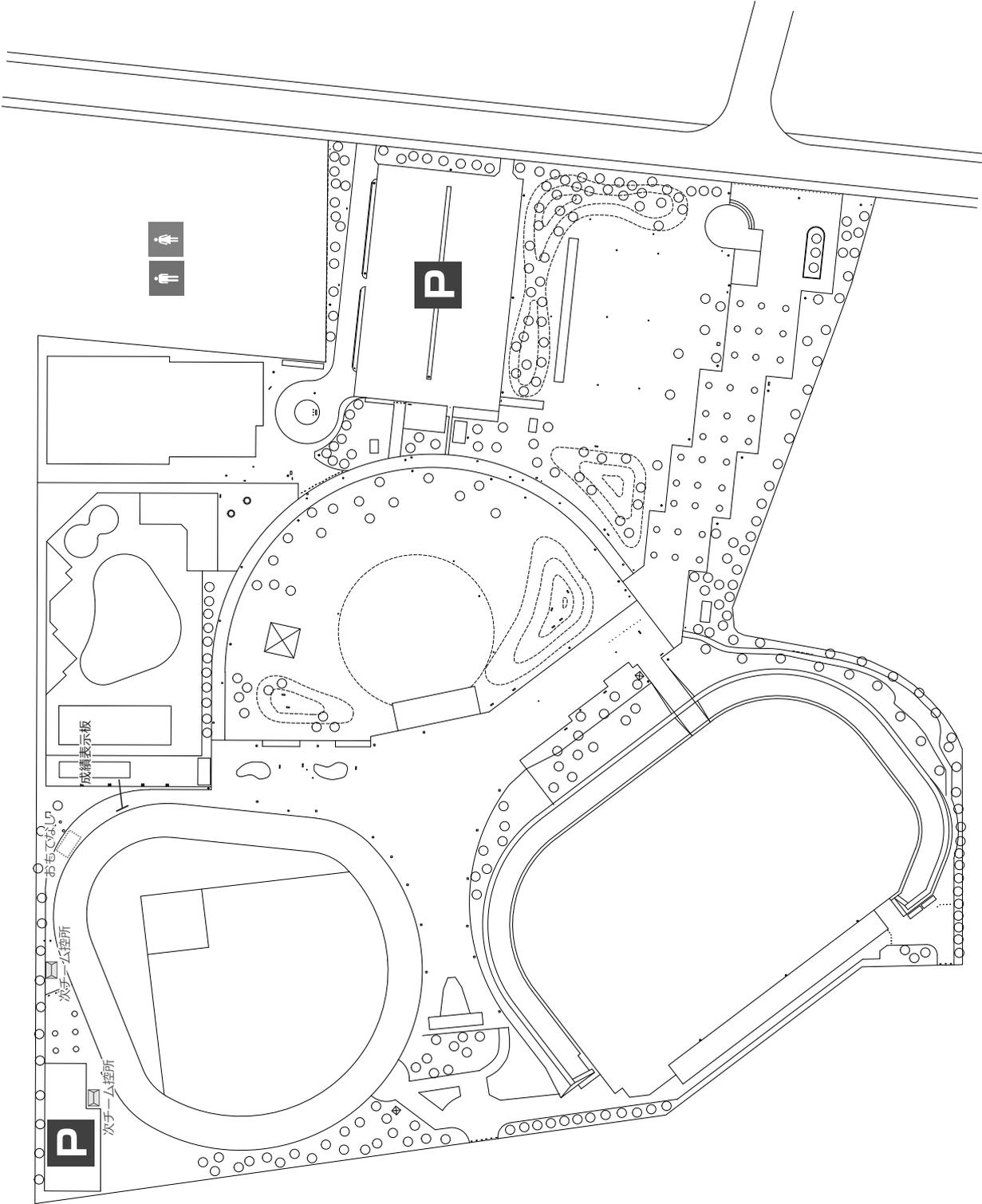
新居浜市営野球場全体平面図



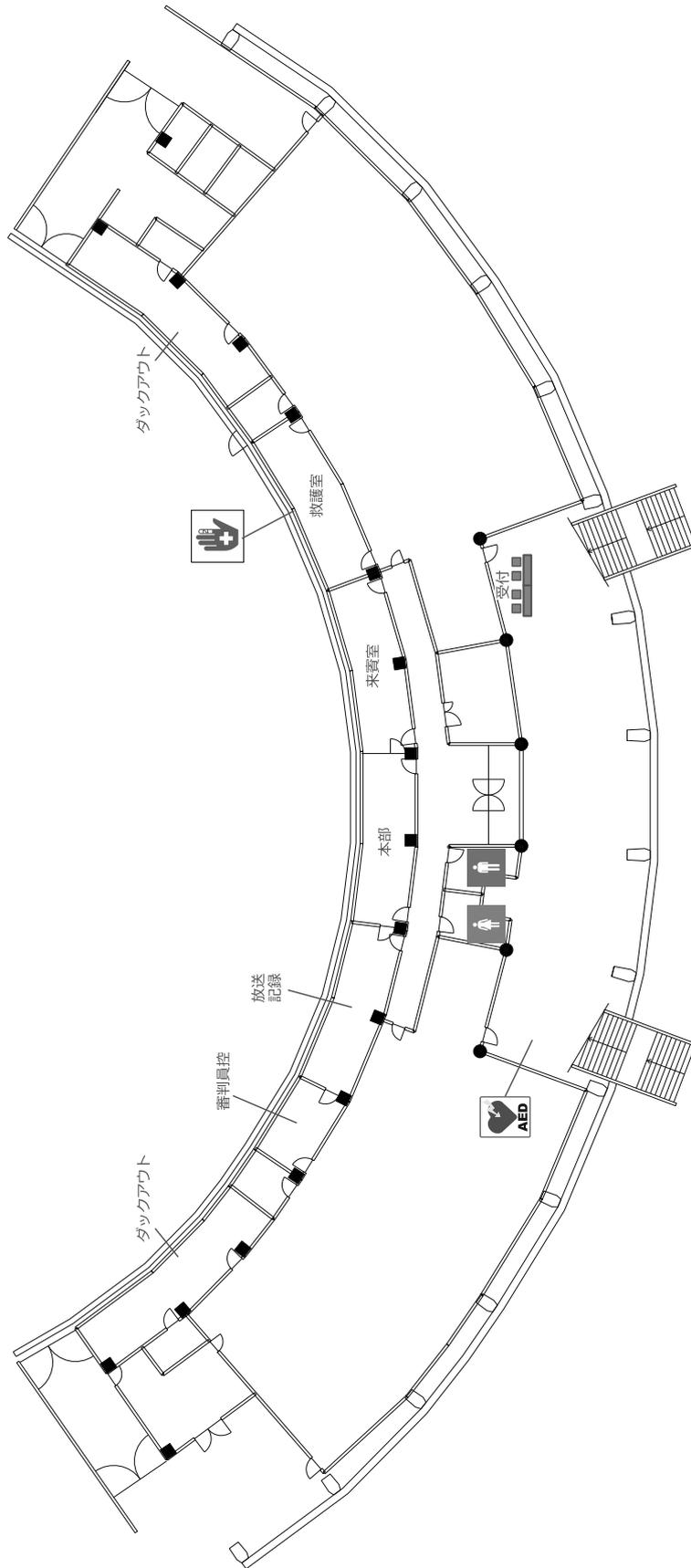
新居浜市営野球場平面図



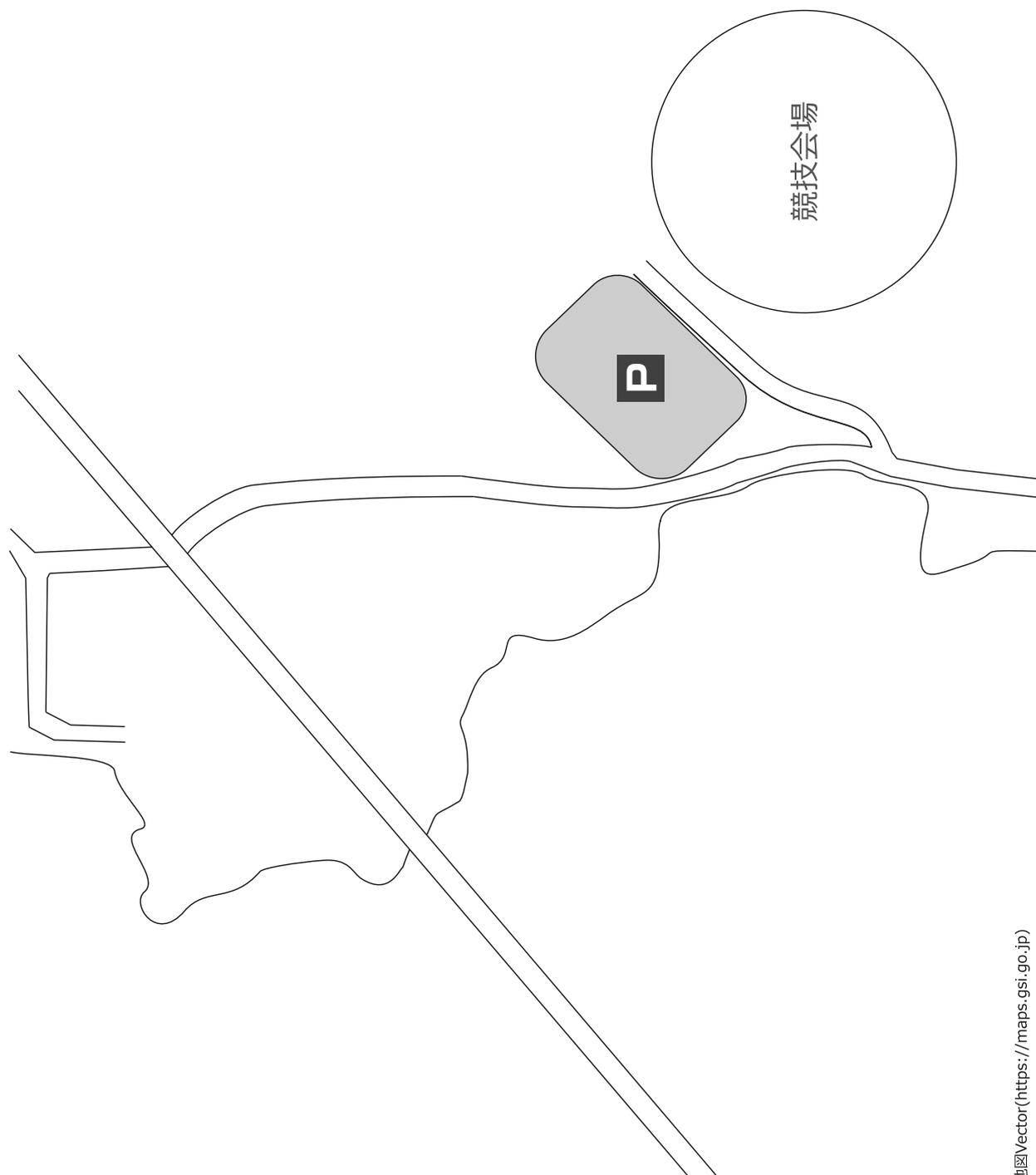
西条市ひうち球場全体平面図



西条市ひうち球場平面図

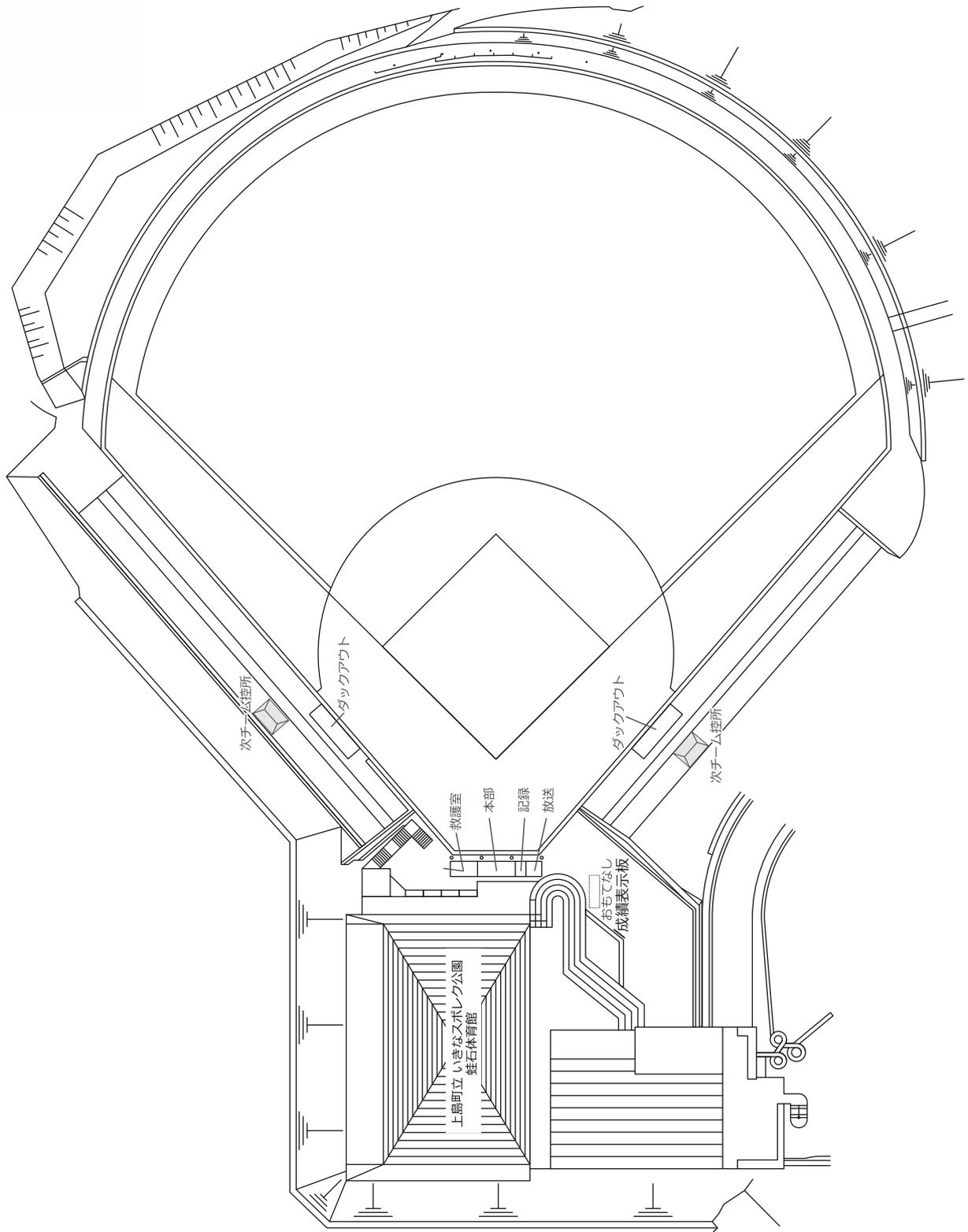


上島町いきなスポレク公園蛙石野球場(会場周辺図)平面図

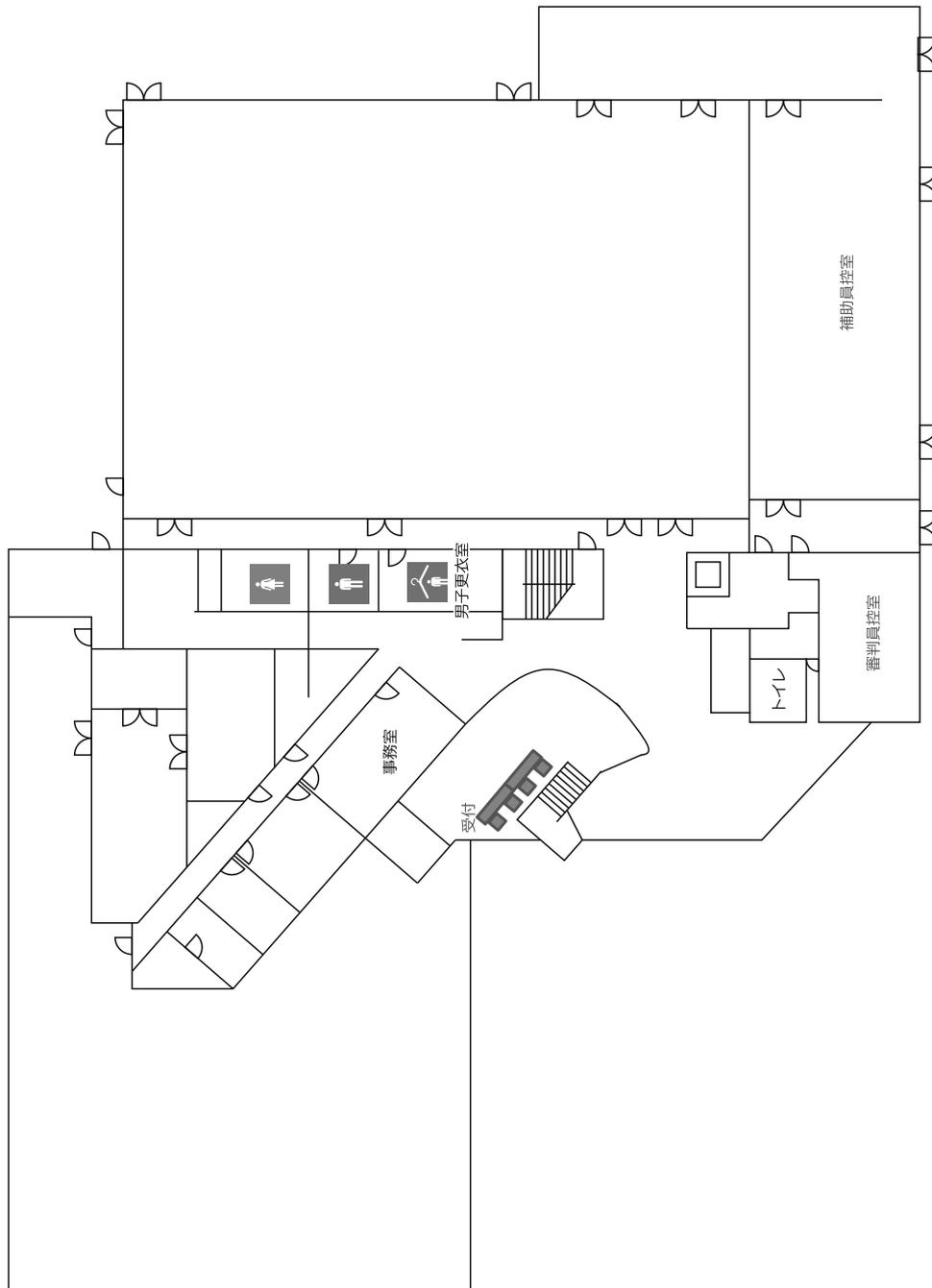


出典：地理院地図Vector(<https://maps.gsi.go.jp>)

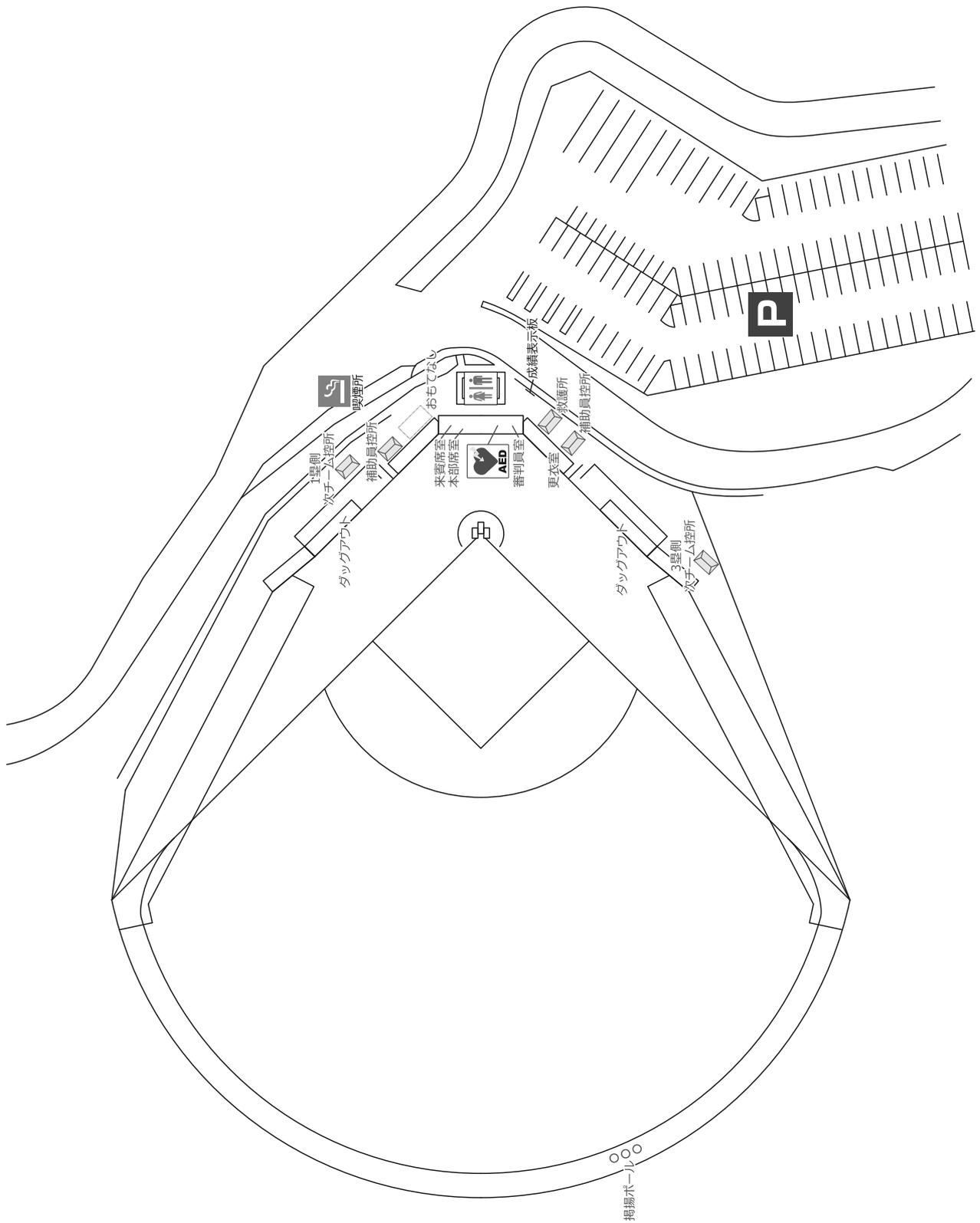
上島町いきなスポレク公園蛙石野球場平面図



上島町いきなスポレク公園体育館平面図



内子運動公園野球場平面図



参加チーム紹介

北海道

サージ網走

背番号	位置	氏名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	阿部 尚人 (アベ ナオト)	コーチ1	49
10	スコアラー	吉村 夕夏 (ヨシムラ ユカ)		58
6	主将/捕手	梅村 和史 (ウメムラ カズフミ)		57
8	内野手	青木 和彦 (アオキ カズヒコ)		49
9	内野手	野口 宏樹 (ノグチ ヒロキ)		49
11	外野手	東出 信幸 (ヒガシデ ノブユキ)		54
14	投手	今野 英樹 (イノノ ヒデアキ)		57
15	投手	吉村 学 (ヨシムラ マナブ)		60
16	外野手	井上 博登 (イノウエ ヒロト)		47
17	内野手	木村 篤史 (キムラ アツシ)		48
19	外野手	小野 祐也 (オノ ユウヤ)		40
22	投手	西田 直樹 (ニシダ ナオキ)		48
23	内野手	池端 剛 (イケハタ ツヨシ)		53
25	投手	遠藤 敏明 (エントウ トシアキ)		60
26	投手	花田 源 (ハナダ ゲン)		48
27	内野手	加藤 仁 (カトウ ヒトシ)		65
41	捕手	宮崎 大輔 (ミヤザキ ダイスケ)		41
99	投手	元良 崇 (モトラ タカシ)		41
	内野手	池端 宏記 (イケハタ ヒロキ)		50
備考				

神出ライオンズM

背番号	位置	氏名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	長谷部 克哉 (ハセベ カツヤ)	コーチ1	57
10	スコアラー	須藤 夏菜子 (スドウ カナコ)		37
1	主将/捕手	伊藤 充 (イトウ マコト)		47
2	内野手	伊藤 秀則 (イトウ ヒデノリ)		44
3	外野手	岡坂 裕司 (オカサカ ユウジ)		56
5	外野手	福島 慎也 (フクシマ シンヤ)		44
7	内野手	神保 英士 (ジンボ エイジ)		53
11	外野手	澤田 義文 (サワタ ヨシフミ)		68
13	投手	森井 洋光 (モリイ ヒロミツ)		59
14	外野手	小森 貴則 (コモリ タカノリ)		53
17	投手	佐藤 敦史 (サトウ アツシ)		46
21	投手	石塚 精一 (イシヅカ セイイチ)		62
26	内野手	泉 乃将 (イズミ ダイスケ)		56
33	外野手	坂井 直美 (サカイ ナオミ)		53
34	内野手	大滝 裕生雄 (オオタキ ユキオ)		55
35	内野手	出頭 博文 (デガシラ ヒロフミ)		55
54	内野手	小田 一孝 (オダ カズタカ)		50
99	内野手	桑村 直樹 (クワムラ ナオキ)		46
	外野手	蔵重 雄人 (クラシゲ ユウト)		44
備考				

岩手県

永愛友OB

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長) 監督	清水 忠勝 (シミズ タダカツ)		49
	マネージャー	佐々木省三 (ササキ ショウゾウ)		64
	スコアラー	及川 好恵 (オイカワ ヨシエ)		66
10	主将/内野手	久徳美喜子 (キクウトク ミキコ)		50
0	内野手	伊藤 剛 (イトウ ヲシ)		46
1	投手	野崎 智幸 (ノザキ トモユキ)		47
2	外野手	吉水 敏基 (ヨシミズ トシキ)		47
3	投手	遠藤 崇央 (エントウ タカヒロ)		41
5	内野手	杉本 享大 (スギモト ユキヒロ)		44
6	内野手	伊藤 誠 (イトウ マコト)		49
7	内野手	野崎 秀幸 (ノザキ ヒデユキ)		50
11	投手	佐々木清志 (ササキ キヨシ)		41
12	投手	首藤 圭太 (シュトウ ケイタ)		43
15	投手	伊藤 光 (イトウ アキラ)		43
18	投手	高橋 真也 (タカハシ シンヤ)		43
19	投手	高橋 智寿 (タカハシ トモカズ)		49
21	投手	清水 忠勝 (シミズ タダカツ)		49
22	投手	八重樫雅弘 (ヤエガシ マサヒロ)		44
27	内野手	高橋 英二 (タカハシ エイジ)		51
28	外野手	菊池 辰夫 (キクチ タツオ)		61
33	外野手	東野 圭 (ヒガシノ ケイ)	コーチ1	53
60	外野手	鎌田 憲光 (カマダ ノリミツ)		47
99	投手	平賀 吉夫 (ヒラカ ヨシオ)		59
		坂本 幹郎 (サカモト ミキオ)		47
備 考				

宮城県

オールシブルバーフックス

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	澤内 明 (サワウチ アキラ)		51
10	主将/投手	相原 奈々 (アイハラ ナナ)		38
1	内野手	平塚 匡章 (ヒラツカ タダアキ)		51
2	内野手	武田 卓也 (タケダ タクヤ)		42
3	内野手	斎藤 樹 (サイトウ タツキ)		43
5	内野手	宮本 和也 (ミヤモト カズヤ)		51
6	内野手	佐藤 晋也 (サトウ シンヤ)	コーチ1	42
8	外野手	吉田 圭一 (ヨシダ ケイイチ)		42
9	外野手	高野 敏広 (タカノ トシヒロ)		51
12	外野手	平塚 雅章 (ヒラツカ マサアキ)		47
13	投手	水井 康太 (ミズイ コウタ)		41
15	内野手	山田 耕也 (ヤマダ コウヤ)		41
18	投手	菅原 浩 (スガワラ ヒロシ)		42
24	内野手	後藤 学 (ゴトウ マナブ)		57
25	外野手	石塚 幸英 (イシヅカ ユキヒデ)		41
		朝倉 英則 (アサクラ ヒデノリ)		42
備 考				

福島県

球友 PRIDE

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長)	杉森 善雄 (スギモリ ヨシオ)		51
10	監督	杉森 善雄 (スギモリ ヨシオ)		51
0	主将/内野手	小野 誠 (オノ マコト)		49
1	内野手	佐藤 大 (サトウ マサル)		50
2	外野手	荒 幸二 (アラ コウジ)		50
3	捕手	今野 竜一 (イマノ リュウイチ)		49
4	内野手	木幡 正俊 (コワタ マサトシ)		46
5	外野手	高橋 純 (タカハシ ジュン)		47
6	内野手	菅野 高秀 (カンノ タカヒデ)	コーチ 1	50
7	内野手	寺島 一宏 (テラシマ カズヒロ)		49
11	投手	佐々木理大 (ササキ マサヒロ)		49
23	投手	高橋 幸雄 (タカハシ ユキオ)		50
24	内野手	蛭原 英誠 (エビハラ ヒデアブ)		50
25	投手	椎谷 学 (シイヤ マナブ)		51
26	投手	鈴木聡一郎 (スズキ ソウイチロウ)		43
28	投手	清永 顕充 (キヨナガ アキミツ)		44
29	投手	近藤 栄二 (コンドウ エイジ)		45
	内野手	前山 浩明 (マエヤマ ヒロアキ)		50

備考

群馬県

太田市役所壮年

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長)	中島 孝之 (ナカジマ タカユキ)		57
	監督	茂木 健太 (モテギ ケンタ)		49
10	マネージャー	西戸 孝広 (ニシド タカヒロ)		55
1	スコアラー	笠原 淳一 (カサハラ ジュンイチ)		57
3	主将/外野手	小西 隆介 (コニシ リュウスケ)		44
6	内野手	武藤 善彦 (ムトウ ヨシヒロ)		45
9	外野手	赤坂 雅彦 (アカサカ マサヒコ)		49
12	内野手	寺内 弘和 (テラウチ ヒロカズ)		45
13	外野手	春山 隆伸 (ハルヤマ タカノブ)		55
15	内野手	高橋 正樹 (タカハシ マサキ)		40
17	外野手	栗原 一悟 (クリハラ カズノリ)		48
21	内野手	永井 秀明 (ナガイ ヒデアキ)		47
22	投手	荒牧 且大 (アラマキ カツヒロ)		44
25	外野手	上田 晃久 (ウエダ テルヒサ)		49
26	捕手	高田 洋 (タカタ ヒロシ)		45
32	内野手	堀江 憲一 (ホリエ ケンイチ)		54
36	内野手	梅澤 健 (ウメザワ タケシ)		47
37	投手	小林 弘知 (コバヤシ ヒロトモ)	コーチ 3	41
38	内野手	糸井 昭仁 (イトイ アキヒト)		51
42	内野手	窪田 洋 (クボタ ヒロシ)		49
53	内野手	田沼 俊秀 (タヌマ トシヒデ)		40
	外野手	吉田 力 (ヨシダ チカラ)		46
	投手	関 大輔 (セキ ダイスケ)	コーチ 1	46

備考

埼玉県

オール八潮

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	落水 剛 (オチミス ツヨシ)	コーチ1	63
10	マネージャー	中村由希夫 (ナカムラ ユキオ)		58
0	主将/内野手	安形雄一郎 (アンガタ ユウイチロウ)		47
1	投手	下里 拓也 (シモザト タクヤ)		40
4	外野手	一色 隆之 (イチシキ タカユキ)		41
5	外野手	多田 典弘 (タダ ノリヒロ)		40
12	外野手	中原 佑 (ナカハラ ユウ)		41
14	外野手	本田 圭司 (ホンダ ケイジ)		52
16	外野手	金井 応典 (カナイ タカノリ)		47
18	投手	伊藤 義教 (イトウ ヨシノリ)		48
22	内野手	曾我 潤弥 (ソガ ジュンヤ)		50
24	外野手	斎藤 仁志 (サイトウ ヒトシ)		41
25	外野手	井上 渉 (イノウエ ワタル)		41
27	外野手	新居 隼人 (アライ ハヤト)		45
29	外野手	篠塚 義行 (シノヅカ ヨシユキ)		42
33	投手	安富 功 (ヤストミ イサオ)		43
54	捕手	浅井 俊介 (アサイ シュンスケ)		41
60	捕手	越川 直之 (コシカワ ナオユキ)		53
	捕手	岡田 新二 (オカダ シンジ)		45
備 考				

千葉県

成田/富里オールスター

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長)	城之内利彦 (ジョウノウチ トシヒコ)		61
10	監督	菅谷 邦夫 (スガヤ クニオ)		61
1	マネージャー	永田 健矢 (ナガタ タケヤ)		55
2	主将/捕手	早川 文雄 (ハヤカワ フミオ)		49
3	投手	稲坂 勉 (イナサカ ツトム)		53
4	投手	宮城 敬吾 (ミヤギ ケイゴ)		44
5	内野手	水越 正信 (ミズコシ マサノブ)		49
7	内野手	後藤 裕 (ゴトウ ユタカ)		43
8	内野手	関口 善典 (セキグチ ヨシノリ)		51
9	外野手	根本 秀樹 (ネモト ヒデキ)		50
11	内野手	須永 忠勝 (スナガ タダカツ)		48
15	内野手	矢野 浩之 (ヤノ ヒロユキ)		48
16	外野手	平岡 将幸 (ヒラオカ マサユキ)		46
18	内野手	成尾 明文 (ナルオ アキフミ)		53
19	外野手	賢治 (スギタ ケンジ)		49
22	投手	杉田 勉 (イケダ ツトム)		48
24	内野手	池田 善明 (イケダ ヨシアキ)		48
27	内野手	小川 俊一 (スギタ シュンイチ)		50
29	内野手	菅谷 弘樹 (スガヤ ヒロキ)		41
31	捕手	今上 和哉 (イマジヨウ カズヤ)		43
49	内野手	鈴木 和浩 (スズキ カズヒロ)		52
	外野手	宗城 宗城 (ワタナベ ムネキ)		56
	外野手	山川 歩 (ヤマカワ アユム)		46
備 考				

東京都

ジョルターヘッズ

背番号	位置	氏名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督 マネージャ	小関晋太郎 (コセキ シンタロウ)	コーチ1	52
	スコアラー	柴代昌毅 (シバダイ マサキ)		51
10	主将/内野手	勝田佑紀 (カツタ ユキ)		39
0	外野手	樋口新 (ヒグチ アラタ)		51
1	外野手	長谷部伸 (ハセベ シン)		56
2	内野手	矢野雅人 (ヤノ マサト)		44
3	捕手	二見智章 (フタミ トモアキ)		44
7	内野手	菊谷友貴 (キクヤ トモタカ)		49
8	外野手	高田真一 (タカダ シンイチ)		43
9	外野手	佐藤琢真 (サトウ タクマ)		41
11	投手	佐野裕二 (サノ ユウジ)		49
14	内野手	山重大二郎 (ヤマシゲ ダイジロウ)		46
15	内野手	鈴木圭介 (スズキ ケイスケ)		50
18	投手	杉本充之 (スギモト トシユキ)		50
19	投手	大橋明義 (オオハシ アキヨシ)		53
20	投手	根岸泰雅 (ネギシ タイガ)		50
24	内野手	久保田隆寛 (クボタ タカヒロ)		40
25	外野手	キングアローン (キング アーロン)		45
33	外野手	駒野健太 (コマノ ケンタ)		44
34	内野手	大久保哲 (オオクボ サトル)		53
41	外野手	大元謙 (オオモト ケン)		41
44	捕手	三辻由久 (ミツジ ヨシヒサ)		40
		久保川竜介 (クボカワ リュウスケ)		48
備考				

神奈川県

厚木クラブ

背番号	位置	氏名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督 スコアラー	井ノ口信吾 (イノクチ シンゴ)		58
10	主将/外野手	鈴木勝 (スズキ マサル)		55
1	内野手	伊藤秀 (イトウ シゲル)		50
2	外野手	木村正貴 (キムラ マサタカ)		45
3	内野手	井口倫一 (イグチ トモイチ)		55
5	捕手	福岡勇哉 (フクオカ ユウヤ)		42
6	内野手	広沢昌史 (ヒロサワ マサフミ)		50
7	内野手	橋本淳 (ハシモト ジュン)		56
11	投手	小関慎吾 (コセキ シンゴ)		49
13	外野手	徳田昌義 (トクダ マサヨシ)		54
14	投手	竹内徹朗 (タケウチ テツロウ)		54
15	内野手	伊藤史顕 (イトウ フミアキ)		42
16	外野手	大河内秀一 (オオコウチ ヒデカズ)	コーチ1	50
17	投手	毛利太晶 (モウリ ヒロアキ)	コーチ1	43
18	投手	秋山嘉隆 (アキヤマ ヨシタカ)		56
19	投手	藤武博 (フジタケ ヒロシ)		58
21	投手	田辺雅臣 (タナベ マサオミ)		52
25	外野手	岩窪義昌 (イワクボ ヨシマサ)		47
27	捕手	奈良和茂 (ナラ カズシゲ)		55
41	投手	仲西幸太 (ナカニシ コウタ)		43
44	外野手	鈴木康介 (スズキ コウスケ)		41
		佐藤貴 (サトウ タカシ)		49
備考				

富山県

富山ドリームズ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長)	中村 伸彦 (ナカムラ ノブヒコ)		57
10	監督	伊勢 健央 (イセ タケオ)		51
0	主将/内野手	名畑 孝昭 (ナバタ タカアキ)		46
2	内野手	細川 武志 (ホソカワ タケシ)		53
4	内野手	五十嵐 進 (イガラシ ススム)		56
6	外野手	釣 洋平 (ツリ ヨウヘイ)		42
11	内野手	有澤 正史 (アリサワ マサシ)		45
13	投 手	松木 周作 (マツキ シュウサク)		47
16	内野手	谷口 明史 (タニグチ アキフミ)		56
17	捕 手	吉岡 大輔 (ヨシオカ ダイスケ)		44
18	内野手	石崎太郎 (イシザキ タイチロウ)		50
21	外野手	松澤 祥生 (マツザワ サチオ)		47
24	投 手	須原 和幸 (スハラ カズユキ)		46
26	外野手	土肥 達雄 (ドイ タツオ)		44
28	捕 手	宮原 正嗣 (ミヤハラ タダシ)		45
29	外野手	山本 孝司 (ヤマモト タカシ)	コーチ 1	54
37	内野手	山内 匠二 (ヤマウチ タクジ)	コーチ 1	44
57	内野手	尾崎 剛 (オザキ コウ)		43
	内野手	早川 登 (ハヤカワ ノボル)		44
備 考				

石川県

優和産業ジバング

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長)	北野 優 (キタノ マサル)		64
10	監督	佐々木 淳 (ササキ ジュン)		57
1	スコアラー	林 健二 (ハヤシ ケンジ)		59
2	主将/内野手	山本 英一 (ヤマモト エイチ)		48
6	内野手	門村 博志 (カドムラ ヒロシ)	コーチ 1	50
7	内野手	高橋 修成 (タカハシ シュウセイ)		61
8	捕 手	川場 享 (カワバ ススム)		48
9	内野手	野崎 良裕 (ノザキ ヨシヒロ)		55
12	外野手	土江 崇 (ツチエ タカシ)		44
14	外野手	田村 淳 (タムラ ジュン)	コーチ 1	49
15	外野手	山下 勲 (ヤマシタ イサオ)		51
18	外野手	荒山 浩嗣 (アラヤマ ヒロツグ)		45
24	捕 手	穴沢 朝己 (アナザワ トモキ)		51
25	投 手	百々 大介 (ドド ダイスケ)	コーチ 1	47
26	内野手	大松 宏光 (オオマツ ヒロミツ)		48
34	内野手	根布長 亮 (ネブチヨウ マコト)		51
35	内野手	小泉 悟志 (コイズミ サトシ)		61
37	内野手	釜井 努 (カマイ ツトム)		42
44	内野手	阿部 正博 (アベ マサヒロ)		62
45	投 手	朝田 英明 (アサダ ヒデアキ)		45
89	外野手	西原 佳蔵 (ニシハラ ケイゾウ)	コーチ 1	53
	投 手	山中 浩行 (ヤマナカ ヒロユキ)	コーチ 1	45
	投 手	村田 貴人 (ムラタ タカト)	コーチ 1	52
備 考				

福井県

Sky 4th

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	清水 和人 (シミズ カズト)		46
10	主将/内野手	佐藤 昇平 (サトウ ショウヘイ)		45
0	捕手	増谷 貴裕 (マスカヤ タカヒロ)		46
1	内野手	高嶋 修次 (タカシマ シュウジ)		46
2	外野手	竹野 浩彰 (タケノ ヒロアキ)		46
3	内野手	仲間 尚平 (ナカマ ショウヘイ)		46
4	内野手	玉井 伸幸 (タマイ ノブユキ)		41
6	内野手	碧山 浩一 (ヘキヤマ ヒロカズ)		46
7	外野手	中川 博之 (ナカガワ ヒロユキ)		46
11	投手	鈴木 健一 (スズキ ケンイチ)		46
14	外野手	岡本 悠也 (オカモト ユウヤ)		46
15	投手	桑原 隆英 (クワバラ タカヒデ)		45
18	投手	亀谷 洋平 (カメタニ ヨウヘイ)		46
23	内野手	尾崎 光雄 (オザキ ミツオ)	コーチ 1	41
31	内野手	安達 典光 (アタチ ノリアキ)		45

備考

愛知県

安城ベースボールクラブ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
	責任者 (部長)	杉浦 允一 (スギウラ チカヒサ)		84
30	監督	上村 広道 (ウエムラ ヒロミチ)		60
48	マネージャー	尾林 勝志 (オバヤシ カツシ)		57
	スコアラー	寺迫 紗良 (テラサコ サラ)		31
10	主将/内野手	岩瀬 希久也 (イワセ キクヤ)		50
1	内野手	幸島 克裕 (コウジマ カツヒロ)		51
3	外野手	寺迫 憲吾 (テラサコ ケンゴ)		62
6	外野手	内藤 慎亮 (ナイトウ シンスケ)		51
7	外野手	笠谷 直也 (カサタニ ナオヤ)		52
11	投手	弘本 弘幸 (マツモト ヒロユキ)		52
19	外野手	大島 学 (オオシマ マナブ)		51
20	内野手	小川 健 (オガワ ケン)		56
22	捕手	坂前 安朗 (サカマエ ヤスオ)		43
23	内野手	鈴木 祐貴 (スズキ ユウキ)		42
24	外野手	渡邊 直弥 (ワタナベ ナオヤ)		43
29	捕手	濱田 賢次 (ハマダ ケンジ)		54
34	捕手	浦田 史朗 (ウラタ フミアキ)		53
35	外野手	納口 裕行 (ノウグチ ヒロユキ)		42
38	投手	中野 裕次郎 (ナカノ ユウジロウ)		42
47	投手	伊藤 貴生 (イトウ タカオ)	コーチ 1	51
51	内野手	谷口 克之 (タニグチ カツユキ)		55
52	内野手	次呂 久忍 (ジロク シノブ)		44

備考

岐阜県

大垣球友会

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長) 監督	西脇 康広 (ニシワキ ヤスヒロ)	コーチ 3	61
	マネージャー	富田 忍 (トミダ シノブ)		50
	スコアラー	傍嶋 信明 (ソバジマ ノブアキ)		61
10	主将/外野手	棚橋 博文 (タナハシ ヒロフミ)		56
0	内野手	池内 直樹 (イケノウチ ナオキ)		47
2	外野手	伊藤 秀幸 (イトウ ヒデアユキ)		53
5	内野手	北村 貴志 (キタムラ タカシ)		52
6	内野手	高井 誠 (タカイ マコト)		42
7	内野手	加藤 俊夫 (カトウ トシオ)		54
8	外野手	佐々木大輔 (ササキ ダイスケ)		49
12	外野手	中村 誠 (ナカムラ マコト)		53
16	捕手	平尾 光 (ヒラオ ヒカル)		41
18	投手	井上 英司 (イノウエ エイジ)		42
19	投手	梶原 教彦 (カジワラ ノリヒコ)		43
20	内野手	中川 貴雅 (ナカガワ タカマサ)		58
21	投手	渋谷 展弘 (シバヤ ノブヒロ)		45
22	捕手	田中 謙次 (タナカ ケンジ)		48
23	内野手	野原 一樹 (ノハラ カズキ)		54
25	内野手	都竹 真童 (ツズク シンドウ)		40
26	外野手	北瀬 直貴 (キタセ ナオキ)		41
27	投手	小栗 忠之 (オグリ タダユキ)		47
28	捕手	塘本理一郎 (トモモト リイチロウ)		53
31	外野手	花房 邦暁 (ハナブサ クニアキ)		42
		日比野正樹 (ヒビノ マサキ)		45

備考

滋賀県

草津ドラゴン

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長) 監督	芝原 義人 (シバハラ ヨシト)	コーチ 1	46
10	マネージャー	井上 博志 (イノウエ ヒロシ)		56
1	主将/内野手	中島 千尋 (ナカジマ チヒロ)		34
2	内野手	村井 長治 (ムライ オサム)		49
3	内野手	谷口康仁郎 (タニグチ コウジロウ)		48
4	内野手	村岸 俊幸 (ムラギシ トシユキ)		49
6	内野手	元木 貴也 (モトキ タカヤ)		46
7	内野手	篠原 裕幸 (シノハラ ヒロユキ)		46
8	内野手	佐藤 真人 (サトウ マサト)		47
9	捕手	竹本 健剛 (タケモト ケンゴ)		42
13	外野手	中川 正幸 (ナカガワ マサユキ)		50
14	外野手	青木 隆幸 (アオキ タカユキ)		47
15	外野手	神山 友宏 (コウヤマ トモヒロ)		51
17	投手	奥村 孝之 (オクムラ タカユキ)		48
18	投手	増本 高也 (マズモト タカヤ)		49
19	投手	大道 謙市 (ダイドウ ケンイチ)		46
24	内野手	田淵 正彦 (タブチ マサヒコ)		53
28	投手	西澤 克昌 (ニシザワ カツマサ)		49
37	外野手	内海 貴文 (ウツミ タカフミ)		52
99	内野手	芝原 義人 (シバハラ ヨシト)		46
		湯浅 弘之 (ユアサ ヒロユキ)		42
		山本 洋平 (ヤマモト ヨウヘイ)	47	

備考

京都府

福知山スターズ

兵庫県

オール神戸クラブ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	芦田 克弘 (アシダ カツヒロ)	コーチ 1	54
10	スコアラワー 主将/外野手	中島 秋代 (ナカジマ アキヨ)		50
2	内野手	西田 健一 (ニシダ ケンイチ)		51
5	外野手/捕手	岡本 寛明 (オカモト ヒロアキ)		57
7	外野手	小寺 宏明 (コテラ ヒロアキ)		40
9	捕手	古賀 隆宏 (コガ タカヒロ)		42
13	投手/内野手	相根 陽介 (サガネ ヨウスケ)		41
16	投手	芦田 敦嗣 (アシダ アツシ)	コーチ 1	41
17	外野手	原田 和城 (ハラダ カズキ)		41
18	外野手	森田 将人 (モリタ マサト)		46
19	投手	吉田 武司 (ヨシダ タケシ)		41
20	外野手	足立 弥 (アダチ ヲタル)		44
22	内野手	淵本 聡史 (フチモト サトシ)		41
24	投手/内野手	竹下 太 (タケシタ フトシ)		49
27	内野手	芦田 光太 (アシダ コウタ)		41
34	投手	堀 裕之 (ホリ ヒロユキ)		42
42	投手/内野手	吉武 俊一 (ヨシタケ シュンイチ)		40
44	内野手	衣川 幸児 (キヌガワ コウジ)		50
99	投手	田中 誠吾 (タナカ セイゴ)		52
		細見 和矢 (ホソミ カズヤ)		47

備考

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者 (部長)	長谷 英彦 (ナガタニ ヒデヒコ)	コーチ 1	67
10	監督	長谷 英彦 (ナガタニ ヒデヒコ)		67
0	主将/内野手	七條 智雄 (シチジョウ トモオ)		50
2	内野手	三浦 啓治 (ミウラ ケイジ)		58
3	捕手	田口 和史 (タグチ カズフミ)		54
5	内野手	川口 晃平 (カワグチ コウヘイ)		42
6	内野手	原 祐次 (ハラ ユウジ)		51
7	内野手	西井 淳浩 (ニシイ アツヒロ)		41
8	外野手	阪本 桂一 (サカモト ケイイチ)		52
12	投手	上田 誠司 (ウエダ セイジ)		52
16	外野手	清原 弘樹 (キヨハラ ヒロキ)		49
20	投手	室橋 孝則 (ムロハシ タカノリ)		50
21	捕手	磯田 一郎 (イソダ イチロウ)		46
23	投手	江川 直樹 (エガワ ナオキ)		43
24	外野手	高橋 隆二 (タカハシ リュウジ)		48
25	内野手	浅原慎太郎 (アサハラシンタロウ)		50
27	外野手	土居 知司 (ドイ サトシ)		49
42	捕手	尾本 茂輝 (オモト シゲキ)		41
99	内野手	松永 茂雄 (マツナガ シゲオ)		43
	捕手	竹内 将 (タケウチ ススム)		40

備考

島根県

出雲シニアクラブ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長)	佐藤 太聰 (サトウ タカトシ)		82
25	監督	糸原 誠二 (イトハラ セイジ)		52
22	マネージャー	高橋 秀徳 (タカハシ ヒデノリ)		58
10	スコアラー	山内 利朗 (ヤマウチ トシロウ)		48
1	主将/内野手	北野 謙治 (キタノ ケンジ)		49
2	投手	林 大樹 (ハヤシ ヒロキ)		48
3	内野手	坂本 佳之 (サカモト ヨシユキ)		45
5	内野手	黒田 耕司 (クロダ コウジ)		48
7	内野手	泉 美浩 (イズミ ヨシヒロ)		49
8	内野手	矢野 和彦 (ヤノ カズヒコ)		59
9	内野手	奥井 雅彦 (オクイ マサヒコ)		59
11	外野手	本田 喜之 (ホンダ ヨシノブ)		42
13	外野手	葛原 順平 (クズハラ ジュンペイ)		49
16	外野手	吾郷 保雄 (アゴウ ヤスオ)		56
18	投手	湯村 基継 (ユムラ モツツグ)		45
24	投手	高橋 淳 (タカハシ ジュン)		49
27	外野手	石原 賢一 (イシハラ ケンイチ)		42
51	捕手	足立 智也 (アダチ トモナリ)		56
55	外野手	馬庭 雅哉 (マニワ マサヤ)		45
88	捕手	田中 勇気 (タナカ ユウキ)		43
		佐藤 太聰 (サトウ タカトシ)	コーチ 1	82

備考

岡山県

JOC

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長)	岡崎 研二 (オカサキ ケンジ)		61
10	監督	古河 祥一 (コガワ ショウイチ)		55
1	スコアラー	岡崎 研二 (オカサキ ケンジ)		61
2	主将/内野手	荒木 航 (アラキ ワタル)		48
3	内野手	金平 将史 (カネヒラ マサフミ)		40
5	内野手	河月 豊志 (カウツキ トヨシ)		47
7	内野手	山下 直輝 (ヤマシタ ナオキ)		50
8	内野手	山田 修 (ヤマダ オサム)		48
9	内野手	金谷 規生 (カナダニ ノリオ)	コーチ 1	43
11	外野手	井上 明彦 (イノウエ アキヒコ)		45
17	外野手	小野 仁徳 (オノ ヨシノリ)		40
20	投手	今田 健介 (イマダ ケンスケ)		45
22	投手	難波 孝典 (ナンバ タカノリ)		52
27	投手	川崎 健作 (カワサキ ケンサク)		49
28	捕手	島津 崇 (シマツ タカシ)		50
33	捕手	高井 英輔 (タカイ エイスケ)		47
55	外野手	永富 雅宏 (ナガトミ マサヒロ)		46
94	内野手	植山 和夫 (ウエヤマ カズオ)		56
	内野手	上松 拓郎 (ウエマツ タクロウ)		45
	捕手	久志 圭輔 (クシ ケイスケ)		55

備考

広島県

三菱重工広島

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	山下 健二 (ヤマシタ ケンジ)		58
10	スコアラー	橋本美智子 (ハシモト ミチコ)		48
1	主将/内野手	坂根 寿敏 (サカネ ヒサトシ)		48
3	外野手	井上 健司 (イノウエ ケンジ)		58
4	内野手	青野 望 (アオノ ノゾム)		60
4	外野手	片山 靖章 (カタヤマ ヤスアキ)		43
5	内野手	渡辺 義実 (ワタナベ ヨシミ)		62
7	内野手	三浦 智也 (ミウラ トモヤ)		50
8	捕手	岡本 好史 (オカモト ヨシフミ)		58
9	外野手	出田 裕 (イデタ ヒロシ)		49
11	投手	斉藤 直樹 (サイトウ ナオキ)		49
14	投手	若槻 憲司 (ワカツキ ケンジ)		52
15	内野手	井寺 強 (イデラ ツヨシ)		49
16	投手	佐藤 和裕 (サトウ カズヒロ)		54
17	内野手	戸田 将志 (トダ マサシ)	コーチ 1	47
19	内野手	堀岡 信次 (ホリオカ シンジ)		56
25	外野手	坂田 剛 (サカタ ツヨシ)		55
27	捕手	中本 博幸 (ナカモト ヒロユキ)		56
31	内野手	青井 陽介 (アオイ ヨウスケ)		45
33	外野手	石内 隆準 (イシノウチ タカノリ)		47
35	内野手	川田 大介 (カワタ ダイスケ)		49
95	外野手	橋本 昌英 (ハシモト マサヒデ)		52

備考

香川県

オール香川

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	岡田 健 (オカダ タケシ)		55
	マネージャー	乃村雄一郎 (ノムラ ユウイチロウ)		40
	スコアラー	白井 康三 (シライ コウゾウ)		44
10	主将/内野手	近藤 将司 (コンドウ ショウジ)		49
0	内野手	中塚 直人 (ナカツカ ナオト)		47
1	外野手	熊野 正樹 (クマノ マサキ)		48
3	外野手	近藤 章弘 (コンドウ アキヒロ)		40
4	外野手	佐々木宏樹 (ササキ ヒロキ)		50
6	外野手	留村 繁和 (トメムラ シゲカズ)		48
7	内野手	三原 正臣 (ミハラ マサオミ)		46
12	投手	堺 三知雄 (サカイ ミチオ)	コーチ 3	51
14	投手	石川 亮 (イシカワ リョウ)		40
16	捕手	熊野 直樹 (クマノ ナオキ)		45
18	投手	高田 英治 (タカタ エイジ)		50
20	外野手	中居 宏彰 (ナカイ ヒロアキ)		44
21	投手	内山 裕詞 (ウチヤマ ヒロシ)		50
22	投手	小比賀能久 (オビカ ヨシヒサ)		44
24	内野手	寺田 貴之 (テラダ タカユキ)		44
25	外野手	十河 良則 (ソゴウ ヨシノリ)		44
27	投手	田ノ上將志 (タノウエ マサユキ)		42
33	捕手	前田 宏 (マエダ ヒロシ)		47
44	内野手	仲野 耕平 (ナカノ コウヘイ)		46
77	内野手	吉田 岳央 (ヨシダ タケオ)		41

備考

高知県

ビジョントレーニングこうち

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	東谷 勝司 (ヒガシダニ カツシ)		55
10	主将/内野手	近森 靖司 (チカモリ セイジ)	コーチ 1	55
1	内野手	田中 路也 (タナカ ミチヤ)		47
5	内野手	柳村 晃司 (ヤナギムラ コウジ)		55
7	外野手	大城 省吾 (オオシロ ショウゴ)		42
8	捕手	氏原 大輔 (ウジハラ ダイスケ)		47
9	外野手	相原 一紀 (アイハラ カズキ)		42
11	投手	川添 直 (カワゾエ ナオ)		40
15	外野手	西岡 瞬 (ニシオカ シュン)		41
17	内野手	武内 義光 (タケウチ ヨシミツ)		41
18	内野手	國信 貴裕 (クニノブ タカヒロ)		42
19	投手	古谷 幹士 (フルヤ ミキオ)		51
21	投手	田中 宏和 (タナカ ヒロカズ)		49
22	内野手	山下 徹 (ヤマシタ トオル)		46
23	内野手	矢野 倫教 (ヤノ トモノリ)	コーチ 1	48
24	外野手	加形 暢浩 (カガタ ノブヒロ)		46
25	内野手	川久保将史 (カワクボ マサフミ)	コーチ 1	50
26	外野手	中山 博敬 (ナカヤマ ヒロタカ)		45
27	内野手	竹下 仁 (タケシタ ジン)	コーチ 1	52
46	投手	濱田 隆志 (ハマダ タカシ)		52
55	外野手	小野 智弘 (オノ トモヒロ)		46
備 考				

佐賀県

佐賀クラブ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
	責任者 (部長)	古川 展裕 (フルカワ ノブヒロ)		52
30	監督	古川 展裕 (フルカワ ノブヒロ)		52
10	主将/内野手	内田 昌宏 (ウチダ マサヒロ)	コーチ 1	41
1	内野手	川原 隆宏 (カワハラ タカヒロ)		45
2	外野手	小柳 大悟 (コヤナギ ダイゴ)		46
4	外野手	久保 隆佳 (クボ タカヨシ)		42
5	内野手	松村 貴博 (マツムラ タカヒロ)		49
16	内野手	庄司 一信 (シヨウジ カズノブ)		51
17	投手	武下 辰徳 (タケシタ タツノリ)		42
18	投手	川頭 直也 (カワズ ナオヤ)		42
22	外野手	島崎 純一 (シマザキ ジュンイチ)		51
23	捕手	園田 大樹 (ソノダ ダイキ)		46
25	投手	竹下 雅人 (タケシタ マサト)		47
31	内野手	北島 誠介 (キタジマ セイスケ)		55
37	捕手	岩崎 賢 (イワサキ ケン)		53
38	外野手	吉原 健二 (ヨシハラ ケンジ)		42
備 考				

大分県

由布クラブ

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長)	大塚 守 (オオツカ マモル)		56
10	監督	前谷 義幸 (マエタニ ヨシユキ)		62
1	主将/投手	内田 達也 (ウチダ タツヤ)		52
2	外野手	渡辺 哲也 (ワタナベ テツヤ)		47
3	投手	武内 謙吾 (タケウチ ケンゴ)		50
4	内野手	河野 悠也 (カワノ ユウヤ)		42
5	内野手	村上 敬之 (ムラカミ ヨシユキ)		48
6	内野手	高橋 正臣 (タカハシ マサオミ)		43
7	外野手	藤丸 力 (フジマル チカラ)		52
8	外野手	山崎 格史 (ヤマザキ カクジ)		44
9	外野手	長野 貴道 (ナガノ タカミチ)		40
11	内野手	藤田 陽介 (フジタ ヨウスケ)		42
12	外野手	阿南 真二 (アナン シンジ)		45
13	内野手	大塚 守 (オオツカ マモル)		56
14	外野手	佐藤 啓樹 (サトウ ケイジュ)		43
15	投手	狩生 慎一 (カリエウ シンイチ)		42
16	内野手	古田 純士 (フルタ ジュンシ)		43
17	投手	土居 政治 (ドイ マサハル)		52
18	外野手	廣田 利幸 (ヒロタ トシユキ)		48
	投手	藤川 学泰 (フジカワ タカヒロ)	コーチ 1	42

備考

熊本県

NISSEKI ALLStars

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長)	菊川 真也 (キクカワ シンヤ)		65
10	監督	菊川 真也 (キクカワ シンヤ)		65
1	主将/外野手	網田 郷志 (オウダ サトシ)		45
2	内野手	前田 大介 (マエダ ダイスケ)		42
4	外野手	田中 優輝 (タナカ ユウキ)		41
6	外野手	上坂 博文 (ウエサカ ヒロフミ)		41
8	内野手	下田 広祐 (シモダ コウユウ)		45
14	内野手	田中 秀樹 (タナカ ヒデキ)		45
15	投手	黒田 彰紀 (クロダ アキノリ)		48
17	外野手	黒木 陽平 (クロキ ヨウヘイ)		44
18	投手	須本大二郎 (スモト ダイジロウ)	コーチ 1	44
20	投手	藤原 隼人 (フジワラ ハヤト)		40
21	内野手	井上 政美 (イノウエ マサミ)		51
22	内野手	足立 雅彦 (アダチ マサヒコ)		40
23	外野手	石本 健太 (イシモト ケンタ)		43
24	外野手	内山 博徳 (ウチヤマ ヒロノリ)		46
25	内野手	工藤 誠 (クドウ マコト)		40
26	外野手	吉野 雅人 (ヨシノ マサト)		41
27	内野手	稲葉修一郎 (イナバ シュウイチロウ)		44
29	投手	平岡 祐介 (ヒラオカ ユウスケ)		42
	内野手	合澤 啓二 (アイザワ ケイジ)		51

備考

宮崎県

THANKS シニア

背番号	位置	氏名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	榎間 新吾 (クシマ シンゴ)		50
10	主将/外野手	坂本 健 (サカモト タケシ)	コーチ 1	50
1	捕手	深見 豊成 (フカミ ホウセイ)		49
2	内野手	脇 雄大 (ワキ ユウダイ)		43
3	内野手	下浦雄一郎 (シモウラ ユウイチロウ)		48
5	内野手	奥西 雅也 (オクニシ マサヤ)		49
7	内野手	高田 明伸 (タカダ アキノブ)		45
12	外野手	平元 哲郎 (ヒラモト テツロウ)		57
14	投手	与儀 孝之 (ヨギ タカユキ)		42
15	内野手	広前 茂宣 (ヒロマエ シゲノブ)		50
17	内野手	半田 正美 (ハンダ マサミ)		51
19	投手	上竹 孝幸 (カミタケ タカユキ)		41
20	投手	渡慶次 健 (トケシ タケル)		42
24	外野手	棚橋 完造 (タナハシ カンゾウ)		49
27	捕手	坂下 天章 (サカシタ ヒロアキ)		49
31	内野手	西田 朋生 (ニシダ トモオ)		49
33	捕手	矢部 智誠 (ヤベ チセイ)		50
39	捕手	藪内雄一朗 (ヤブウチ ユウイチロウ)		41

備考

沖縄県

株式会社 めいわ総建

背番号	位置	氏名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督	上江洲太一 (ウエズ タイチ)	コーチ 1	44
10	主将/投手	宮城 泰之 (ミヤギ ヤスユキ)		44
0	外野手	與儀 順也 (ヨギ ジュンヤ)		44
2	内野手	玉那覇 翼 (タマナハ タスク)		44
3	内野手	濱元 秀太 (ハマモト シュウタ)		45
4	内野手	伊敷 元貴 (イシキ モトタカ)		44
6	内野手	根路銘宗政 (ネロメ ムネマサ)		42
11	外野手	山川 和明 (ヤマカワ カズアキ)		44
16	外野手	新城 義人 (シンジョウ ヨシト)		44
18	内野手	赤嶺 裕之 (アカミネ ヒロユキ)		45
19	投手	新城潤一郎 (シンジョウ ジュンイチロウ)		44
22	投手	當真 嗣健 (トウマ ツグタケ)		43
23	内野手	仲大盛吉樹 (ナカオオモリ ヨシキ)		41
31	捕手	伊佐 直也 (イサ ナオヤ)		41
42	内野手	野原 良平 (ノハラ リョウヘイ)		43

備考

愛媛県

秋山工業壮年

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長) 監督	秋山 周三 (アキヤマ シュウゾウ)		65
	マネージャー	渡辺 英敏 (ワタナベ ヒデトシ)	コーチ1	54
	スコアラー	秋山 翔子 (アキヤマ ショウコ)		40
10	主将/内野手	柴田 正浩 (シバタ マサヒロ)		64
1	内野手	亀窟 博敏 (カメイワ ヒロトシ)		46
7	捕手	冠 博司 (カシノムリ ヒロシ)		58
8	外野手	高橋 宏幸 (タカハシ ヒロユキ)		41
9	外野手	神野 和也 (ジンノ カズヤ)		44
11	投手	近藤 敬 (コンドウ ケイ)		52
14	投手	高橋 昭則 (タカハシ アキノリ)		47
18	内野手	杉谷 政昭 (スギタニ マサアキ)		58
20	外野手	黒木 信貴 (クロキ ノブタカ)		50
24	外野手	浅野 浩基 (アサノ コウキ)		48
25	内野手	河崎慎太郎 (カワサキ シンタロウ)		43
27	外野手	関 治希 (セキ ハルキ)		45
28	外野手	山下 康成 (ヤマシタ ヤスナリ)		45
33	外野手	藤岡 俊孝 (フジオカ トシタカ)		44
35	外野手	玉乃井 譲 (タマノイ ユズル)		50
36	捕手	渡部 元文 (ワタナベ モトフミ)		58
46	投手	宮崎 貴志 (ミヤザキ タカシ)		54
47	外野手	合田 平 (ゴウダ タイラ)		52
48	外野手	川口 仁 (カワグチ ヒトシ)		57
	外野手	伊藤 和弘 (イトウ カズヒロ)		52
備 考				

愛媛県

STONE RIVER

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長) 監督	安藤 賢 (アンドウ サトシ)		48
10	主将/捕手	石川 誠一 (イシカワ セイイチ)		54
1	内野手	安藤 賢 (アンドウ サトシ)		48
2	投手	篠原 正貴 (シノハラ マサキ)		44
3	内野手	宮内 秀樹 (ミヤウチ ヒデキ)		43
4	内野手	佐々木 将人 (ササキ マサト)		48
5	内野手	胡 紘介 (エビス コウスケ)		43
6	内野手	河上 賢二 (カワカミ ケンジ)		45
8	外野手	鈴木 直人 (スズキ ナオト)		40
11	外野手	矢野 勝美 (ヤノ カツミ)		49
13	投手	大西 匠 (オオニシ タクミ)		48
15	外野手	柴垣 健太 (シバガキ ケンタ)		44
23	投手	毛利 康二 (モウリ コウジ)		47
27	内野手	篠原 圭司 (シノハラ ケイジ)		44
39	外野手	秋山 力史 (アキヤマ リキシ)	コーチ1	48
77	内野手	吉岡 志朗 (ヨシオカ シロウ)		43
	内野手	篠原 友貴 (シノハラ ユウキ)		40
備 考				

愛媛県

今治 TriAngle house

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	責任者(部長) 監督	阿部 竜二 (アベ リュウジ)	コーチ 1	51
	マネージャー	窪井 秀一郎 (クボイ シュウイチロウ)		51
	スコアラー	小栗 和枝 (オグリ カズエ)		48
10	主将/捕手	丸山 直樹 (マルヤマ ナオキ)		51
0	外野手	篠宮 隆寛 (シノミヤ タカヒロ)		51
1	外野手	小栗 治純 (オグリ ハルスミ)		50
3	外野手	志尾 宜彦 (シオ ノブヒコ)		50
5	外野手	菅 洋仁 (カン ヒロヒト)		48
6	内野手	越智 順二 (オチ ジュンジ)		42
7	内野手	津吉 俊亮 (ツヨシ シュンスケ)		47
9	投手	宇野 直幸 (ウノ ナオユキ)		51
11	投手	村上 雄也 (ムラカミ ユウヤ)		44
15	投手	河上 賀至 (カワカミ ヨシユキ)		49
16	内野手	越智 保人 (オチ ヤスト)		51
17	投手	里野 裕幸 (サトノ ヒロユキ)		51
19	投手	堀元 達也 (ホリモト タツヤ)		41
21	内野手	田中 直人 (タナカ ナオト)		49
22	捕手	篠宮 辰磨 (シノミヤ タツマ)		45
23	外野手	越智 昭英 (オチ アキヒデ)		44
24	外野手	中路 将位 (ナカジ マサタカ)		42
25	内野手	渡辺 弘一 (ワタナベ コウイチ)		49
27	内野手	白石 智義 (シライシ トモヨシ)		46
46	内野手	首藤 信正 (スドウ ノブマサ)		51
		越智 大樹 (オチ ダイキ)		44
備 考				

韓国

背番号	位 置	氏 名	日本スポーツ協会 公認指導者資格名	年齢
30	監督/捕手	劉珍佑 (ユ・ジス)		52
98	責任者	李基鍾 (イ・ギジョン)		65
99	コーチ	金載根 (キム・ジェグン)		41
97	コーチ	崔永敏 (チェ・ヨンミン)		51
96	コーチ	申東贊 (シン・ドンチャン)		36
⑩	マネージャー	朴真景 (パク・ジンギョン)		33
18	主将/投手	姜喆珉 (カン・チョルミン)		45
52	外野手	申尙勳 (シン・サンファン)		44
15	内野手	羅河準 (ナ・ハジュン)		46
72	内野手	安相俊 (アン・サンジュン)		52
16	内野手	李相鉉 (イ・サンヒョン)		52
7	外野手	鄭乃榮 (チヨン・ネヨン)		40
51	外野手	崔濟鏞 (チェ・ジェヨン)		51
2	外野手	黃德贊 (ファン・ドクチャン)		42
20	外野手	吳裁演 (オ・ジェヨン)		44
35	外野手	金昌集 (キム・チャンジブ)		52
55	外野手	尹昌夤 (ユン・チャンソク)		52
	視察員	李賢兒 (イ・ヒョナ)		45
		鄭莊暉 (チヨン・チャンヨブ)		28
備 考				

軟式野球競技の沿革

明治5年アメリカから伝わった野球は明治、大正を経てようやく盛んになり、大正4年開催された朝日新聞社の第1回全国中等学校優勝野球大会と、その後になって開催された毎日新聞社の春の全国選抜中等学校野球大会などが、全国の青少年に関心と刺激を与え少年の間で非常な勢いで盛んになった。この頃、硬式野球を行うまでに至らない少年たちはテニスボールなどによって野球を楽しんだが、軽くてスピード感が伴わないなどの欠陥があり、その後できたスポンジボールも打撃にたえず破損度が高いため次第にうすれてしまった。大正8年糸井浅次郎、鈴木栄両氏は少年に適し硬式のように危険がなく、しかも少年たちに野球の指導が容易にできるボールにしたい着想から研究努力した結果、現在使用されているボールが誕生し、少年野球の普及とともに一般大衆スポーツとしても急速に発展してきたのである。

昭和16年第2次世界大戦の勃発により一時中絶状態となったが、終戦を迎えた昭和20年に軟式野球愛好者たちが全国各地で軟式野球の復興に立ち上がり、昭和21年全日本軟式野球連盟を創立。同時に財団法人日本体育協会（現公益財団法人日本スポーツ協会）に加盟し、占領下の混とんたる世情と物資欠乏のさ中、第1回全日本軟式野球大会（のちの天皇賜杯全日本軟式野球大会）が16チームの参加によって京都において開催された。この大会は敗戦の痛手から立ち上がろうとする国民1人1人の心に潤いを与え建設的意欲をもりたてたものというべく有意義な大会であった。なお、本大会は第1回国民体育大会軟式野球競技会と兼ねて開催された。翌年より国体とは別個開催し、全日本軟式野球大会は各都道府県代表各1チームの参加で行われるようになり、昭和23年に天皇杯が下賜され、これを契機として軟式野球は発展の一途をたどり、昭和28年には文部省（現文部科学省）に財団法人認可を受け、確固たる組織のもと現在の全日本軟式野球連盟傘下チーム数は社会人チーム約18,000、少年チーム約6,500、学童チーム約9,000、大学協会、専門学校、還暦連盟、中体連の約100万人の競技人口である。

また、ボールにも改良が加えられ中空でない軟式ボールが誕生し、これを「準硬式」と呼び昭和25年から東西両日本において、それぞれ大会が開催された。昭和32年からすべての軟式野球人に全国大会に出場できる希望をあたえることによって、軟式野球の底辺拡大に大きな成果をもたらすことができるという目的で、B・C級を対象とした全国大会である高松宮賜杯全日本軟式野球大会（B級を一部、C級を二部と呼称）が開催された。天皇賜杯全日本軟式野球大会と本大会は現在も毎年一回全国各地で開催されている。昭和25年より東西両日本において開催されていた準硬式野球大会は全国的大会開催の要望によって昭和39年第15回大会をもって発展的解消し、昭和40年より常陸宮賜杯全日本準硬式野球大会として実施された。昭和45年には少年野球が組織化され、少年一部（高校生年齢層のクラブチーム）、少年二部（中学生年齢層のクラブチーム）、少年学童部（小学生年齢層のクラブチーム）の3部門にわかれ、全国各地でそれぞれ少年野球大会が開催されている他昭和50年からは少年二部による全日本少年軟式野球大会が開催された。昭和52年、使用球場が硬式野球と同じ扱いのためチームの練習会場、予選大会会場の確保などに困難をきたし、常陸宮賜杯全日本準硬式野球大会は第13回大会をもって中止した。昭和54年よりB・C級を対象とした東・西日本軟式野球大会（B級を一部、C級を二部と呼称）を開催。昭和56年、昭和50年から開催していた少年二部による全日本少年軟式野球大会に変わり学童部による全日本学童軟式野球大会が実施され、これにより学童の野球が非常に盛んになった。昭和59年度より少年二部の大会が復活し、新たに第1回全日本少年軟式野球大会として開催されることとなった。昭和63年、国民体育大会の軟式野球競技は一般社会人（成年の部）と少年一部（少年の部）が行われていたが、同年第43回京都国体より少年の部が廃止され、新たに成年一部、成年二部となった。また、学童大会は各都道府県代表のフルエントリーとし、高松宮賜杯全日本軟式野球大会を一部、二部

分離して開催することとなった。平成元年、JOCに加盟。また、同年第44回北海道国体から成年一部、成年二部に加え壮年の部が創設され、別に規程された順位決定方法による合計点で天皇杯順位が決定されることとなった。平成6年より少年二部を少年と改称。平成7年、創立50周年を機に高円宮憲仁親王殿下を名誉総裁にお迎えし、平成9年第17回全日本学童軟式野球大会より高円宮賜杯が下賜された。Aクラスの大会として平成9年より西日本選手権、平成10年より東日本選手権大会が新設された。平成11年度第54回熊本国体より種別の呼称を一般A（従来の一部）、一般B（従来の一部）、成年（従来の一部）と変更した。平成14年11月21日高円宮殿下のご逝去により、平成15年1月21日第二代の名誉総裁として憲仁親王妃久子殿下にご就任いただいた。平成17年より成年層の全国大会として日本スポーツマスターズに参加した。平成20年、国体改革2003により同年大分国体から成年男子の一種別開催となった。また、同年の第25回大会より全日本少年野球大会に文部科学大臣杯が授与された。平成21年、平成2年第10回大会より茨城県水戸市で開催してきた高円宮賜杯全日本学童大会の開催地を第29回大会より東京都へ移した。平成22年より青少年育成及びジュニア強化を目的に少年部の新規大会として文部科学大臣杯全日本少年春季軟式野球大会を静岡県にて開催することとなった。

また、国の法人制度改革に伴い、移行認定を受けて平成24年1月4日、公益財団法人全日本軟式野球連盟として登記、新たなスタートを切った。平成25年4月、アマチュア野球の統括団体である一般財団法人全日本野球協会の設立に伴い加盟登録し、野球界のすそ野を支える団体として他団体との連携協力を図り事業運営を行うこととなった。

平成25年より女子野球の普及を目的に女子小学生を対象としたNPB ガールズトーナメントを一般社団法人日本野球機構との共催により開催することとなった。侍ジャパン女子日本代表チームの国際大会での活躍により女子学童球児の目標設定が具体化され、ますます女子野球の普及推進が求められている。平成28年より、女子中学生を対象とした全日本中学女子軟式野球大会を京都府にて開催することとなり、小学生から一般まで女子選手にとって各ステージにおける全国大会の場が整備された。

また、平成28年12月、2年に1度開催されるアジア野球連盟主催の第9回U-12アジア野球選手権において、全国の小学生登録選手で編成したU-12侍ジャパン日本代表が初優勝を達成した。

平成29年より、当該年度の東西選手権大会優勝チームおよび天皇賜杯大会の優秀チームを対象に軟式野球の普及振興、競技力向上を目的としたスポニチ杯全日本軟式野球大会を開催することとなった。

平成30年より、50歳以上のシニア層を対象とした全日本シニア軟式野球大会を岡山県で開催することとなった。

令和6年12月に、日本で開催される2度目のアジア野球選手権が愛媛県の松山市と今治市で開催された。第11回目となる本大会では日本代表チームは第3位となった。

軟式野球競技過去大会成績

大会年	優勝		準優勝		第3位	
	チーム名	都道府県	チーム名	都道府県	チーム名	都道府県
2013 北九州大会	安城ベースボールクラブ	愛知県	六花亭こんこ	北海道北	秋吉整形外科クラブ 横浜チャレンジヤー	福岡県 神奈川県
2014 埼玉大会	チーム静岡	静岡県	秋吉整形外科クラブ	福岡県	Sapporo'72 ジャンプスポーツクラブ	北海道南 群馬県
2015 石川大会	高岡DREAMS	富山県	大宮クラブ	埼玉県	ジャンプスポーツクラブ 茂助SP	群馬県 新潟県
2016 秋田大会	安城ベースボールクラブ	愛知県	竹田病院 シニアクラブ	福島県	津久見クラブ 秋吉整形外科クラブ	大分県 福岡県
2017 兵庫大会	横須賀クラブ	神奈川県	姫路アールテック野球クラブ	兵庫県	地鶏庵 盟球フェニックス	高知県 兵庫県
2018 札幌大会			中止のため記録なし			
2019 ぎふ清流大会	フォーティファイバーズ	群馬県	視カトレーニング教室・高知センター	高知県	K.B.KIDS アルプスアルバインBC	北海道 新潟県
2020 愛媛大会			中止のため記録なし			
2021 岡山大会			中止のため記録なし			
2022 岩手大会	安城ベースボールクラブ	愛知県	さいたまクラブ	埼玉県	ジヨルターヘッズ 縁	東京都 岡山県
2023 福井大会	OITA SUNNY	大分県	JOC	岡山県	アングル野球倶楽部 ビ・アスリート O40S	福井県 大阪府
2024 長崎大会	さいたまクラブ	埼玉県	ビ・アスリート O40S	大阪府	出雲シニアクラブ オール香川	島根県 香川県

医療救護について

1. 会場でケガや発病をしたとき

会場に設けられた救護所で手当を受けてください。

(1)救護所及び手当について

- ①救護所には、原則として医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが待機し、臨時の応急手当（救急処置）を行います。
- ②医師、看護師、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーが医療機関に搬送する必要を認められた時は、救急自動車等で医療機関に搬送します。
- ③救護所からの搬送等により医療機関で治療を受ける場合は、必ず健康保険証（又はマイナ保険証）を提示してください。また、薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）も必ず携行してください。
※治療費用は受診者負担となります。

(2)その他

- ①救護所の場所は、会場内において看板等により示しています。
- ②会場内には、AEDを設置しています。

2. 宿舎でケガや発病をしたとき

- ①宿泊先に相談の上、医療機関に問合せをしてから受診してください。
- ②医療機関で治療を受ける場合は、必ず健康保険証（又はマイナ保険証）を提示してください。
また、薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの（お薬手帳等）も必ず携行してください。
※治療費は受診者負担となります。
※重症の場合や生命にかかわるような症状の場合は、救急車（119番）を要請してください。

○医療機関等案内

愛媛県医療機関の情報は、「医療情報ネット（ナビイ）」をご覧ください。
※右記の二次元コードからもアクセス可能です。



3. 傷害保険の加入について

本大会では、日本スポーツ協会にて、選手・監督等の方を対象とした傷害保険に加入しています。

(1)補償対象と手続きの流れ

大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、会場の救護所で臨時の応急手当（救急処置）を受け、救護所に配置された「救護台帳」に必要な事項の記入がなされた方が、原則として補償の対象になります。

補償の対象者として該当し得る方には、大会終了後1ヶ月後を目途に日本スポーツ協会から具体的な手続きに必要な書類を送付します。

※大会期間中に救護所へ行かず、「救護台帳」への記入がなされなかった場合は、補償の対象とすることができない場合があります。

※「救護台帳」により取得した個人情報、本大会期間中の傷害事故における保険請求業務に使用する他、引受保険会社へ提供することがあります。

(2)補償内容

補償内容は参加区分により異なります。

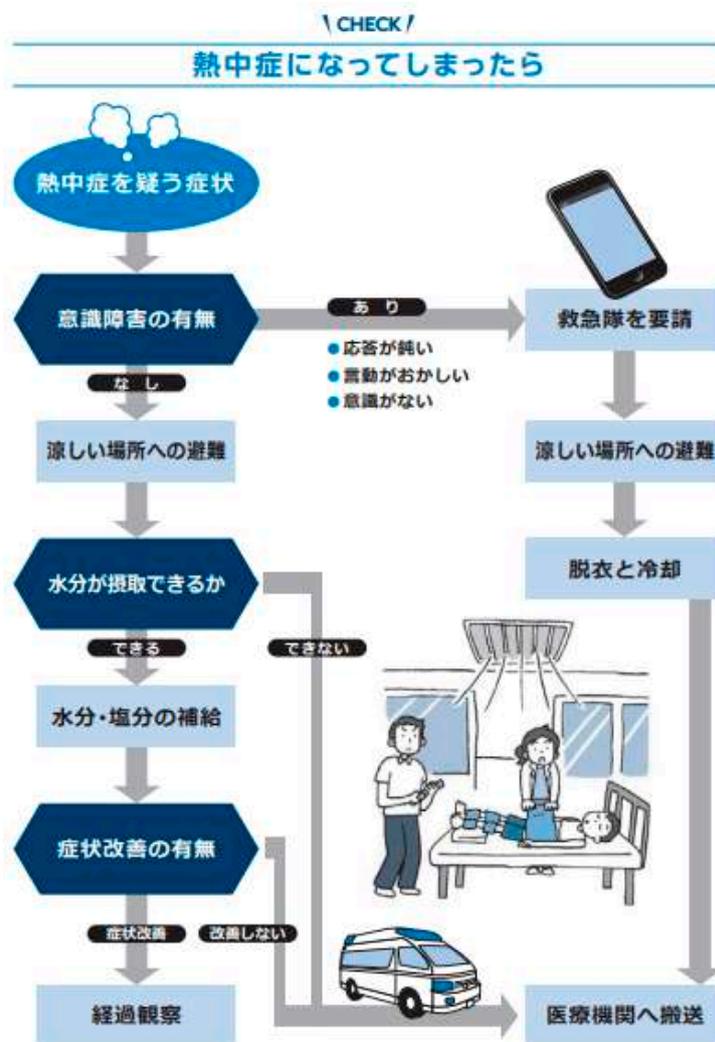
(例) 選手・監督の場合 (加入者1名につき)

補償内容	補償額
死亡保険金	3,000万円
後遺障害保険金	90万円～3,000万円 (程度に応じる)
入院保険金	3,600円
通院保険金	2,400円

※入院・通院保険は1日につき。

※いずれも事故の日からその日を含めて180日以内を支払対象とする。

※入院保険は180日程度、通院保険は90日が限度となる。



出典：「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」日本スポーツ協会，2025

大会日程と会場一覧

令和7年7月16日現在

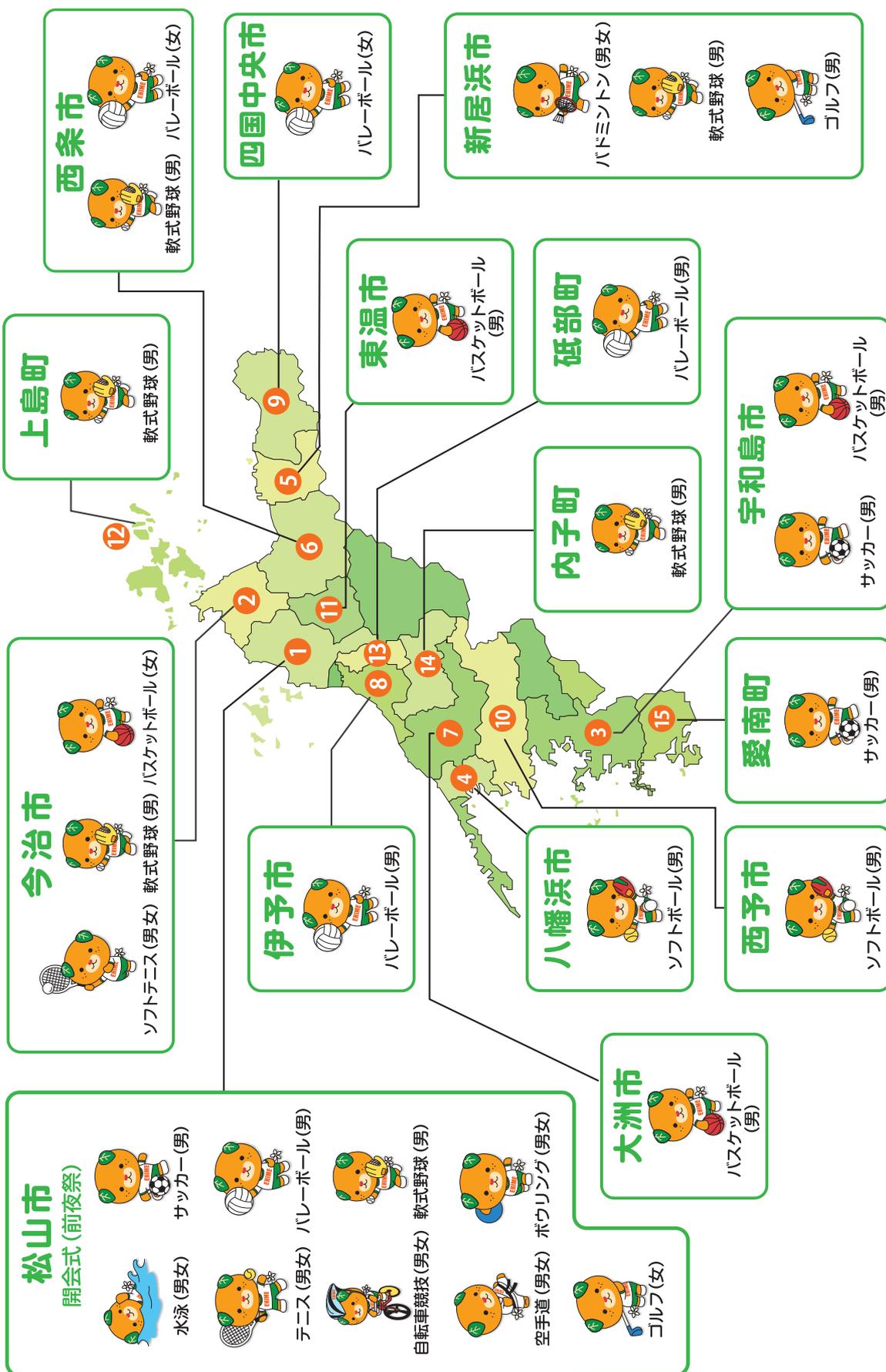
競技名	競技日程														競技会場	開催地					
	9月																				
	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19			20	21	22	23	
	(土)	(日)	月	火	水	木	金	金	(土)	(日)	月	火									
開会式(前夜祭)														△					ANA クラウンプラザホテル	松山市	
水泳	(男女)	●	◎																アクアパレットまつやま	松山市	
サッカー	(男)														○	○	○	◎	北条スポーツセンター陸上競技場	松山市	
															○	○	○	◎	北条スポーツセンター球技場		
																○	○	○		丸山公園陸上競技場	宇和島市
																○	○	○		あけぼのグラウンド	愛南町
テニス	(男女)													●	○	○	◎	愛媛県総合運動公園テニスコート	松山市		
バレーボール	(男)														○	○	○	◎	愛媛県総合運動公園体育館	松山市	
															○	○			伊予市しおさい公園伊予市民体育館	伊予市	
	(女)														○	○	○	◎	砥部町陶街道ゆとり公園体育館	砥部町	
															○	○			西条市総合体育館	西条市	
バスケットボール	(男)														○	○	○	◎	伊予三島運動公園体育館	四国中央市	
															○	○	○		宇和島市総合体育館	宇和島市	
	(女)														○	○	○	◎	大洲市総合体育館	大洲市	
															○	○	○	◎	ツインドーム重信	東温市	
自転車競技(ロード)	(男女)		◎															愛媛県総合運動公園	松山市		
ソフトテニス	(男女)													●	◎			今治市営スポーツパークテニスコート	今治市		
軟式野球	(男)														●	○	◎	坊っちゃんスタジアム	松山市		
																	○			マドンナスタジアム	
																○	○			今治市営球場	今治市
																○				新居浜市営野球場	新居浜市
																○	○			西条市ひうち球場	西条市
																○				上島町いきなスポレク公園蛙石野球場	上島町
																○	○			内子運動公園野球場	内子町
ソフトボール	(男)														○	○	○	◎	王子の森スタジアム	八幡浜市	
															○	○	○		八幡浜市民スポーツパーク		
																○	○	○		西予市営宇和球場	西予市
バドミントン	(男女)													●	○	◎		新居浜市市民体育館	新居浜市		
空手道	(男女)													●	○	◎		愛媛県武道館	松山市		
ボウリング	(男女)													●	○	◎		キスケKIT	松山市		
ゴルフ	(男)			▲	○	◎													滝の宮カントリークラブ	新居浜市	
	(女)				▲	○	◎												エリエールゴルフクラブ松山	松山市	

11市4町 計33会場

△開会式(前夜祭) ●開始式後競技 ▲公式練習 ○競技 ◎競技終了後表彰式

〈開催地〉松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、砥部町、内子町、愛南町

会場地一覧



韓国選手団の参加について

日韓スポーツ交流・成人交歓交流の一環として、韓国選手団が8競技に特別参加します。
また、本大会への特別参加に加え、期間中は開催地のチームなどと交流試合を実施します。
韓国選手団の参加についてご理解いただくとともに、温かいご声援をよろしくお願いたします。

1. 日韓スポーツ交流

事業概要

日韓スポーツ交流は、「2002年ワールドカップ・サッカー大会」の日本・韓国共同開催決定を契機に、スポーツを通じて両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツ振興と競技力向上を図ることを目的として、日本スポーツ協会が平成9(1997)年度から毎年実施している。

交流事業の種類

- ・青少年スポーツ交流
- ・成人交歓交流
- ・地域交流(都道府県・市区町村交流)

2. 成人交歓交流

事業主体

日本: 日本スポーツ協会、韓国: 大韓体育会(KSOC)

交流形態

日本選手団は、韓国の生涯スポーツの祭典「全国生活体育大祝典」へ、韓国選手団は「日本スポーツマスターズ」へそれぞれ特別参加する形態にて実施している。

実施競技および人数構成

競技	サッカー 〈男子〉	テニス 〈男女〉	バレー ボール 〈女子〉	バスケット ボール 〈男子〉	ソフト テニス 〈男女〉	軟式 野球 〈男子〉	バドミントン 〈男女〉	ボウリング 〈男女〉	本部 役員	合計 人数
人数	19	18	19	18	22	19	18	18	7	158

【派遣】 日本の成人男女(30～70歳)151名、本部役員7名 計158名

【受入】 韓国の成人男女(35歳以上)151名、本部役員7名 計158名

令和7年(2025年)実施概要

<開催地・実施期間>

区分	人数	開催地	実施期間
派遣	158	全羅南道	4月24日(木)～4月30日(水) 7日間
受入	158	愛媛県	9月18日(木)～9月24日(水) 7日間

【派遣】 韓国の全国生活体育大祝典開催時期

【受入】 日本スポーツマスターズ開催時期

<参加人数>

競技		サッカー 〈男子〉 (19名)	テニス 〈男女〉 (18名)	バレー ボール 〈女子〉 (19名)	バスケット ボール 〈男子〉 (18名)	ソフト テニス 〈男女〉 (22名)	軟式 野球 〈男子〉 (19名)	バドミントン 〈男女〉 (18名)	ボウリング 〈男女〉 (18名)	本部 役員	合計 人数
派遣	愛媛県 ※1	115名	19	9	19	18	13	19	9	7	158
	石川県 ※2	36名	—	9	—	—	9	—	9		
受入	韓国選手団	19	18	19	18	22	19	18	18	7	158

※1 日本スポーツマスターズ2025 開催地

※2 日本スポーツマスターズ2026 開催地

松山市の概要

●概要

松山市は愛媛県のほぼ中央にある松山平野に位置し、瀬戸内海と高縄山系に囲まれた美しい自然に恵まれています。日本最古といわれる道後温泉、現存12天守の一つを有している松山城、司馬遼太郎の小説『坂の上の雲』をテーマとした「坂の上の雲ミュージアム」、正岡子規が革新した日本独自のことば文化である「俳句」など、受け継がれてきた風土や文化が根付いた魅力あふれるまちです。

●市章



松と山を図案化して「松山」を表現したもので、松山市出身の画家、下村為山考案。

明治44年4月7日制定

●松山市の魅力

～道後温泉本館～



約3000年の歴史を誇り、日本最古の温泉といわれる道後温泉本館。保存修理を経て、昨年約5年半ぶりに全館で営業を再開しました。

～松山城～



加藤嘉明が1602年から築城を開始し、完成までに約四半世紀を要した国内屈指の城郭で、江戸時代までに建てられた「現存12天守」の一つを有しています。

～俳句甲子園～



平成10年に始まった俳句甲子園。全国各地から俳句に親しむ高校生が集まり、「五・七・五」の17音に思いを込めて、熱いことばのバトルを繰り広げます。

～坂の上の雲ミュージアム～



坂の上の雲ミュージアムは、松山市が進める「坂の上の雲のまちづくり」の中核施設として、平成19年に開館。小説『坂の上の雲』の世界を感じてもらえる企画展を、毎年テーマを変えながら開催しています。

今治市の概要

今治市は、サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」に代表される多島美や日本の渚100選にも選ばれた「桜井海岸」等の海の自然と、紅葉や桜が楽しめる「鈍川溪谷」等、山の自然にも恵まれたまちです。産業も盛んで日本一の「今治タオル」の生産や海事産業が集積する「日本最大の海事都市」です。また、焼豚玉子飯や今治焼鳥など、地元ならではの美味しい料理も楽しめるなど、多彩な魅力が融合したまちです。

瀬戸内しまなみ海道

平成11（1999）年に開通した瀬戸内しまなみ海道は「サイクリストの聖地」として知られ、国の「ナショナルサイクルルート」に指定（令和元年11月）されるなど、現在では国内外から多くの自転車愛好家が訪れています。



村上海賊ミュージアム

「日本最大の海賊」と称された村上海賊の記憶を肌で感じることができます。また、日本独自の存在である「KAIZOKU」を世界へ発信し、子どもから大人まで楽しく、やさしく村上海賊について学べるミュージアムです。

鈍川温泉

奥道後玉川県立自然公園にある鈍川温泉は、古くは今治藩の湯治場として栄え、道後温泉、本谷温泉と並ぶ伊予の三名湯の一つであり、滑らかな湯は美肌効果があり、美人の湯として有名です。



今治焼鳥

串に刺さっていない皮を鉄板で軽く焼き、小さな板状の鉄の重しを乗せプレスしてつくる焼き鳥です。

焼豚玉子飯

甘めのたれで旨い、安い、ボリュームで今治市民のソウルフードです。

今治タオル

明治27年に4台の織機でタオルの製造を開始し、現在では全国一のタオル産地となりました。

全国生産量18.271トンのうち、2分の1以上が、今治市で作られています。



新居浜市の概要

新居浜市は四国のほぼ中央部に位置し、北には波静かな瀬戸内海を臨み、南は高山植物に恵まれた高峻な四国山地を仰ぐ、温暖な気候に恵まれた、自然豊かな工業都市です。

毎年10月中旬には四国三大祭りの一つに数えられる勇壮華麗な『新居浜太鼓祭り』が開催されています。また、市内には、本市発展の礎である『別子銅山』の産業遺産が数多く遺されています。

▶市章



大阪毎日新聞社において、全国より募集選定し、本市に贈呈せられたもので、上下の井は二井（新居）を意味し、末広形の横の開きは工業、港都、灯台の光芒を表しています。（昭和12年11月3日制定）

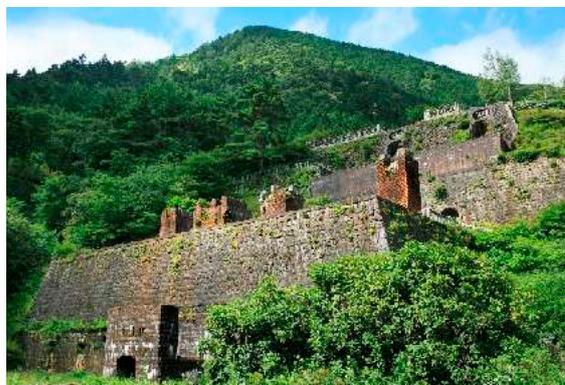
▶新居浜市の魅力

新居浜太鼓祭り



太鼓祭りは、毎年10月15日～18日に開催されており、四国三大祭りの一つに数えられています。太鼓台は、重さ約3トン、金糸で刺繍された豪華絢爛な幕を付け、約150人の「かき夫」と呼ばれる男衆の力で担がれます。2025年5月21日、大阪・関西万博でその勇壮華麗な演技を世界に向けて披露しました。

別子銅山産業遺産



「東洋のマチュピチュ」とも呼ばれる「東平選鉱場・貯鉱庫跡」をはじめ、「旧端出場水力発電所」や「旧広瀬邸」など、工都新居浜の礎である別子銅山の貴重な産業遺産の数々を市内各所で見ることができます。

マイントピア別子



マイントピア別子は、別子銅山最後の採鉱本部が置かれた場所で、現在は別子銅山の歴史が感じられる観光施設となっています。

施設内には、別子銅山の歴史を遊びながら学べる鉱山鉄道と観光坑道、レストランのほか、天然温泉や全天候型の屋内型遊戯施設があり、三代でゆっくりと楽しむことができる施設となっています。

あかがねミュージアム



あかがねミュージアムは、2015年にJR新居浜駅前に開館した総合文化施設で、優れた芸術作品に触れられる美術館をはじめ、演劇やさまざまな催しが実施される「多目的ホール」、太鼓祭り運行されている太鼓台を実物展示した「太鼓台ミュージアム」などの施設があり、市内外から多くの皆様が来館されています。

西条市の概要

西条市は愛媛県の東部に位置し、北は多島美の瀬戸内海、南は西日本最高峰「石鎚山」を主峰とする石鎚山系や高縄山系を背景に、市内各所で名水百選にも選ばれた良質の地下水「うちぬき」が湧き出す、愛媛県下で3番目に広い面積で豊かな自然環境に恵まれたまちです。

【市章】

市章は平成16年11月に制定され、四角形は、西条市、東予市、丹原町、小松町を表し、4つの点を結ぶことにより、2市2町の合併（和）を意味します。緑色は石鎚山を表し、青色の曲線は西条市の頭文字「S」の形をとりながら瀬戸内海、加茂川などの豊かな水を表しています。



【西条市の魅力】

①標高1700m以上の山が連なる「石鎚山系」

標高1982m、西日本最高峰であり日本百名山の一つに数えられる石鎚山を中心に、愛媛県と高知県の県境に沿って、東西約50kmに広がっています。

様々な魅力に溢れているため、登山はもとより、トレッキング、トレイルランニング、サイクリングなど様々なアクティビティのメッカとして年間を通じて多くの方が訪れています。



②絢爛豪華な「西条まつり」

西条まつりは、江戸時代から続く西条市の伝統的な秋祭りです。

五穀豊穡を神に感謝する神事で、伊曾乃（いその）神社、嘉母（かも）神社、石岡（いわおか）神社、飯積（いづみ）神社の4つの神社の例祭の総称です。

市内の氏子各町に所属する百数十台の屋台（だんじり、みこし、太鼓台）が奉納され、その数は日本一ともいわれています。



③名水百選に選定された「うちぬき水」

西条市内には、広範囲に地下水の自噴井があり、「うちぬき」と呼ばれております。江戸時代中期に発祥したといわれ、その数は約3,000本といわれております。

「うちぬき」の1日の自噴量は約13万 m^3 におよび、四季を通じて温度変化の少ない水は生活用水、農業用水、工業用水に広く利用されています。

「うちぬき」は市内の各所に水汲み場がありますので、ぜひ飲んでみてください。



上島町の概要

上島町は愛媛県の北東部、広島県境に位置し、瀬戸内海のほぼ中央に浮かぶ25の島で構成された町です。気候は瀬戸内海特有の温暖な多照寡雨で、年間を通して気温が高く、冬にもほとんど雪が降りません。周囲は、瀬戸内海国立公園区域に囲まれ、風光明媚な瀬戸内の景勝拠点地です。最近ではサイクリング観光に注力し、3つの橋を渡る「ゆめしま海道」はサイクリストに大変喜ばれています。

【町章】

上島町の「上」と「舟（帆掛け船）」をあわせたデザインで、緑が自然、青が海、赤が太陽を表しています。



【上島町の観光】

～サイクリング～



信号もなく、交通量も少ない上島町はサイクリングに最適です。海を渡る「ゆめしま海道」はサイクリストにとっての聖地です。

～マリンスポーツ～



海に囲まれた上島町では、ヨットやシーカヤック、SUPなど様々なマリンスポーツが楽しめます。

～キャンプ～



自然豊かな上島町では、オールシーズンでキャンプがおすすめです。

～釣り～



豊かな海に囲まれた上島町では、船からも陸からも釣りが楽しめます。

内子町の概要

内子町は、町域の8割近くを山林が占める典型的な中山間地です。市街地には、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「八日市・護国地区」があり、大正5年に創建された「内子座」など4件の建造物が重要文化財に指定されている県内有数の観光地となっています。

また、全国に先駆けて開設した道の駅「内子フレッシュパークからり」は、平成27年に全国6か所のモデル道の駅に選ばれたほか、平成29年にはからり直売所出荷者運営協議会が内閣総理大臣賞を受賞。年間約80万人の利用があります。

歴史・文化

内子町は、江戸末期から明治期にかけて木蠟で栄えた町です。全盛期には、木蠟が全国シェアの30%を占め、ヨーロッパの博覧会で品質の高い評価をいただくなど地方経済を支えました。また、伝統的な手漉き和紙の産地としても知られ、その和紙を使用した「いかざき大凧合戦」は400年の歴史を持ち、日本三大凧合戦の一つに数えられています。毎年5月5日に開催しており、約4万人の来場者で賑わっております。

その他、ノーベル文学賞作家の大江健三郎氏、日本のビール王と呼ばれ、政治家でもあった高橋龍太郎氏や神奈川大学創立者の米田吉盛氏など数多くの偉人を輩出しています。

特産品

年間を通じて温暖な気候であることから、柿をはじめ、栗、ぶどう、梨、桃などの落葉果樹の産地となっています。また、新たな特産品として「じゃばら」を使った加工品の開発も行っています。



八日市の町並み



内子フレッシュパークからり



いかざき大凧合戦



小田深山

愛媛をいただきます！

元気をもらえる 絶品フード

東・中・南予で異なる2つの「鯛めし」をはじめ、海の幸たっぷりの郷土料理が豊富。ご当地ならではのクセになるソウルフードにも注目。

愛媛グルメについて
詳しくはこちらを
チェック



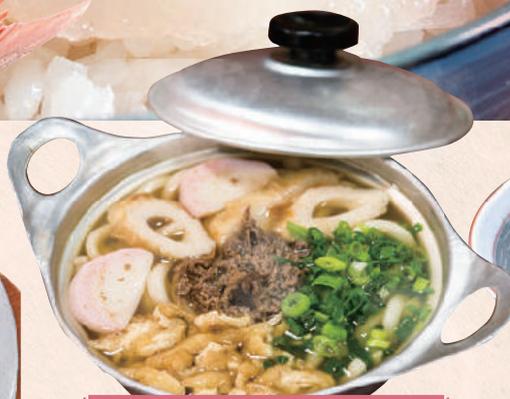
宇和島鯛めし(南予)

鯛の刺身を生卵を溶いた甘めのタレに漬けて、アツアツご飯にのせて味わう。漁師が船上で食べていたのがルーツ。



鯛めし(東予・中予)

鯛を丸ごと釜に入れて米と一緒に豪快に炊き上げた炊き込み風の鯛めし。ふっくらした鯛の身と、旨みをたっぷり含んだご飯が味わい深い。



鍋焼きうどん

レトロなアルミ鍋に入ったキメが細かく柔らかい麺が特徴。いりこだしなどがベースで、肉の煮汁でほんのり甘い優しいスープに癒される。



八幡浜ちゃんぽん

港町・八幡浜ならではのソウルフード。鶏ガラやカツオ、昆布などでだしをとった黄金色のあっさりスープに、じゃこ天や海の幸をトッピング。



三津浜焼き

薄く広げた生地にキャベツやそばやうどん、ちくわなどが入った三津浜のお好み焼き。牛脂を入れてコクと香りをつけるのが特徴。



今治焼豚玉子飯

ご飯の上に焼豚と半熟目玉焼きをのせ、甘辛いタレをかけたご当地丼。シンプルだけどクセになる今治のソウルフード。B級グルメの祭典でも人気。



松山鮓 まつえまじし

瀬戸の小魚でだしをとった甘めの寿司飯にアナゴや錦糸卵などをトッピングした松山の郷土料理。正岡子規の好物で俳句にも残っている。子規宅を訪ねた夏目漱石もその美味しさに大いに喜んだといわれる。

今治焼き鳥

日本有数の焼き鳥の街として知られる今治の焼き鳥は、熱々の鉄板で焼くスタイル。コテでプレスしてジュージューと豪快に焼きあげる。特に「皮焼き」はカリッとした食感が絶品。



西条てっぱんナポリタン

ゆっくり味わえるように冷めにくい熱々の鉄板皿で提供される西条のご当地グルメ。卵を使っているのが特徴で、鉄板に敷かれたり、目玉焼きを乗せたりと店ごとに個性が光る。



とんくりまぶし

栗の産地、大洲のご当地グルメ。豚肉と栗を煮込んでご飯にのせたもの。まずはお好みで薬味と一緒に味わい、途中で特製スープをかけてお茶漬け風にする、二度美味しい贅沢丼。



じゃこ天

地元で獲れた新鮮な小魚を、骨ごと皮付きのまますり身にして揚げたもの。炙るとさらにむっちりした食感に。小魚の旨みが凝縮されてカルシウムたっぷり。



一緒に持ち帰りたい旅の思い出/
とっておき
愛媛みやげ

職人の技が光る伝統工芸品や、地元で愛され続ける特産品や銘菓など、愛媛の風土が生んだ魅力的なみやげがいっぱい。

愛媛特産品について
詳しくはこちらを
チェック



とべろき
砥部焼

国の伝統的工芸品。厚手でぼってり、丈夫で親しみのある陶磁器。白磁に藍色の呉須で伝統的紋様を描いた王道はもちろん、窯元や作家の個性が光る新作も誕生している。

タルト

17世紀に松山藩主がロールケーキをアレンジして作らせたといわれる銘菓。しっかりしたカステラ生地でこし餡を巻いた上品な味わい。



今治タオル

全国屈指のタオル産地として知られる今治。温暖な気候とタオルづくりに適した豊かな水源に恵まれ、柔らかく吸水性の高いタオルを生み出す。高い品質を誇る極上の使い心地。



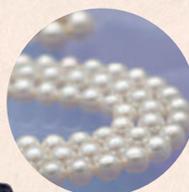
坊っちゃん団子

夏目漱石の小説『坊っちゃん』にちなんだ銘菓。3色の餡でお餅を包んだカラフルな団子。もっちり柔らかでやさしい味わい。



真珠

南予に面する宇和海は、日本を代表する真珠の名産地。肌になじむ、上品な輝きを放つ真珠のアクセサリ。良質パールを旅の記念やみやげに。



桜井漆器

今治市桜井地方の漆器で、江戸時代後期に起源を持ち、今も伝統が受け継がれている。グラスなど異素材とのコラボ商品も。



伊予餅

日本三大餅の一つ。綿100%の素朴な風合い、シンプルな模様が特徴。伝統工芸品をアレンジした和雑貨や、伊予餅模様のタオルハンカチなど手頃なみやげも揃う。

地ビール

道後の酒蔵が清酒の技術をかかして製造した湯上がりビールや、愛媛産のかんきつやブランド産品を使って製造したご当地ビールなどが味わえる。みやげや贈り物としても人気。



水引細工

紙の産地、四国中央市の伝統工芸品。伝統的な水引細工からモダンなデザインの金封まで作られている。日常使いできるコースターやアクセサリなども人気。



練り製品

瀬戸内海や宇和海の滋味豊かな魚介を主原料とした練り製品の宝庫。じゃこ天をはじめ、かまぼこ、ちくわ、揚げ巻きなどさまざまな商品が作られている。



地酒

多彩な蔵元が点在する愛媛は、実は酒どころとしても有名。愛媛県独自の酒造りに適した酒米「しずく媛」を使って県内各地の蔵元が作る銘酒をはじめ、個性豊かな地酒を飲み比べてみよう。



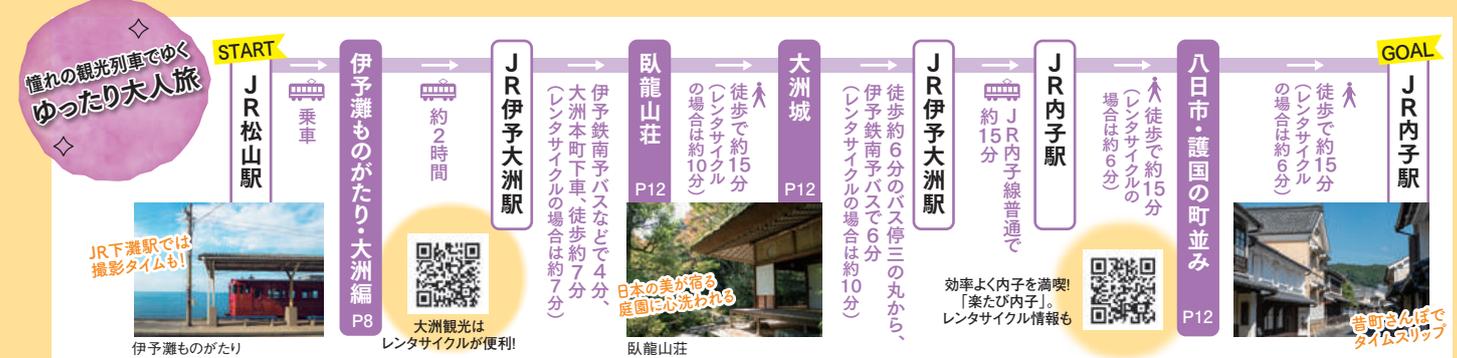
えひめぐり モデルコース

多彩な見どころがぎゅっと詰まった愛媛。道後温泉としまなみ海道がメインの王道コースに加え、プランのカスタマイズに最適な1日コースをご紹介します。愛媛県公式観光サイト「いよ観ネット」も参考にしながら、あなただけの「えひめぐり」をプランニングしよう。



王道コースを自分好みに!

カスタマイズにオススメの1日コース



愛媛県公式観光サイト いよ観ネット

愛媛県内の観光スポットや最新情報はもちろん、テーマに沿った特集など、「行ってみたい!」旅の情報が満載。ぜひお出かけ前にチェックしてみよう。

愛媛の絶品フードはコチラでCheck!

観光・体験プラン、宿泊の予約はコチラでCheck!

モデルコースはコチラでCheck!

愛媛県内に2000カ所以上設置 えひめFree Wi-Fi

松山市有施設などで展開 松山フリー Wi-Fi

MATSUYAMA FREE Wi-Fi

Ehime Free Wi-Fi

MATSUYAMA FREE Wi-Fi

愛媛のシーズンカレンダー

●東予 ●中予 ●南予

※花の見頃は気候により変動します。イベントに関しても状況により予告なく変更・中止される場合がありますので、おでかけ前に最新情報をお確かめください

花の名所

菜の花 3月上旬～5月上旬

- 翠波高原(四国中央市) MAP P20 E-4
- 双海間住地区(伊予市) MAP P17 C-3



桜 3月中旬～4月上旬

- 松山城(松山市) MAP P17 B-1
- 積善山(上島町) MAP P20 F-2

しば桜 3月下旬～4月下旬

- 山本牧場(宇和島市) MAP P16 C-4

ツツジ 4月下旬～5月上旬

- 富士山公園(大洲市) MAP P16 D-1

フジ 4月下旬～5月上旬

- 大三島藤公園(今治市) MAP P20 E-1
- 天赦園(宇和島市) MAP P16 C-3



菖蒲 5月上旬～6月中旬

- 南楽園(宇和島市) MAP P16 C-3

バラ 5月中旬～6月(春)、10～11月(秋)

- よしうみバラ公園(今治市) MAP P20 C-1

コスモス 8月中旬～11月下旬

- 翠波高原(四国中央市) MAP P20 E-4
- 中山池自然公園(宇和島市) MAP P16 D-2



あじさい 6月上旬～7月中旬

- 新宮あじさいの里(四国中央市) MAP P20 F-4

ひまわり 7月中旬～8月中旬

- 五郎河川敷のひまわり畑(大洲市) MAP P16 D-1
- 松前の恋泉畑(松前町) MAP P17 D-2



紅葉 10月上旬～11月上旬

- 石鎚山・石鎚スカイライン(西条市～久万高原町) MAP P20 B-4
- 面河溪(久万高原町) MAP P17 F-4
- 稲荷山公園(大洲市) MAP P16 D-1



梅 2月下旬～3月上旬

- 七折梅園(砥部町) MAP P17 D-3

牡丹 1月中旬～2月上旬(冬)、4月上旬～5月上旬(春)

- 井内ぼたん茶屋(東温市) MAP P17 E-3



- 法安寺(西条市) MAP P20 B-3

春

spring



夏

summer



秋

autumn



冬

winter



イベント・まつり

- 4月** 4月上旬 ●松山春まつり・お城まつり(松山市) MAP P17 B-1
- 4月2・3日 ●真穴の座敷雛(八幡浜市) MAP P16 C-1
- 4月中旬 ●砥部焼まつり(砥部町) MAP P17 E-3
- 4月中旬～下旬 ●ふる里だんだん祭り(宇和島市) MAP P16 B-2
- 4月29日 ●宇和れんげまつり(西予市) MAP P16 C-1
- 5月** 5月5日 ●いかざき大鳳合戦(内子町) MAP P16 E-1
- 6月** 6月～9月下旬 ●大洲のうかい(大洲市) MAP P16 D-1
- 7月** 7月1～10日 ●石鎚山お山開き(西条市) MAP P20 B-4
- 7月22～24日 ●うわじま牛鬼まつり・和霊大祭(宇和島市) MAP P16 C-3
- 7月下旬 ●水軍レース大会(今治市) MAP P20 C-1
- 7月下旬～8月上旬 ●四国中央紙まつり(四国中央市) MAP P20 E-3
- 8月** 8月上旬 ●今治市民のまつり「おんまく」(今治市) MAP P20 B-1
- 8月上旬 ●かっぱMATURIサマーin明浜(西予市) MAP P16 C-2
- 8月上旬 ●松山まつり(松山市) MAP P17 A-1
- 8月上旬 ●松山港まつり 三津浜花火大会(松山市) MAP P17 D-2
- 8月25日 ●愛南マラニック ～食と海と太陽と～2024(愛南町) MAP P16 B-4
- 8月上旬 ●内子笹まつり(内子町) MAP P16 E-1
- 8月13日 ●奥地の海のかーにばる(西予市) MAP P16 C-1
- 9月** 9月上旬 ●どてかぼちゃカーニバル(東温市) MAP P17 E-3
- 10月** 10月5～7日 ●松山秋まつり(松山市) MAP P17 C-1
- 10月中旬 ●お供馬の走り込み(今治市) MAP P20 A-1
- 10月15～18日 ●新居浜太鼓祭り(新居浜市) MAP P20 C-3
- スポーツの日の前々日、前日、14～17日 ●西条まつり(西条市) MAP P20 B-3
- 11月** 11月初旬 ●秋の砥部焼まつり(砥部町) MAP P17 E-3
- 11月下旬 ●野村乙亥大相撲(西予市) MAP P16 D-2
- 12月** 12月下旬 ●愛ある鬼嫁コンテスト(鬼北町) MAP P16 E-2
- 1月** 1月ほか ●宇和島闘牛(宇和島市) MAP P16 C-2
- 2月** 2月中旬 ●愛媛マラソン(松山市) MAP P17 A-1
- 2月下旬～3月上旬 ●七折梅まつり(砥部町) MAP P17 D-3
- 旧暦1月7～9日 ●椿神社・椿まつり(松山市) MAP P17 E-2

◎海洋堂/鬼北町

◎河野壺

ぎゅっと!

愛媛のみかん

瀬戸内の潮風ときらきら輝く太陽の光。自然の恵みをいっぱい浴びて育つ愛媛のみかんは、甘さと酸味のバランスがよく、とってもジューシー！国内有数の生産量を誇るかんきつ王国・愛媛のみかんを、ぜひ味わって。

もらってうれしい！
みかんのみやげ

定番のみかんのスイーツからお酒やコスメまで
多彩なみかんグッズも人気



- ①スプーンなしで手軽に味わえる飲むゼリー ②パウダー状にしたみかんをプラスした調味料
- ③かんきつの香りを楽しめるハンドクリーム ④みかん風味の板チョコレート ⑤丸いボトルがかわいいみかんの酒
- ⑥みかんを丸ごと包んだ大福 ⑦みかんの輪切りをドライフルーツに ⑧果汁100%のまるごとみかんジュース



「愛媛では蛇口からみかんジュースが出る」という都市伝説を現実にした、ユニークなジュース販売が体験できる。

- みかんジュース蛇口体験スポット**
- Orange BAR(松山空港) **MAP P18 E-3**
 - 山頂茶屋 城山荘 (松山城本丸広場) **MAP P18 E-3**
 - えひめ愛顔の観光物産館 **MAP P18 E-3**
 - みきんパーク梅津寺 **MAP P18 E-3**
 - アゴラマルシェ (道の駅八幡浜みなと) **MAP P18 C-5**

生果で食べても、
もちろんおいしい!

新品種も続々登場! 進化する愛媛みかんの食べ比べも楽しんで。

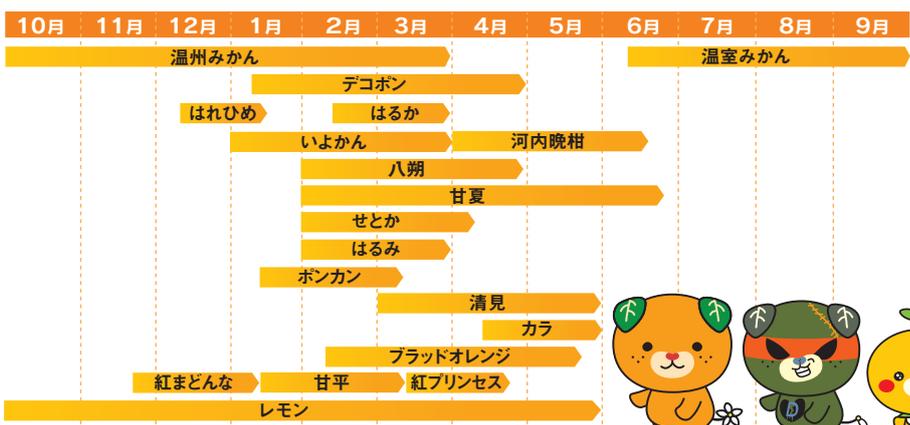
<p>とろける食感</p> <p>紅まどな (愛媛果試第28号)</p> <p>愛媛オリジナルかんきつ。皮が薄く、ゼリーのようにとろける食感が魅力。SNSでも話題に。</p>	<p>シャキッとした食感</p> <p>甘平</p> <p>見た目は扁平で少し大きめ。シャキッとした独特の食感と濃厚な食味の愛媛オリジナルかんきつ。</p>	<p>かんきつ王国愛媛の顔</p> <p>温州みかん</p> <p>愛媛の代名詞ともいえる、味と食べやすさを兼ね備えたみかん。夏の温室みかんは高級品とされる。</p>	<p>さっぱりさわやか</p> <p>いよかん</p> <p>実は大玉。外皮をむくと広がる爽快感のある香りと、酸味のあるさっぱりとした甘さが魅力。</p>	<p>甘くジューシー</p> <p>せとか</p> <p>ジューシーで濃厚な甘さが特徴。「かんきつの大トロ」とも称される高級品で、贈答用としても人気。</p>
---	--	---	---	---

かんきつ王国愛媛で「みかん狩り」を体験しよう

みかん狩りのシーズンは10月～1月ごろ。みかん畑は海に面した場所が多く、みかんを採りながら瀬戸内海の景色も楽しめる。食べ放題やみやげ付きのプラン、その場でジュースにして飲める施設もある。詳しくは「いよ観ネット」で検索を。

詳しくは、愛媛県公式観光サイト「いよ観ネット」で「みかん特集」をチェック

<https://www.iyokannet.jp/feature/mikan/event>



出荷時期は年によって前後することがあります。
参考:「愛ある」愛媛のかんきつ食べ頃カレンダー



日本スポーツマスターズ2025 大会実施本部等連絡先

大会実施本部・記録本部

大会に関する各種お問合せ・競技結果に関するお問合せは、下記までご連絡ください。

日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会実行委員会事務局

TEL : 089 (968) 2417 / FAX : 089 (947) 5721

E-mail : 大会実施本部 : sportsmasters@pref.ehime.lg.jp

記録本部 : sportsmasters@pref.ehime.lg.jp

〒790-8570 松山市一番町四丁目4番地2

愛媛県観光スポーツ文化局スポーツ局 地域スポーツ課

スポーツマスターズ大会推進室内

設置期間 : 9月6日～7日 (水泳競技)

9月7日 (自転車競技)

9月8日～12日 (ゴルフ競技)

9月19日～9月23日

荒天時の実施対応

荒天時、当日の開催可否については、下記 Web サイトをご確認ください。

日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会特設ホームページ

<https://www.ehime-sportsmasters2025.jp/>



宿泊・輸送本部

日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会 宿泊・輸送本部

TEL : 050-9002-5449 / FAX : 082-542-1333

E-mail : masters_2025ehime@tobutoptours.co.jp

〒730-0035 広島県広島市中区本通6-11 明治安田生命広島本通ビル6階

東武トップツアーズ(株)広島支店内

(平日 09:30～17:30 土日祝日休み)



日本スポーツマスターズ2026石川大会

2026年9月19日(土)~22日(火) ※一部競技は除く



巖門(志賀町)



七尾城跡(七尾市)



禄剛埼灯台(珠州市)



石川県西田幾多郎記念哲学館
ライトアップ (かほく市)



千里浜なぎさドライブウェイ
(宝達志水町)



国指定史跡雨の宮古墳群
(中能登町)



サンセットブリッジ(内灘町)



九谷焼美術館 | 体験館 |
(能美市)



国指定重要文化財喜多家住宅
(野々市市)



金沢駅鼓門(金沢市)



那谷寺(小松市)



浮御堂(加賀市)



白山手取川ジオパーク(白山市)

日本スポーツマスターズ2026石川大会実行委員会事務局
(いしかわ総合スポーツセンター内)

〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北222番地

TEL:080-8098-0077

mail:office@ishikawa-sportsmasters2026.jp

日本スポーツマスターズ2026石川大会 開催概要

◇大会日程と会場一覧

令和7年5月27日現在

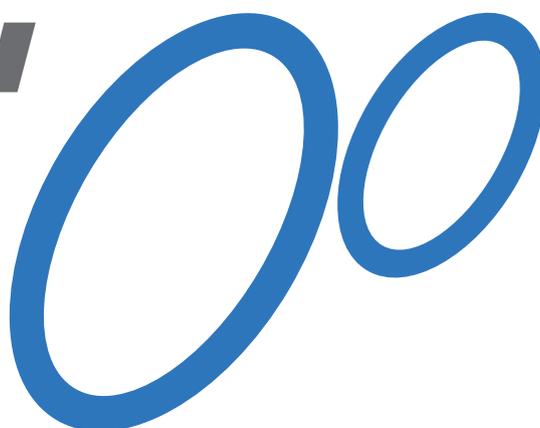
競技名		日程					競技会場	開催地
		9月						
		18 金	19 土	20 日	21 月	22 火		
開会式(前夜祭)		○					ホテル日航金沢	金沢市
水泳	(男女)	8/29(土)・30(日)					金沢プール	金沢市
サッカー	(男)		○	○	○	○	スカイパークこまつ翼	小松市
							石川県サッカー・ラグビー競技場	能美市
テニス	(男女)		○	○	○	○	和倉温泉運動公園テニスコート	七尾市
バレーボール	(男女)		○	○	○	○	金沢市総合体育館	金沢市
							かほく市総合体育館	かほく市
							白山郷公園体育館	白山市
							若宮公園体育館	
							能美市物見山体育館	能美市
					寺井体育館			
バスケットボール	(男女)		○	○	○	○	いしかわ総合スポーツセンター	金沢市
							野々市市スポーツセンター	野々市市
自転車競技 [トラック]	(男女)	○	○	○			石川県立自転車競技場	内灘町
ソフトテニス	(男女)		○	○			金沢市宮城北市民テニスコート	金沢市
							金沢市宮東金沢テニスコート	
軟式野球	(男)		○	○	○		珠洲市民球場	珠洲市
							七尾城山野球場	七尾市
							志賀町野球場	志賀町
							宝達志水野球場	宝達志水町
							中能登町運動公園野球場	中能登町
							かほく高松野球場	かほく市
ソフトボール	(男)		○	○	○	○	スカイパークこまつ翼	小松市
バドミントン	(男女)		○	○	○		松任総合運動公園体育館	白山市
空手道	(男女)	9/12(土)~14(月)					いしかわ総合スポーツセンター	金沢市
ボウリング	(男女)		○	○	○		百万石リゾートレーン	小松市
ゴルフ	(男女)	9/28(月)~30(水)					片山津ゴルフ倶楽部 ※男子：加賀コース 女子：日本海コース	加賀市

9市4町 計28会場

<開催市町>金沢市、七尾市、小松市、珠洲市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町

※競技会の日程、競技ごとの使用会場や会場ごとの開催日は変更の可能性があります。

KEIRIN



地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、
ものづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、
社会に役立つ活動を応援しています。

<https://jka-cycle.jp>



GOLF



SWIMMING



SOCCER



BOWLING



TENNIS



KARATEDO



JAPAN GAMES MASTERS



VOLLEYBALL



BADMINTON



BASKETBALL



SOFTBALL



BASEBALL



SOFT TENNIS



CYCLING



JSPO
Japan Sport Association